

令和2年度福岡市総合図書館新ビジョン推進に関する点検評価会議

日時：令和2年8月20日（木）10時30分
場所：福岡市総合図書館3階 第2会議室

< 次 第 >

1. 事務連絡

2. 新ビジョン事業計画の点検評価

- (1) 令和元年度新ビジョン事業計画の取組状況及び内部評価について
- (2) 令和元年度新ビジョン事業計画の外部評価について

【配布資料】

- ・福岡市総合図書館新ビジョン
- ・福岡市総合図書館新ビジョン事業計画及び成果指標（令和元年度～令和5年度）
- ・新ビジョン事業計画一覧表
- ・様式1 令和元年度福岡市総合図書館運営に関する評価調書（事業別）
- ・様式2 令和元年度福岡市総合図書館運営に関する評価調書（総括）
- ・福岡市総合図書館新ビジョン推進に関する点検評価会議 委員名簿

（参考資料）

- ・福岡市総合図書館利用者アンケート調査報告書
※令和元年度の利用者アンケートを実施していないため（例年，翌年度5月実施），前年度
に実施した利用者アンケートを参考添付
- ・図書館要覧（抜粋） ※ 令和元年度統計数値
- ・平成30年度福岡市総合図書館運営に関する評価調書（事業別，総括）

福岡市総合図書館新ビジョン

福岡市教育委員会

— 目 次 —

はじめに	1
I 新ビジョン策定の経緯	2
II 新ビジョンの位置付け	3
III 計画期間	3
IV 福岡市図書館の課題	4
V 目指す図書館像	6
1 基本理念	6
2 新たな図書館像	7
(1) 誰もが楽しめる魅力ある図書館	7
(2) さまざまな情報を求める市民に応える図書館	8
(3) 子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館	9
(4) 総合図書館の特色を生かした図書館	10
3 効率的で効果的な図書館運営	12
(1) 施設の有効活用と管理運営体制	12
(2) 職員の研修体制の確立	12
(3) 積極的な情報発信	12
VI 新ビジョンの推進に向けて	13
用語集	14

はじめに

福岡市総合図書館は、「福岡市新図書館基本計画」(平成3年2月策定)に基づき、「市民に開かれた図書館として、市民ニーズに的確に応える生涯学習社会の中核的役割を果たしていく」という基本方針に従って、図書、映像及び文書資料の3部門で構成する新しい型の図書館として平成8年6月に開館し、21世紀における魅力ある学習・情報・文化の拠点施設を目指し、様々な施策を推進してきました。

これまで、平成12年に博多南図書館、平成15年に和白図書館、平成22年に西部図書館を開設するとともに、インターネットや検索機による予約受付を開始するなどインフラ整備に努めてきました。また、「福岡市文学館」の開設や国際フィルム・アーカイヴ連盟^①への加盟、大学図書館との相互貸借や福岡都市圏の公共図書館の広域利用など図書館サービスの充実を図ってきました。

しかしながら、基本計画の策定から約20年が経過する中、社会状況は大きく変わり、図書館を巡る環境も情報化の急速な進展、図書館サービスに対する市民ニーズの高度化、多様化など大きく変化しています。

こうした社会状況の変化に対応するため、これまでの取り組みの方向を改めて整理するとともに、今求められる図書館の役割を踏まえ、図書館を取り巻く新たな環境変化に対応するため、「福岡市総合図書館新ビジョン」を策定しました。

この新ビジョンに基づき、市民がくつろぎ、本や人と楽しくふれあえる、新たな学び・情報・交流の拠点となる図書館づくりを進めてまいります。

おわりに、新ビジョンの策定にあたり、貴重なご意見をいただいた「これからの図書館のあり方について」懇話会の委員をはじめ、総合図書館運営審議会の委員やアンケートにご協力いただいた市民の皆様に深く感謝いたします。

平成26年6月

福岡市教育委員会

教育長 酒井 龍彦

I 新ビジョン策定の経緯

福岡市総合図書館は、平成8年6月、早良区百道浜に図書資料部門、映像資料部門及び文書資料部門の3部門で構成され、映像ホールなどを併設する新しい型の図書館として開館しました。同時に、図書館サービス網の構築を図るために、各区市民センター図書室を「分館」と位置づけ、分館とネットワークを結ぶ「総合図書館オンラインシステム」を稼働しました。

その後、「福岡市文学館」の開設や国際フィルム・アーカイヴ連盟への加盟を行うとともに、インターネットや検索機による予約受付を開始するなど、図書館サービスの充実を図ってきました。分館の整備についても、福岡市基本計画の実施計画に基づき、地域交流センターの建設に合わせ、「博多南」、「和白」、「西部」の3館を整備してきました。

しかしながら、「福岡市新図書館基本計画」の策定から約20年が経過する中、今日の社会状況は、少子・高齢化や高度情報化、国際化の進展など、大きく変化するとともに、市民の学習活動や文化活動もますます活発になっており、その内容も高度化・多様化しています。

この間、国においては、これからの図書館の在り方検討協力者会議から「これからの図書館像」（平成18年3月）が報告されました。また、図書館法では教育基本法における家庭教育の重視などを受け、一部改正（平成20年6月）が行われました。さらに、社会状況の変化などに対応して「図書館の設置及び運営上の望ましい基準」が改正（平成24年12月）されるなど、これからの図書館運営に必要な新たな視点や方策などが示されました。

一方、福岡市では、平成24年12月に「福岡市基本計画」（第9次）を策定し、「福岡市基本構想」に掲げる都市像の実現に向けたまちづくりの目標や施策を総合的・体系的に示しました。さらに、平成25年6月に「行財政改革プラン」を策定しましたが、今後、社会保障関係費や公共施設などの改修・修繕経費が増加することが見込まれる中、必要な財源確保と行政運営の仕組みや発想、手法の抜本的な見直しが求められています。

これら社会状況の変化に対応し、福岡市の図書館がこれまで以上に市民や地域に役立つ図書館になるため、「これからの福岡市図書館のあり方」について、総合図書館運営審議会に諮問し、平成25年11月に答申をいただきました。

この答申を参考に、これからの福岡市総合図書館が目指すべき図書館像を定める「福岡市総合図書館新ビジョン」を策定するものです。

II 新ビジョンの位置付け

「福岡市総合図書館新ビジョン」は、平成3年に策定した「福岡市新図書館基本計画」の後継となる計画です。

この新ビジョンは、「福岡市基本計画」(第9次)、「新しい福岡の教育計画」を上位計画とし、「福岡市子ども読書活動推進計画」と連携して、近年の図書館を取り巻く社会状況の変化に対応し、これからの図書館サービスを推進していくための基本計画です。

III 計画期間

新ビジョンは、平成26年度を始期とし、10年間を計画期間とします。

新ビジョンをもとに重点的に取り組む具体的な施策・事業については、5年ごとに示していきます。

IV 福岡市図書館の課題

福岡市の図書館行政は、平成3年2月に策定した「福岡市新図書館基本計画」に基づいて様々な施策を推進してきたところですが、新ビジョンの策定にあたり、「これからの図書館のあり方について」懇話会の意見や総合図書館運営審議会の答申を踏まえ、福岡市総合図書館の課題を次のとおり整理しました。

1 これまで図書館を利用していない層への利用促進

これまでの図書館利用者の傾向をみると固定化してきており、幅広く利用を促す必要があります。このため、これまで図書館を利用したことがない市民や図書館に興味を持てなかった市民にとって魅力的な図書館となるよう、総合図書館が持つ施設空間を有効活用し、くつろぎと交流の場づくりや新たな利用のきっかけとなる新たなサービスが求められています。

2 身近で便利な図書館サービス

福岡市の図書館は、総合図書館と分館の11館で図書館サービスを行っていますが、利用者からは、身近なところで図書の貸出・返却ができるサービス拠点の設置や開館時間の延長、休館日の変更・削減などサービスの向上を求める要望が多くなっています。

また、働く世代や子ども、高齢者、障がい者などへの配慮も行う必要があります。

3 課題解決型のサービス機能の充実

図書館では、市民の暮らしや仕事上の課題を解決するために必要な資料や情報を提供するなど、課題解決型のサービス機能の充実が求められています。そのためには、レファレンスサービス^②の充実や福岡市の施設の図書室とネットワークを構築して、幅広い分野の資料を提供する必要があります。

また、情報化の進展に対応できる新たな図書館サービスが求められています。

4 子ども読書活動の推進

子どもが本に親しみ読書習慣が身に付くよう、「福岡市子ども読書活動推進計画」(第2次)^③の着実な推進が求められています。

また、子どもたちにとって一番身近な場である学校図書館に対する総合図書館からの支援が確立されておらず、早急に支援する体制が必要です。

5 映像資料・文書資料の有効活用

総合図書館内に設置されている映像ホールや天神にある赤煉瓦文化館内のサテライト文学館については、存在を知らない人も多く、市民に十分に利用されていない状況にあります。

また、これまで収集したアジア映画や郷土福岡に関する貴重な地域資料は、総合図書館の特色であり、市民に広く公開・提供する必要があります。

6 運営体制のあり方

さまざまな図書館サービスを提供するため、利用者に向き合い、利用者の目線に合った改善を行っていく必要があります。

また、厳しい財政状況の中でサービスを向上していくためには、これまで以上の効率化が求められています。さらに、高度化、多様化する市民ニーズに応えていくため、職員の資質の向上、他の図書館や関係機関、ボランティアとの連携により幅広い分野の資料や情報を提供することが求められています。

V 目指す図書館像

1 基本理念

**市民がくつろぎ、本や人と楽しくふれあえる、
新たな学び・情報・交流の拠点となる図書館**

福岡市の図書館は、市民にとって最も身近な生涯学習施設であり、必要な知識や情報を提供し、学習や調査研究活動を援助する役割を担っています。

また、年齢、性別や国籍、障がいの有無等を問わず、すべての人が自由に快適に利用できることなど、現在、福岡市が進めるユニバーサルデザインの理念に基づいた図書館づくりが求められています。

これまでの図書館は、読みたい本を借りるところ、学生や生徒が静かに勉強するところ、本が好きな人が利用するところというイメージがあり、総合図書館の特色の一つである映像ホールでの映画の上映や図書館でじっくり調べものや研究ができる機能があることを多くの人に十分知られていない状況です。

新しい「福岡市基本計画」(第9次)には、市民生活の質の向上と都市の成長の好循環を創り出すためには、人材の多様性とその交流や対話から生まれる創造力が必要であり、それを支える基盤として、さまざまな人材が育ち、集まり、活躍できる環境づくりに取り組むことが示されています。

また、総合図書館が福岡タワーなど市を代表する観光スポットであるシーサイドももち地区に立地していることから、地の利を生かし、工夫をこらすことにより観光客をはじめ幅広い層の利用を見込むことができます。

これらのことから、今後の総合図書館は、これまでの機能を充実するとともに、地域の情報や市民が求める様々な情報を集約し提供する情報拠点の機能を強化していきます。そのために、内部空間だけでなく外部空間も含めて、快適な空間を最大限に活用することにより、これまで図書館を利用したことのない人や観光客などが集う場を創出し、多くの市民がくつろぎ、楽しさを共有できる新たな情報・交流の拠点となる図書館を目指していきます。

2 新たな図書館像

基本理念を実現するため、新たな福岡市の図書館像を定め、図書館サービスを提供していきます。

(1) 誰もが楽しめる魅力ある図書館

ア 誰もが利用できる図書館サービス

子どもから高齢者まで、障がいのある方も、誰もが気軽に利用できるよう福岡市ユニバーサルデザインの理念に基づく図書館サービスを目指すとともに、どこに住んでいても、仕事帰りでも図書館が利用できる仕組みを検討していきます。

特に、利用したくても時間的に来館が困難な働く世代などへの対応として、交通の便の良い公共施設などへのサービス拠点の設置や開館時間の延長などについて検討していきます。

イ 魅力ある図書館

図書館に行く地域の情報や観光に関する情報など様々な情報が集約されていて、だれでも直ぐに情報を得ることができ、そこから新たな交流の輪が広がる。そのような、すべての人々に開かれ、誰もが気軽に立ち寄りたくなる図書館であることが求められています。そのために、市民が図書館で思い思いに自由な時間を過ごし、くつろぎ楽しむ、そのような潤いややすらぎの場となるように、エントランスホールや中庭、正面玄関前広場などを活用して、快適な空間づくりを進めていきます。

また、社会の動きや市民の関心の高いテーマに関する展示や文化人や専門家等による講演会など、市民と図書館を結ぶ行事・イベントの充実を図ったり、子どもの「おはなし会」^④だけでなく、大人向けの「読書会」を開催するなど魅力ある図書館を目指します。

《新たな取り組み》

- 人と人との交流の場、潤いややすらぎの場として施設空間の有効活用
- 来館が困難な人に対応した新たなサービス拠点の検討
- 働く世代などに対応した開館時間延長の検討
- 幼児から高齢者まで利用できるよう、市の関連施設への団体貸出

(2) さまざまな情報を求める市民に応える図書館

ア 幅広い資料・情報の収集・保存

市民の多様な読書・情報ニーズに対応するとともに、公共図書館としての役割を發揮できるような資料収集に努めます。また、分館における図書資料収集については、全体の蔵書構成を考慮しつつ、地域の実情にあわせて特色を持たせた資料収集に努めていきます。

イ レファレンスサービスの充実・強化

レファレンス需要に対応していくため、各専門機関のオンラインデータベースやホームページの活用など、レファレンスツールの充実を図ります。また、専門知識を習得するための研修など、職員の資質の向上を図ります。関心が高いビジネス支援や子育て支援など地域の課題解決や市民ニーズに対応したサービスの充実を図っていきます。

ウ ネットワーク機能の充実

分館を中心に、学校・公民館・文庫などとの地域のネットワークの充実に努め、地域での読書活動推進を図っていきます。また、少年科学文化会館、ふくふくプラザ、議会図書室など、福岡市が管理する図書室資料の総合目録化と相互協力化について検討していきます。

エ 情報化の進展に対応したサービスの向上

情報化の進展に伴い、これまでの紙資料による提供だけでなく、インターネットなどによる電子媒体を組み合わせる利用できる図書館を目指します。

また、無線LANの導入やタブレット等が利用できる環境を検討していきます。

《新たな取り組み》

- 窓口、電話だけでなく電子メールでのレファレンスサービスの実施
- 議会図書室などと連携した政策企画・立案などの行政支援
- タブレットなどが利用できる無線LANの設置
- デジタル化資料^⑤の閲覧などへの対応

(3) 子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館

ア 「福岡市子ども読書活動推進計画」に基づく子どもの読書活動の推進
子どもが本に親しみ読書習慣が身に付くよう、平成 23 年度に策定した「福岡市子ども読書活動推進計画」(第 2 次)に基づき、ヤングアダルト®へのサービスの充実や地域文庫などの紹介を行っていきます。

また、地域における読書普及活動を活性化させるため、読書ボランティア養成などの支援を充実するとともに、「おはなし会」や地域文庫活動を積極的に周知していきます。

イ 学校図書館との連携

子どもたちの身近な読書の場である学校図書館に対して、適切な指導助言を行えるようにするとともに、図書の貸出や情報提供、学校司書への研修などの支援を学校図書館支援センターを中心に積極的に行っていきます。

《新たな取り組み》

- 地域の読書普及活動を支援する読書ボランティア講座の実施
- 子どもたちの読書活動を支援する学校図書館支援センターの設置

(4) 総合図書館の特色を生かした図書館

ア 映像資料部門の充実

● 映像資料の公開機能の充実

映像資料については、国内外の芸術・文化・教育・記録などの優れた映像作品、特に、アジア各国の貴重な映像作品や福岡市や九州にゆかりのある映画・ビデオなどの映像・音声資料などを中心に収集しており、今後とも、アジアフォーカス・福岡国際映画祭との連携を強化するとともに、上映作品の収集に努めていきます。

また、収集した様々なビデオやアジア映画のポスターなどの有効活用を図るとともに、収集したアジア映画の公開について、映像ホールだけでなく、市の施設で公開上映ができるよう市民が映像資料に親しめる事業の企画を検討していきます。

さらに、市民の映像活動を支援するためにデジタル上映環境への整備を進めていきます。

● ビデオライブラリーの方向性

技術の革新により新しい機器が出現して、これまで収集した媒体が家庭で再生できない状況にあります。レンタル店が普及していることやデータ配信サービスが進んでいる中で、総合図書館としての提供、保存のあり方について検討していきます。

《新たな取り組み》

- 市内施設でのアジア映画上映の検討
- アジア映画のポスター展や講演会の実施

イ 文書資料部門の充実

● 歴史的公文書・行政資料の有効活用

福岡市の公文書館機能を有する保存センターとしての役割を果たすため、これまで収集・保存した歴史的・文化的資料を広く市民が活用できるように提供していきます。また、公文書に関する企画展などを定期的を実施することにより、対外的に公文書館の存在をアピールしていきます。

● 古文書資料・郷土資料の後世への伝承

福岡の歴史に係わりのある古文書資料や郷土資料、地域に根ざした文書資料は、地域の歴史などを調査・研究するための貴重な資料です。今後も、福岡市に関する資料については積極的に収集し、この貴重な資料の保存・提供の両立を図り、後世に伝えるため資料のデジタル化の検討を進めていきます。また、普及活動として資料を活用した講座などの開催や広報誌などの刊行を一層図っていきます。

● 市民に認知される福岡市文学館の環境整備

福岡市文学館のサテライトである赤煉瓦文化館^⑦は、市の中心地にあるため、市民や観光客への情報発信拠点となっており、一定の効果をあげています。さらに、市民へ認知される福岡市文学館を目指して情報発信をしていくためには、総合図書館内に分散した展示室等を1か所に集約し、市民が利用しやすい配置を含め資料保存・提供などについて検討していきます。

《新たな取り組み》

- 貴重な古文書資料の保存のためのデジタル化の検討
- 総合図書館内の文学館展示室の集約化

3 効率的で効果的な図書館運営

(1) 施設の有効活用と管理運営体制

- ア 開館時間の拡大など図書館サービスを向上していくため、指定管理者制度などの民間活力の導入を含めた運営方法について検討します。
- イ 駐車場の有料化や広告収入など施設の有効活用や、個人・団体からの支援の受け入れなどにも取り組み、財源確保に努めていきます。
- ウ これまで、「おはなし会」や読書ボランティア講座などについては、ボランティア団体の協力により実施してきましたが、今後は、さらに館内の利用案内や各種資料の整理など新たな分野における図書館ボランティアとの共働を実施していきます。そのため、新たに、ボランティアの養成や学生のインターンシップを導入していきます。

(2) 職員の研修体制の確立

図書館職員の専門知識や技術の向上を目指し、業務マニュアル等を作成するとともに、職員の研修を計画的に実施します。また、著しく進展する情報化に対応するため、電子資料やインターネットによる情報などを活用できる職員の養成を行っていきます。

(3) 積極的な情報発信

図書館の利用方法やサービス内容をお知らせするため、ホームページを充実するとともに、子どもから高齢者まで分かりやすく、使いやすいホームページとなるように工夫します。

また、様々な図書館の催しものなど多くの情報を、効果的な手法により、積極的に発信・提供することで、図書館の利用が少ない層への利用を促進していきます。

VI 新ビジョンの推進に向けて

《新ビジョンの進行管理と評価》

「福岡市総合図書館新ビジョン」を着実に推進するために、事業計画や成果指標を定め、計画的に事業を実施していきます。

そのため、年度ごとに図書館サービスや業務について、市民アンケートを実施しながら、内部評価を行います。

内部評価について意見を聴くため、「福岡市図書館評価委員会（仮称）」を設置して、市民や有識者の視点を取り入れた外部評価を行い、結果を公表します。

用語集

① 国際フィルム・アーカイヴ連盟

The International Federation of Film Archives, 略称：*FIAPF*（フィアフ）は世界の映画保存機関（フィルム・アーカイヴ）から構成される国際組織です。映画フィルムを文化遺産、歴史資料として、破損・散逸から救済・保存することを目的に1938年パリで結成されました。現在、本部をベルギーのブリュッセルにおき活動しています。全世界で73ヶ国約150の施設が加盟していますが、国内では東京国立近代美術館フィルムセンターと福岡市総合図書館の2つだけです。

② レファレンスサービス

特定の情報を求める図書館利用者に対して、図書館員が図書館資料やその他の情報収集活動を通して、必要としている情報を示しそのアクセス方法を教えたり、回答を提供する人的な援助です。総合図書館では、2階に3か所のレファレンスカウンターを設置し、専門の職員が対応しています。来館のほか、電話やFAX、文書での受け付けも可能です。メールでの受け付けも開始する予定です。各分館でも受付しています。

③ 福岡市子ども読書活動推進計画（第2次）

平成17年3月に子どもの読書環境づくりを推進するために策定された1次計画を受けて平成23年5月に策定されました。子どもたちが読書の楽しさ、素晴らしさを感じ、生き生きと生きていくための「ことばの力」、「生きる力」を身に着け、「ことば輝く街」を目指しています。概ね18歳以下の子どもを対象にしています。

④ おはなし会

総合図書館と分館では、幼児や乳児づれの親子を対象に、毎月数回定期的にお話を聞かせる集会を開いています。本の世界の素晴らしさを体験し、その後の読書活動へとつなげる重要なサービスと位置付けています。

⑤ デジタル化資料

紙媒体に印された従来の資料とは異なり、CD、DVD、ハードディスクからのLAN配信、インターネットからの配信などアクセスでディスプレイ装置に表示される資料類の総称です。図書館が所蔵する資料を独自にデジタル化するほか、さまざまな団体が有料、無料で提供しています。文字情報のほか、画像情報、画像と文字の情報を組み合わせたものがあり、それぞれの資料ごとに独自の検索画面や方法を取っているため、図書館職員はそれぞれの情報の特性やアクセス方法ダウンロードや印刷方法に精通する必要があります。

⑥ ヤングアダルト

一般に中学生から高校生などティーンエイジ，すなわち児童と成人の間の年齢層を指しています。この年齢層を対象に行う図書館サービスをヤングアダルトサービスと呼び，コーナーを設けて独自の蔵書を構成しています。

⑦ 赤煉瓦文化館

福岡市中央区天神一丁目 15-30 にある経済観光文化局文化財保護課所管の建築物で，明治時代のわが国を代表する建築家辰野金吾工学博士，片岡安工学士の設計により，日本生命保険株式会社九州支店として明治 42 年（1909）2 月に竣工しました。ドームや小塔，屋根窓を配した銅板葺きの屋根や赤煉瓦と白い花崗岩の外壁は，19 世紀末の英国様式を応用したものです。昭和 44 年（1969）3 月に国の重要文化財に指定されたのを機に福岡市に譲渡され，長く歴史資料館として活用された後，平成 6 年（1994）2 月からは赤煉瓦文化館として市民に親しまれてきました。平成 14 年（2002）5 月福岡市文学館のサテライトを 1 階に開設し，文学に関する様々な情報を収集・提供しています。企画展や文学講座「赤煉瓦夜話」，読書講座などを開催しています。

－ 福岡市総合図書館新ビジョン －

発行／平成 26 年 6 月

福岡市教育委員会総合図書館

〒814-0001 福岡市早良区百道浜三丁目 7 番 1 号

電話 092-852-0600(代表)

F A X 092-852-0609

E-mail library-unei.BES@city.fukuoka.lg.jp

U R L <http://toshokan.city.fukuoka.lg.jp/>

福岡市総合図書館新ビジョン
事業計画及び成果指標

(令和元 年度～令和5 年度)

福岡市教育委員会

1 趣旨

平成8年6月の福岡市総合図書館開館以来、少子高齢化や高度情報化、国際化の進展など、社会状況が大きく変化しています。このような状況の中で、市民ニーズの高度化、多様化という新たな環境変化に対応していくため、今求められる図書館の役割を踏まえ、これから目指すべき図書館像を定める「福岡市総合図書館新ビジョン」を平成26年6月に策定しました。

この「福岡市総合図書館新ビジョン」は平成26年度を始期とする10年間を計画期間としており、新ビジョン推進のため、重点的に取り組む具体的な施策・事業について5年ごとにその事業計画を作成し、成果指標を定めて計画的に事業を実施していくものです。

2 事業計画の枠組み

(1) 計画の期間

①前期事業計画

計画の期間は、2014年度（平成26年度）から2018年度（平成30年度）までの5年間とします。

②後期事業計画

計画の期間は、2019年度（令和元年度）から2023年度（令和5年度）までの5年間とします。

(2) 計画の構成

事業計画は、「福岡市総合図書館新ビジョン」で掲げる「目指す図書館像」に沿った項目ごとに整理し、それぞれの内容と成果指標、スケジュールから構成されています。

3 進行管理と評価

新ビジョンを着実に推進していくために、年度ごとに図書館サービスや業務についての評価を行い、進行管理を行っていきます。

そのため、年度ごとに図書館サービスや業務について、アンケートを実施しながら、内部評価を行います。さらに、内部評価について意見を聴くため、「福岡市図書館評価委員会」を設置して、市民や有識者の視点を取り入れた外部評価を行い、結果を公表します。その評価内容に応じて、図書館サービスの改善を図っていきます。

(1) 内部評価

毎年4月 アンケートの実施

6月 アンケートの結果や成果指標などに基づく内部評価

(2) 外部評価

毎年7月 福岡市図書館評価委員会による外部評価及びその公表
評価内容に応じた改善

4 前期事業計画の振り返り

福岡市総合図書館では、「福岡市総合図書館新ビジョン」に掲げる「目指す図書館像」を達成するため、前期事業計画に基づき施策・事業を推進してまいりました。その結果、潤いややすらぎの場の創出や一部の図書館ではありますが開館時間の延長、また、地域読書活動への支援を目的とした団体貸出制度の拡充など一定の成果を得られました。

一方では、急速なIoT化の発展や市民意識の変化、社会情勢の変化等で図書館利用者が年々減少傾向であり、改めて図書館に求められる役割と機能を考えていく必要があります。

(1) 前期事業計画の成果

①学校図書館支援センターの立ち上げ

各学校が学校図書館を効果的に運用できるよう、総合図書館内に学校図書館支援センターを開設し、支援を開始

②団体貸出制度の拡充

地域文庫や学校、高齢者施設等への団体貸出サービスを充実
344 団体(2013 年度) → 390 団体(2018 年度)

③図書館利用時間の拡大

総合図書館及び東図書館において開館時間の延長を実施
(東図書館においては休館日も見直し)

④貸出・返却拠点の新設(4 拠点)

貸出・返却拠点：福岡市科学館
返却拠点：木の葉モール橋本，ふくふくプラザ，九州がんセンター

⑤図書館イベントの充実

子ども向けのイベント(おはなし会など)に加え、大人向けイベント(各種講演会・講座等)、アジア映画の館外上映などを実施

(2) 福岡市図書館を取り巻く現状

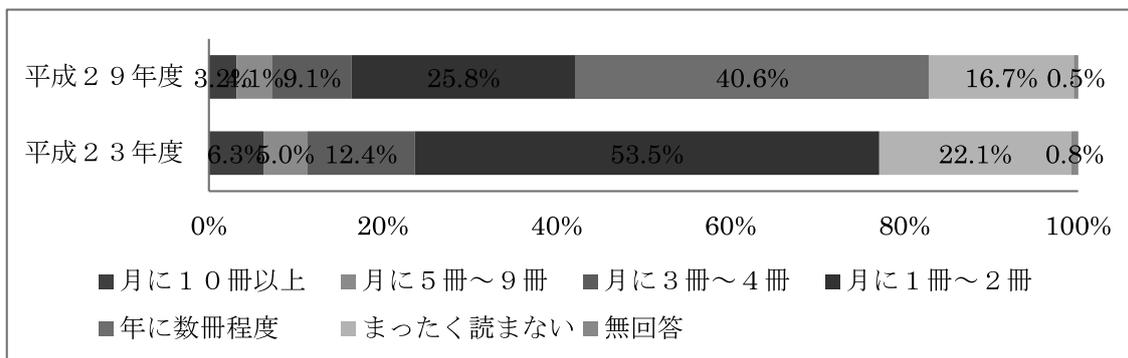
①市民の読書への考え方の変化

ア 本が読みたくなった時の行動

(平成23年度, 平成29年度 市政アンケートより)

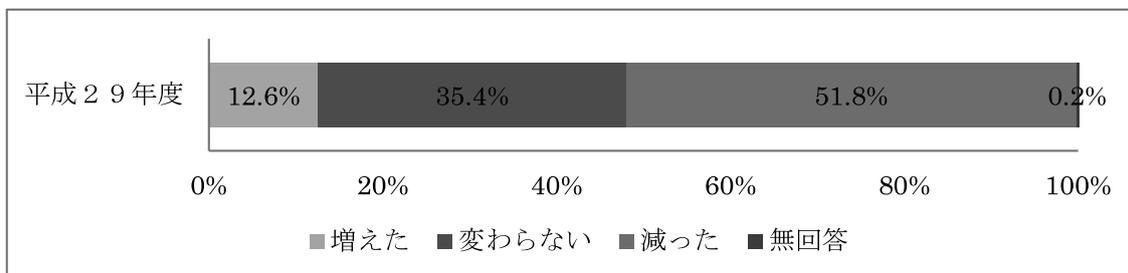
項目	平成23年度	平成29年度
書店(コンビニ購入を含む)で購入する	72.5%	61.6%
公立図書館を利用する	17.0%	13.7%
通信販売で購入する	3.8%	9.3%
職場, 学校の図書室やブックカフェを利用する	1.5%	1.8%
電子書籍等を購入する	0.2%	3.6%
その他	4.0%	4.5%
無回答	1.0%	5.7%

イ 1カ月当たりの平均読書量

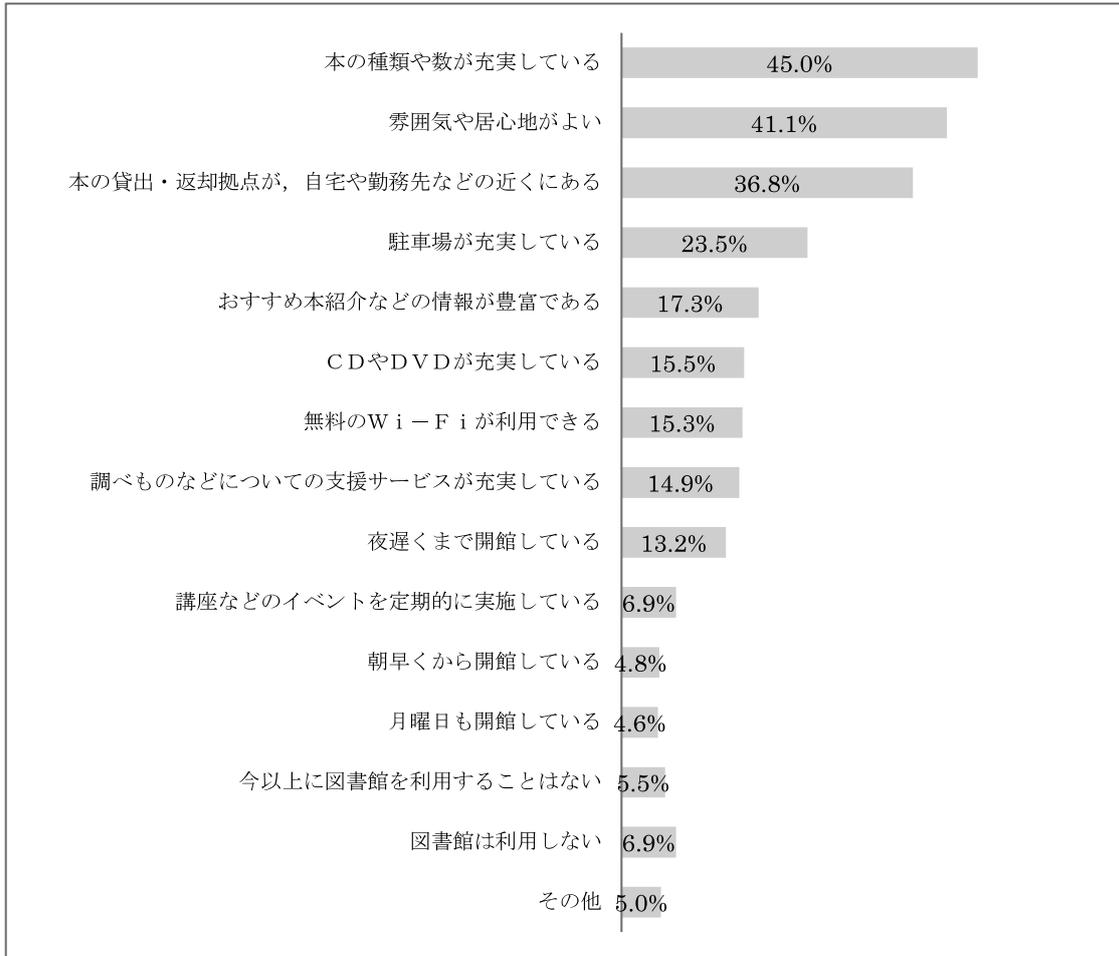


ウ 5～6年前と比較した1日の読書時間

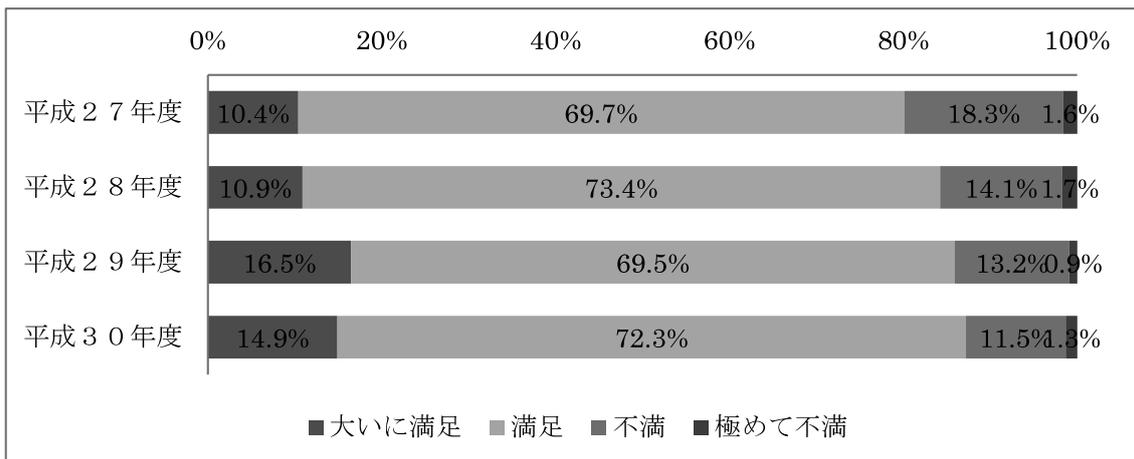
(平成29年度 市政アンケートより)



エ 図書館をいま以上に利用するための条件
(平成29年度 市政アンケートより)



オ 図書館利用者の開館時間及び休館日における満足度
(平成27～30年度 図書館利用者アンケートより)



②図書館利用者の減少

○個人貸出冊数 4,378 千冊(2014 年度) → 4,167 千冊(2017 年度)

○貸出利用者数 1,227 千人(2014 年度) → 1,211 千人(2017 年度)

※福岡県全体においても個人貸出冊数は減少傾向である。

・個人貸出冊数(県内図書館の総数)

24,448 千冊(2014 年度) → 23,705 千冊(2017 年度)

5 後期事業計画への取り組みの姿勢

福岡市総合図書館新ビジョンの推進については、実現へ向けた取り組みとして、2014 年度から 2018 年度までを前期として、また、2019 年度から 2023 年度までを後期として位置付け、それぞれ事業計画を策定することとしています。

今回、後期事業計画を策定するにあたり、前期事業計画で取り組みが十分でなかった項目を中心に見直しを行っており、これらの様々な施策、事業の実施につながるよう、計画的な推進に取り組んでまいります。

また、学校教育及び生涯学習における読書活動推進の観点を踏まえ、図書行政の改革に取り組んでまいります。

福岡市総合図書館新ビジョン 基本理念

**市民がくつろぎ、本や人と楽しくふれあえる
新たな学び・情報・交流の拠点となる図書館**

内容

利用者の高度化・多様化するニーズに対応できる資料・情報を提供する生涯学習施設として、また、内部空間だけでなく外部空間も含めて、快適な空間を最大限に活用することにより、これまで図書館を利用したことのない人なども集う場を創出し、多くの市民がくつろぎ、楽しさを共有できる新たな情報・交流の拠点となる図書館を目指します。

成 果 指 標

図書館利用者における図書館サービスの満足度

【2013年度】75.5% → 【2018年度】85% → 【2023年度】90%

【2013年度 実績】

- ・貸出利用者数 1, 291 千人
- ・個人貸出冊数 4, 633 千冊
- ・入館者数 ー 千人
- ・新規登録者数 30 千人



【2018年度 見込】

- ・貸出利用者数 1, 205 千人
- ・個人貸出冊数 4, 046 千冊
- ・入館者数 3, 090 千人
- ・新規登録者数 24 千人

【2023年度 目標】

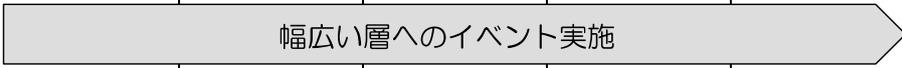
- ・貸出利用者数 1, 400 千人
- ・個人貸出冊数 4, 800 千冊
- ・入館者数 3, 500 千人
- ・新規登録者数 30 千人

※「入館者数」については、2013年度の当初から計測に誤りがあったこと、また、その他の項目についても近年の図書館の利用状況に鑑み、2018年度の見込をもとに2023年度の数値目標を新たに設定しております。

(1) 誰もが楽しめる魅力ある図書館

		部門	運営・図書		
項目	内容				
図書資料の貸出・返却 拠点の新設	<p>① 分館の新設</p> <ul style="list-style-type: none"> 早良南地域交流センターの2021年11月の開館に合わせて分館開館準備に取り組みます。 <p>② 貸出・返却拠点等の新設</p> <ul style="list-style-type: none"> 利用者の利便性の向上を考慮し、交通の便の良い公共施設等における図書の貸出・返却拠点の設置を推進します。 				
		2013年度	2018年度	2023年度	
	貸出拠点数	13地点	13地点	15地点	
返却拠点数	21地点	24地点	27地点		
○前期の振り返り					
<p>① 分館の新設</p> <p>早良南地域交流センターについて、整備事業の実施方針及び要求水準書を2017年12月に公表し、2018年4月にPFI事業者の公募を開始、2018年11月に事業者が決定した。</p> <p>② 貸出・返却拠点等の新設</p> <p>2013年から返却拠点3地点（木の葉モール橋本、ふくふくプラザ、九州がんセンター）を新設した。また、少年科学文化会館の貸出・返却拠点を同館の閉館に伴い2016年に廃止したが、2017年開館の福岡市科学館に新たに拠点を設置した。</p>					
○スケジュール					
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
分館 (早良南)	開館準備			◇開館	
貸出・返却 拠点	検討、協議				
			◇設置		
※市の施設や地下鉄駅、民間施設・店舗などへの拠点設置の可能性を検討する。					

		部門		運営・図書・文書・映像	
項目		内容			
利用時間の見直し (休館日、開館時間の 見直し)		図書館分館ごとの市民ニーズ等に基づき、休館日と開館時間の見直しを検討します。			
○前期の振り返り					
<ul style="list-style-type: none"> ・総合図書館は、2016年4月より開館時間を延長した。 ・東図書館は、移転開館した2016年6月より開館日・開館時間の拡大を実施した。 					
○スケジュール					
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
休館日	検討	段階的に実施			
開館時間	検討	段階的に実施			

		部門	運営・図書		
項目	内容				
図書館イベントの充実	<p>子ども向けのおはなし会や体験講座，大人向けの講座など，幅広い層に向けて多様なイベントを実施し，これまで図書館を利用していなかった層への訴求や，参加者の満足度の向上を目指し，引き続き，読書の普及や図書館の活用促進を図ります。</p> <p>また，市の関連部署と連携したイベント，総合図書館の映像資料部門や文書資料部門，各分館との連携による企画を実施していきます。</p>				
		2013年度	2018年度	2023年度	
	イベント回数 (総合・分館)	809回 /年	1,033回 /年	1,150回 /年	
	参加者数	48,671人 /年	52,224人 /年	55,000人 /年	
※2018年度見込みは2017年度の実績値を仮記入					
<p>○前期の振り返り</p> <p>総合図書館においては，従前から開催していた子ども向けおはなし会や講座，読書活動ボランティア講座に加え，新たに大人向け読書イベントとして，がんについての講演や教養講座，本の修理講座などの各種講演会・講座や読書会などを実施した。</p> <p>また，分館においては，地域の特色を生かしたテーマや独自の観点による多様なイベントを実施した。</p>					
○スケジュール					
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
イベント					
<p>(例) 図書館を舞台にした撮影会・写真コンテスト</p> <p>SNS を活用したイベント周知</p> <p>出前講座形式での図書館イベント実施</p> <p>作家や文化人による講演会開催</p> <p>自動貸出機やOPACなどの使用法を案内する図書館 Q&A 講座の開催</p> <p>幅広い層を対象とした夜のおはなし会の実施</p> <p>小(高学年)中高生向けの図書館司書体験</p> <p>総合の各部門・分館合同でのイベント など</p>					

		部門		運営・図書・文書・映像	
項目	内容				
快適な空間づくり	<p>やすらぎや交流の場といった、初めての来館者も過ごしやすい環境の創出など、大幅な館内レイアウトの変更について、施設設備の大規模更新による休館（6カ月程度）にあわせて行うこととし、長期保全計画に基づく設備更新を計画的に推進します。</p>				
<p>○前期の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総合図書館において、エントランスホールを活用した語らいの広場を設置するとともに、指定管理者による季節に応じたイベントを開催した。 ・2017年度に長期保全計画を作成し、施設の保全・更新を優先して実施している。 					
○スケジュール					
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
レイアウト 変更					

(2) さまざまな情報を求める市民に応える図書館

項 目	部門	運営・図書						
内 容								
図書館サービスの充実	<p>① 資料収集の充実 公共図書館としての役割を發揮するため、前期で見直した図書資料の収集方針に沿って資料収集を行い、市民ニーズに応えるよう努めます。 また、電子書籍の取り扱いについて、業界や他都市の動向を踏まえて、検討を継続していきます。 さらに、収集した資料を幅広く活用できる方策を検討していきます。</p> <p>② レファレンス（相談）サービスの充実 窓口、電話、文書、電子メールによるレファレンスを実施するとともに、レファレンス情報のホームページでの提供を進めます。</p> <p>③ 課題解決型支援の充実 ビジネスや医療、子育て支援などの課題解決に対して、関係部局及び国・県等と連携を図りながら、図書館資料を活用した展示や講演会、相談会等を行っていきます。</p> <table border="1" data-bbox="557 1111 1241 1200"> <thead> <tr> <th></th> <th>2018 年度</th> <th>2023 年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>実施事業</td> <td>6 件／年</td> <td>12 件／年</td> </tr> </tbody> </table>			2018 年度	2023 年度	実施事業	6 件／年	12 件／年
	2018 年度	2023 年度						
実施事業	6 件／年	12 件／年						
<p>○前期の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> 電子書籍に関しては、図書館での利用が認められているジャンルやタイトルが極めて限定的であるため、現時点での導入は見送っている。 前期において、総合図書館収集方針を改定するとともに、各分館で地域の実情に合わせ特色を持たせた収集方針を策定し、選書等を行った。 電子メールによるレファレンスを 2016 年度から開始し、徐々に件数が増加している。 福岡市及び国等のホームページに掲載されたインターネット情報の複写サービスを開始した。 起業・経営、医療、子育て支援などの事業を着実に実施できた。 無線 LAN 環境の整備については、2014 年度に総合図書館、2016 年度に東図書館へ公衆無線 LAN「Fukuoka City Wi-Fi」が導入されたが、他の分館については、各施設の管理者と導入を協議していく。 								

○スケジュール

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
資料収集	資料収集方針に沿った資料収集				
レファレンス	レファレンスサービスの実施				
課題解決型支援	医療・ビジネス・子育て支援等の情報提供				

(例) ①大活字本等を所蔵館以外の館に一時的に配架する

柱, 壁, 本棚側面を活用した本の顔を見せる展示スペースの創出 など

②HPを一部改修し, 利用者の調べものを支援するレファレンスガイド(調べもの案内)の情報をネット上で提供する。

		部門	図書																				
項目	内容																						
地域読書活動への支援	<p>①団体貸出先の拡大 地域の読書活動の拠点である地域文庫や学校、高齢者福祉施設等への団体貸出を実施し、団体貸出サービスの充実を図ります。</p> <p>②地域読書活動への支援 地域において読書活動を行っている団体の活動状況を調査してニーズを把握するとともに、公民館や留守家庭子ども会等を訪問して、活動や環境整備への助言や支援等を行います。</p>																						
		2013年度	2018年度	2023年度																			
	登録団体数	344団体	390団体	420団体																			
	配本冊数	236,455冊	220,000冊	244,000冊																			
<p>○前期の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> 登録団体数は増加を続けており、登録団体数については目標達成の見込みであるが、新規登録団体に小規模な団体が多いほか、配本能力の制約があり一部団体の配本周期を伸ばしたことから、配本冊数は頭打ちとなっている。 団体貸出の主体である地域ボランティアを対象に地域文庫交流会を開催し、支援の拡大を図ることで、公民館の団体貸出が5団体増加した。 																							
<p>○スケジュール</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2019年度</th> <th>2020年度</th> <th>2021年度</th> <th>2022年度</th> <th>2023年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>団体貸出</td> <td colspan="5" style="text-align: center;">団体貸出先の拡大</td> </tr> <tr> <td>地域読書活動への支援</td> <td colspan="5" style="text-align: center;">地域読書活動への支援</td> </tr> </tbody> </table>							2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	団体貸出	団体貸出先の拡大					地域読書活動への支援	地域読書活動への支援				
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度																		
団体貸出	団体貸出先の拡大																						
地域読書活動への支援	地域読書活動への支援																						
<p>※未登録の公民館や高齢者施設、病院などに制度周知を行い、貸出先の拡充を図る。 ※地域における講座等の開催を拡充していく。</p>																							

		部門	図書		
項目	内容				
市関連施設の図書室の相互協力	引き続き、議会図書室、科学館及びふくふくプラザとの相互協力を実施するとともに、今後とも市関連施設との連携について検討していきます。				
○前期の振り返り					
<ul style="list-style-type: none"> 平成 26 年度から、議会図書室を通じて、市議会議員及び行政職員への図書資料の貸出による支援を開始。 平成 27 年度から、ふくふくプラザで図書資料の返却を開始（福祉図書・情報室窓口での返却受付、施設入口に返却ポスト設置）。 平成 29 年度から、福岡市科学館のサイエンスナビにおいて、図書資料の貸出・返却を開始。また、同館の夏休み展示において、総合図書館に所蔵する科学関連の児童図書を一部展示。 					
○スケジュール					
	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
市施設との相互協力					

(3) 子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館

		部門	図書		
項目	内容				
子どもへの読書普及	<p>①モデル児童図書リストの配布 子どもたちやその保護者等が子どもの本を選ぶ目安として、各年齢層に応じた本を紹介したリストを配布し、子どもの読書推進に寄与します。</p> <p>②子どもの貸出カード作成推進 図書館の貸出カードを所有していない児童を対象として、貸出カードの作成を推進することにより、読書の普及等を図ります。</p> <p>③ヤングアダルト層（12歳～18歳）への働きかけの強化 広報やイベントを充実させるとともに、中高生に訴求する資料収集を進めます。</p> <p>④読書活動ボランティア講座の強化 読書活動ボランティア講座を開催し、学校や地域等幅広いボランティアを養成して、地域の読書活動の推進に寄与します。</p>				
○前期の振り返り					
<ul style="list-style-type: none"> モデル児童図書に関して、作成期間やコストの観点から判型等を見直し、冊子形式の目録から毎年発行で幅広く配布可能なリスト形式に変更。多様な層への配布や当該図書の展示により、関連図書の貸出増加を図ることができた。 新1年生への貸出カードの付与は個人情報保護の観点から実現に移せず。小学1年生を対象とした推薦図書リストの全員配布と併せて、貸出カード作成の案内文書を配布したが、成果は限定的であった。 ヤングアダルト向けの推薦図書のブックリストを作成・配布し、読書普及を図った。また、ヤングアダルトイベント（ビブリアバトル、TRPG、ボードゲーム、）など新しい動きが出てきた。 読書活動に関心のある市民向けにボランティア講座を実施するとともに、受講者に地域文庫マップを配布し地域で活動する団体の情報提供に努めた。 					
○スケジュール					
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
モデル児童 図書目録	各グレード	作成・配布			
子どもの 貸出カード	検討協議	実施			

ヤングアダ ルト層への 働きかけ	広報・イベント・資料収集の充実				
読書ボラン ティア講座	読み聞かせ講座の実施				
	ストーリーテリング講座・おさらい会の実施				

※子どもの貸出カードについて、さまざまな場面を捉えて作成を促す。

(例) 授業での図書館見学の際に学校と連携して事前登録・カード作成・交付を実施

※地域の読書活動を支える人材を育成し、生涯学習課と連携して活動に繋げていく方策を検討する。

(例) ヤングアダルト向けイベント時に、若い世代のボランティアを募集する。

		部門	図書		
項目	内容				
学校図書館への支援	①学校図書館支援センターの充実				
	<p>前期での成果を踏まえ、総合図書館内に設置した学校図書館支援センターにおいて、市立小・中・特別支援学校の学校図書館への人的・物的支援を行い、学校司書の活動をサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館への運営等に関する指導、助言 ・学校図書館の図書への選書や助言 ・学習支援用図書の貸出、学校司書への支援 				
		2013年度	2018年度	2023年度	
	学校図書館への配本数	0冊/年	3,200冊/年	4,500冊/年	
学校図書館への対応件数	0件/年	100件/年	120件/年		
○前期の振り返り					
<ul style="list-style-type: none"> ・市立小・中学校全校へ訪問し、学校図書館を視察して運営や選書等について相談を受けるとともに、学校図書館支援センターの役割や支援方法などを説明。 ・小学校については周知が進み、支援用図書の貸し出しも大きく伸びているが、中学校については、わずかな伸びに留まっている。 ・特別支援学校については発達教育センターと連携してニーズを把握し、支援に繋げるべく情報収集を行った。 ・各校の訪問や相談対応を重ね、また制度周知が進むにつれ、特に小学校において設置直後に比べ学校現場の課題やニーズに即した助言や支援が実施できるようになり、活用件数が増加している。また、利用した学校司書や教員が継続して相談・利用するケースが増えている。 					
○スケジュール					
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
学校図書館支援センター	公共図書館司書の専門性を生かした学校図書館への支援				
	学習支援図書の貸出				
	学校図書館の活用・運営に係る情報収集と提供				
<p>※学校図書館支援センター利用の手引きを作成し、引き続き教員・学校司書への利用勧奨を行っていく。</p> <p>※特別支援学校に対し、具体的支援を行っていく。</p>					

(4) 総合図書館の特色を生かした図書館

		部門	映像		
項目	内容				
映像資料部門の充実	<p>① 図書館外施設での映像資料上映事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 収集した映像資料についてさまざまな手法を用いて市民等に提供することで、効果的な図書館の映画保存事業のアピールを行います。 <p>② 資料展示事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 展示事業をシネラの広報に限定せず、アジア映画のポスター展を中心に多様な展示を計画し、映像文化の普及・振興、市民サービスの促進を行います。場所はビデオライブラリーを使った展示空間の新設を検討します。 				
○前期の振り返り					
<p>① 図書館外施設でのアジア映画上映事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 博多、東、城南区市民センターで館外上映を実施。図書館のアジア映画収蔵を知らない観客への一定の広報効果はあったが、費用対効果の課題があった。 <p>② 資料展示事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ポスター展示をシネラのアジア映画上映企画に連動し、1階ショーケースで年に1回～2回開催。 					
○スケジュール					
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
上映事業	手法検討	上映事業の実施			
展示事業	多様な資料の展示				
	展示エリアの検討	展示エリアの整備			

		部門	文書												
項 目	内 容														
文書資料部門の充実	<p>①文書資料のデジタルデータ化・情報提供の充実 文書資料(歴史的公文書・行政資料・古文書資料・郷土資料)のデジタルデータ化・活用を進めるとともに、文学情報提供システムを拡張することにより、文書資料の情報提供システムを構築し、文書資料への理解と利用の促進を図ります。</p> <p>②文学館の利用拡大 市民に認知され、利用しやすい文学館となるよう、事業の充実及び情報提供の強化による利用拡大を図ります。 また、インターネットによる福岡ゆかりの文学情報提供システムを新たに構築します。</p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center;"> <tr> <td></td> <td>2013 年度</td> <td>2018 年度</td> <td colspan="2">2023 年度</td> </tr> <tr> <td>参加者</td> <td>5,901 人</td> <td>1,044 人</td> <td colspan="2">2,100 人</td> </tr> </table> <p>※企画展，文学講座，読書講座等参加者 ※2013 年度は大河ドラマ「黒田官兵衛」に併せた企画展を実施</p>						2013 年度	2018 年度	2023 年度		参加者	5,901 人	1,044 人	2,100 人	
	2013 年度	2018 年度	2023 年度												
参加者	5,901 人	1,044 人	2,100 人												
○前期の振り返り															
<ul style="list-style-type: none"> 歴史的公文書・行政資料については、デジタルデータ化した歴史的公文書等の展示により公文書館機能の理解促進を図ることができた。 歴史的公文書システムの構築については、総務企画局における文書管理システムの更新に併せて検討することとしていたが、更新の予定がないため後期計画から除外する。 古文書資料・郷土資料については、デジタルデータ化に係る検討を進めるとともに、一部の資料のデジタルデータ作成を行ってきた。 文学館事業については、新聞・テレビなどを活用した広報により、文学館の認知度向上に努めた。 福岡ゆかりの文学者等について紹介する企画展等を開催したが、テーマにより参加者に増減が生じている。 															
○スケジュール															
	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度										
文書資料のデジタルデータ化・情報提供の充実	デジタルデータ化・活用の推進														
	デジタルデータの作成・蓄積，ホームページ掲載・展示・市民提供等														
	文書資料情報提供システムの構築(文学情報提供システムの拡張)														
	検討	システムの拡張・情報提供													

文学館の 利用拡大	総合図書館HP等での情報提供の充実			
	企画展，常設展，文学講座等の情報提供の充実			
	企画展の開催，広報強化			
	企画展開催・報道機関等による広報強化			
	福岡ゆかりの文学情報提供システムの構築			
構築	情報提供			

(5) 効率的で効果的な図書館運営

		部門	運営・図書・文書・映像	
項目	内容			
図書館運営の強化	① 運営方法の検討	現在指定管理制度を導入している総合図書館および東図書館の成果を検証し、図書館の運営方法を検討します。		
	② 図書館ボランティアとの共働の推進	図書館サービスの充実と市民活動の場の提供を図るため図書館ボランティアとの共働を推進します。		
		2013年度	2018年度	2023年度
	活動時間	4,084時間	4,500時間	5,000時間
図書館運営の強化	③ 職員の育成及び技術向上	利用者が心地よいと感じる図書館となるよう、図書館職員の接遇研修等を強化します。また、図書館職員として専門知識や技術の向上を目指し、各種研修を実施し、研修成果の情報共有を図ることで、図書館サービスの向上と充実を図ります。		
	④ 施設の有効活用などによる財源確保	駐車場収入による財源確保に努めるとともに、寄付金収入等の増額方法について検討します。 また、デジタルサイネージや施設広告、施設の目的外利用等について、新たな収入確保を検討します。		
		2013年度	2018年度	2023年度
	収入額	785千円	6,000千円	9,000千円
○前期の振り返り				
①総合図書館の建物管理(2016.4～)及び東図書館の運営(2016.6～)について、指定管理者制度を導入。				
②書架整理や図書資料の修繕等を行うボランティアの新規申し込みを毎年実施。インターンシップ研修生を受け入れ。				
③全体研修として、接遇・クレーム・業務改善等の研修を実施。研究集会や県立図書館の研修への参加、保健所等による出前講座の実施(子育て支援や地域福祉等)。国立国会図書館のインターネット遠隔研修の受講(著作権等)				
④バナー広告等をはじめ、総合図書館駐車場を図書館利用者以外にも有料開放して収入を確保。雑誌スポンサー制度は継続性の観点から見送り。				

○スケジュール

	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度
運営方法の検討	モニタリング 実施・検証	公募 選定	総合（建物管理のみ）、東（運営）		
	運営方法 検討・決定	開館準備	早良南（仮称）		
ボランティア	活動内容の追加・実施				
職員の育成 及び技術向上	研修等の強化（分館での研修の充実）				
財源確保	駐車場収入による財源確保				
	新たな 財源の 検討	その他財源の確保			

※財源確保については、図書館へのふるさと納税寄付金の促進方法について検討。
また、その他の財源としてデジタルサイネージや施設広告などの新たな財源確保について検討。

※ボランティア活動の内容については、イベント・ガーデニング・広報等、新たな分野の追加を検討・実施する

※図書館オリジナルのノベルティグッズを製作・販売

		部門	運営														
項目	内容																
情報発信の推進	引き続き、インターネット等を活用した情報発信に努めるとともに、新聞やミニコミ誌などのメディアへの働きかけを進めます。																
		2013年度	2018年度	2023年度													
	ホームページアクセス	224万回/年	207万回/年	230万回/年													
	メールマガジン登録者数	0人	285人	800人													
<p>○前期の振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2017年9月にHPをリニューアルし見やすさ、使いやすさを改善。 ・facebookやtwitter, LINEなどSNSで情報発信。 ・2016年5月から月1回のメールマガジンを配信。 																	
<p>○スケジュール</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>2019年度</th> <th>2020年度</th> <th>2021年度</th> <th>2022年度</th> <th>2023年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>情報発信の推進</td> <td style="text-align: center;">検討</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">実施</td> </tr> </tbody> </table>							2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度	情報発信の推進	検討	実施			
	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度												
情報発信の推進	検討	実施															
<p>(例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3部門のイベント情報やお役立ち情報等を統括した情報誌の発行 ・都心部でのイベントで図書館PRを設置 																	

○新ビジョン事業計画一覧表

	図書館像	項目	内容	内部評価	部門
1	誰もが楽しめる 魅力ある図書館	図書資料の貸出・ 返却拠点の新設	分館の新設	A	運営・図書
2			貸出・返却拠点等の新設	A	
3		利用時間の見直し	休館日、開館時間の見直し	B	全部門
4		図書館イベントの充実	図書館イベントの充実	A	図書
5		快適な空間づくり	快適な空間づくり	B	全部門
6	さまざまな情報を求める 市民に応える図書館	図書館サービスの充実	資料収集の充実	A	運営・図書
7			レファレンス(相談)サービスの充実	A	
8			課題解決型支援の充実	A	
9		地域読書活動への支援	団体貸出先の拡大	A	図書
10			地域読書活動への支援	B	
11	市関連施設の図書室 の相互協力	市施設の図書室との相互協力	B	図書	
12	子どもと本をつないで 豊かな心を育む図書館	子どもへの読書普及	モデル児童図書目録の配布	A	図書
13			子どもの貸出カード作成推進	C	
14			ヤングアダルト層(12歳～18歳)への働きかけの強化	A	
15			読書活動ボランティア講座の強化	A	
16	学校図書館への支援	学校図書館支援センターの充実	A	図書	
17	総合図書館の特色を 生かした図書館	映像資料部門の充実	図書館外施設での映像資料上映事業	B	映像
18			資料展示事業	A	
19		文書資料部門の充実	文書資料のデジタルデータ化・情報提供の充実	B	文書
20	文学館の利用拡大		B		
21	効率的で効果的な 図書館運営	図書館運営の強化	運営方法の検討	A	全部門
22			図書館ボランティアとの共働の推進	A	
23			職員の育成及び技術向上	A	
24			施設の有効活用などによる財源確保	B	
25		情報発信の推進	情報発信の推進	A	

A 16

B 8

C 1

令和元年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項目	図書資料の貸出・返却拠点の新設		
内容	分館の新設				
事業計画	早良南地域交流センターの2021年11月の開館に合わせて分館開館準備に取り組みます。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	【早良南図書館】 開館準備			◇開館	
令和元年度					
計画	早良南地域交流センターの令和3年11月の開館にあわせて、開館準備に取り組む				
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・運営方法について検討を行った。 ・関係部署及び関係事業者と、図書館に関する設計等に関して協議を進めた。 				
令和2年度					
計画	令和元年度に検討した結果、指定管理者制度による運営で決定したため、指定管理者の公募、選定等、運営管理に関する手続きを進める。また、開館までに必要な所蔵図書の収集を行い、開館準備を進める。				
内部評価（令和元年度）					
令和3年11月の開館に向けて、計画どおり進行させたため、A評価とする。					A
外部評価（令和元年度）					
					A : B : C : D :

令和元年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項目	図書資料の貸出・返却拠点の新設		
内容	貸出・返却拠点等の新設				
事業計画	利用者の利便性の向上を考慮し、交通の便の良い公共施設等における図書の貸出・返却拠点の設置を推進します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	◇設置				
令和元年度					
計画	利用者の利便性の向上を考慮し、交通の便の良い公共施設等における図書の貸出・返却拠点の設置を推進し、市の施設や地下鉄駅、民間施設・店舗などへの拠点設置の可能性を検討していく。				
取組状況	市の施設、民間施設への具体的な設置に向けて、関係部署、関連民間企業等との協議を進めた。				
令和2年度					
計画	市の施設、民間施設への具体的な拠点設置に向けて、関係部署、関連民間企業等との協議を進める。				
内部評価 (令和元年度)					
新たな場所での拠点設置について、官民間わず設置場所の確保協議及び施設管理者等とも協議を進め、東区香椎照葉地区への返却拠点(ポスト)設置について、実現に向けた進展はあったため、Aとする。					A
外部評価 (令和元年度)					
					A : B : C : D :

令和元年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項目	利用時間の見直し		
内容	休館日, 開館時間の見直し				
事業計画	図書館分館ごとの市民ニーズ等に基づき, 休館日と開館時間の見直しを検討します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	【休館日】 検討	段階的に実施			
	【開館時間】 検討	段階的に実施			
令和元年度					
計画	総合図書館及び分館の開館時間, 休館日の見直しについて, これまでの検討結果及び東図書館での実施状況, 成果を検証し, 継続的に検討を進めていく。				
取組状況	来館者に調査を実施し, 開館時間及び休館日の満足度を確認し, 令和元年度は88.9%と高い満足度を得た。				
令和2年度					
計画	引き続き, 定期的な調査等のほか市政アンケートを実施し, 市民ニーズの把握に努める。				
内部評価 (令和元年度)					
令和3年度に開館予定の早良南図書館については, 東図書館と同様の開館時間及び休館日とすることとしている。満足度調査のうえ, 開館時間及び休館日の見直しの検討をしており, 評価結果をBとする。					B
外部評価 (令和元年度)					
					A : B : C : D :

令和元年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項目	図書館イベントの充実		
内容	図書館イベントの充実				
事業計画	子ども向けのおはなし会や体験講座、大人向けの講座など、幅広い層に向けて多様なイベントを実施し、これまで図書館を利用していなかった層への訴求や、参加者の満足度の向上を目指し、引き続き、読書の普及や図書館の活用促進を図ります。 また、市の関連部署と連携したイベント、総合図書館の映像資料部門や文書資料部門、各分館との連携による企画を実施していきます。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	幅広い層へのイベント実施				
令和元年度					
計画	総合図書館及び分館において、共通テーマで選んだ各館の蔵書を10月に一斉展示する「図書館マンス」をはじめ、「こどもの読書週間」や「読書週間」などを中心に読書普及につながるイベントを企画・実施する。また、大人やヤングアダルトを対象としたイベントを引き続き企画・実施する。				
取組状況	10月の「図書館マンス」において、総合図書館及び分館で「図書館元年～はじめのいっぽ」を共通テーマとし、さらに各部門毎にサブテーマを設定して、展示や様々なイベントを実施した。 「こどもの読書週間」では、こどもの日特別おはなし会を開催した。 また、大人向けとして、読書会、福岡おはなしの会によるストーリーテリング、落語会、がん講演会などを、ヤングアダルト向けに、ビブリオバトルやTRPG、ボードゲーム、国連講演会・ワークショップなどを実施した。 4～6月には、G20福岡の展示、令和2年1～2月には、中村哲医師の追悼展示、2月には、SDGs強化月間として、展示やイベントを行った。当初予定になかったが、友好都市締結40周年を記念して来福した広州市友好訪問団を当館に迎え、広州ユース交響楽団によるロビーコンサートや広州図書館青少年漫画作品展を開催した。 読書行事等イベント 総合図書館・分館896回 22,452人 展示(総合図書館)117回				
令和2年度					
計画	新型コロナウイルスの状況や対策に十分に配慮しながら、総合図書館及び分館において、共通テーマで選んだ各館の蔵書を10月に一斉展示する「図書館マンス」をはじめ、「こどもの読書週間」や「読書週間」などを中心に読書普及につながるイベントを企画・実施する。また、大人やヤングアダルトを対象とした読書イベントを引き続き企画・実施する。				
内部評価 (令和元年度)					
令和2年2月になって、新型コロナウイルス感染防止のためイベントを中止したが、それまでは総合図書館および分館において、「図書館マンス」をはじめ、数多くの様々なイベントを計画どおり実施することができた。また、広州市との友好都市40周年を記念して、様々な事業の実施を行った。これらによりA評価とする。					A
外部評価 (令和元年度)					
					A : B : C : D :

令和元年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項目	快適な空間づくり		
内容	快適な空間づくり				
事業計画	<p>やすらぎや交流の場といった、初めての来館者も過ごしやすい環境の創出など、大幅な館内レイアウトの変更について、施設設備の大規模更新による休館(6カ月程度)にあわせて行うこととし、長期保全計画に基づく設備更新を計画的に推進します。</p>				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
令和元年度					
計画	<p>建物の長寿命化のために策定した長期保全計画に基づき、計画的に令和元年度の工事を行う。また、同計画から優先度の高い工事を抽出し、財政的負担を平準化して工事が可能となるよう短期的な工事について見直すほか、休館時期の検討に着手する。</p>				
取組状況	<p>平成元年度は、電話設備更新工事、消火設備更新工事、パッケージ(部分)エアコン更新工事などの設備更新工事を行った。また、令和2・3年度の短期的な工事計画を策定したほか、大規模更新による休館時期の決定に向け、令和4年度以降の工事時期について、個別計画を策定するなどして、検討を行った。</p>				
令和2年度					
計画	<p>引き続き、計画的に設備更新工事を実施する。また、新型コロナウイルス感染症対策による全市的な工事の時期等の見直しの指示等を踏まえながら、更新工事時期の検討を行う。</p>				
内部評価 (令和元年度)					
<p>長期保全計画に基づき計画的に設備更新工事を実施したほか、個別計画案は策定したが、休館時期の検討までは着手できなかったため、B評価とする。</p>					B
外部評価 (令和元年度)					
					A : B : C : D :

令和元年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	図書館サービスの充実		
内容	資料収集の充実				
事業計画	公共図書館としての役割を発揮するため、前期で見直した図書資料の収集方針に沿って資料収集を行い、市民ニーズに応えるよう努める。 また、電子書籍の取り扱いについて、業界や他都市の動向を踏まえて、検討を継続していく。 さらに、収集した資料を幅広く活用できる方策を検討する。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	資料収集方針に沿った資料収集				
令和元年度					
計画	公共図書館としての役割を発揮するため、前期で見直した図書資料の収集方針に沿って資料収集を行い、市民ニーズに応えるよう努める。また、電子書籍の取り扱いについて、業界や他都市の動向を踏まえて、検討を継続。 さらに、収集した資料を幅広く活用できる方策を検討していく。				
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・公共図書館としての役割を発揮するため、総合図書館及び分館の収集方針に沿って資料収集を行った。 ・市民ニーズに応えるようリクエスト本、予約待ち人数の多い図書の複本購入等を実施。 ・総合図書館1階に大型展示棚を設置し、普段、利用者の目に触れることの少ない専門書や閉架図書を企画展示して貸出の促進に努めた。 ・電子書籍について、業界や他都市の動向を踏まえた、検討を継続。 				
令和2年度					
計画	<ul style="list-style-type: none"> ・総合図書館及び分館の収集方針に沿って資料収集を行っていくとともに、市民ニーズにも対応していく。 ・電子書籍については、他都市の事例を調査するなど、導入について検討していく。 				

内部評価（令和元年度）

限られた予算の中で、総合図書館及び分館の資料収集に努め、市民ニーズのあるリクエスト本、予約待ち人数の多い図書の複本購入等を実施した。また、大型展示棚を設置し、利用促進に努めたのでA評価とする。	A
--	---

外部評価（令和元年度）

	A : B : C : D :
--	--------------------------

令和元年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	図書館サービスの充実		
内容	レファレンス(相談)サービスの充実				
事業計画	窓口、電話、文書、電子メールによるレファレンスを実施するとともに、レファレンス情報のホームページでの提供を進めます。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	レファレンスサービスの実施				
	令和元年度				
計画	窓口、電話、文書、電子メールによるレファレンスを実施する。また、ホームページでのレファレンス事例の紹介を図る。				
取組状況	窓口、電話、文書、電子メールによるレファレンスを実施し、令和元年度の主題別部門のレファレンス件数は、36,294件(平成30年度 37,970件)、文書資料部門のレファレンス件数は4,033件(平成30年度4,915件)となった。また、ホームページにおけるパスファインダー(調べものの道案内)を利用しやすくするとともに、国立国会図書館のレファレンス協同データベースを活用して、ホームページ上で、当館のレファレンス事例を紹介できるようにした。				
令和2年度					
計画	窓口、電話、文書、電子メール等によるレファレンスを実施するとともに、ホームページの活用を進める。				

内部評価 (令和元年度)	
新型コロナウイルス影響により休館期間があったが、レファレンス件数は微減に留まった。また、パスファインダー機能の充実やレファレンス事例の紹介などホームページの活用が進んだことを踏まえ、A評価とする。	A

外部評価 (令和元年度)	
	A : B : C : D :

令和元年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	図書館サービスの充実		
内容	課題解決型支援の充実				
事業計画	ビジネスや医療、子育て支援などの課題解決に対して、関係部局及び国・県等と連携を図りながら、図書館資料を活用した展示や講演会、相談会等を行う。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	医療・ビジネス・子育て支援等の情報提供				
令和元年度					
計画	医療、ビジネス、行政などの課題解決支援として、本市関係部局や関係機関等と協力して、図書館資料を活用した情報提供や関連事業を実施する。				
取組状況	<p>○ビジネス支援として、毎月第2・第4日曜日に中小企業診断士による起業・経営相談会を開催した。年間開催数 63回(3回/日×21日) 相談15件、起業相談が約9割 相談会開催については市政だより、図書館ホームページ、館内掲示等で周知を図った。</p> <p>○医療情報の提供として、総合図書館、分館で九州がんセンター及び済生会福岡総合病院から医師等を講師として招き講演会を開催した。7月に総合図書館2階にがん情報コーナーを設置した。</p> <p>①総合図書館:H31.4.13(土):すい臓がん 76人参加(九州がんセンター) R1.11.30(土):がんゲノム医療 41人参加(九州がんセンター)</p> <p>②和白図書館:R1.6.19(水)大腸がん R1.11.13(水)肝臓がん 計66人参加</p> <p>③博多南図書館:R1.7.12(木)肺がん 計28人参加</p> <p>④中央図書館:H31.4.24(水)肝臓がん R1.10.30(水)乳がん R2.2.5(水)胃がん 計122人参加</p> <p>⑤西部図書館:R1.11.17(日)健康講座「がんに備えるお金の話」 10人参加</p> <p>○子育て支援として、関係局と連携し、11月の児童虐待防止推進月間におよこ映画上映会と企画展示を行った。</p> <p>○G20やSDGsなど、関係部局・団体と連携して展示を行い、パンフレットの配布などにより、市の事業、新たな制度、相談窓口等の情報提供を行った。</p>				
	令和2年度				
計画	新型コロナウイルスの状況や対策に配慮しながら、課題解決型の行事を実施する。				
内部評価 (令和元年度)					
新型コロナウイルスの影響で一部中止したのもあったが、起業・経営相談、がんの講演会、関係部局との連携展示などを概ね予定通り実施できたので、A評価とする。					A
外部評価 (令和元年度)					
					A : B : C : D :

令和元年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	地域読書活動への支援		
内容	団体貸出先の拡大				
事業計画	地域の読書活動の拠点である地域文庫や学校、高齢者福祉施設等への団体貸出を実施し、団体貸出サービスの充実を図ります。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	団体貸出先の拡大				
令和元年度					
計画	令和5年度目標登録団体数の420団体に向けて取り組みを進める。				
取組状況	団体貸出の登録団体は令和元年度末時点で415団体となり、平成30年度に比較して19団体増加した。また、地域文庫交流会で未登録の公民館関係者に対する広報活動を実施した。				
令和2年度					
計画	令和5年度目標登録団体数の420団体に向けて取り組みを進める。				

内部評価 (令和元年度)	
令和5年度目標420団体の登録に向け、平成30年度に比較して19団体増加の415団体を登録することができたためA評価とする。	A

外部評価 (令和元年度)	
	A : B : C : D :

令和元年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	地域読書活動への支援		
内容	地域読書活動への支援				
事業計画	地域において読書活動を行っている団体の活動状況を調査してニーズを把握するとともに、公民館や留守家庭子ども会等を訪問して、活動や環境整備への助言や支援等を行います。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
令和元年度					
計画	地域における読書ボランティアの活動の支援及び公民館における子どもの読書活動の推進に重点的に取り組むため、関係各課と連携して文庫活動の活性化や文庫間の交流促進を図る事業等を行う。				
取組状況	公民館への読書活動支援について、生涯学習課と連携して地域文庫交流会を生涯学習課主催の「公民館文庫活動実践報告・交流会」と併せて共同開催するとともに直接地域文庫(7団体)への訪問を行った。その際には活動状況やニーズの調査を行い、また団体貸出の選本来館や配本・回収時などの機会に意見要望を伺い取組みの参考とした。団体貸出における公民館の登録数は62団体であり、平成30年度と比較し1団体増加した。				
令和2年度					
計画	地域における読書ボランティアの活動の支援及び公民館における子どもの読書活動の推進に重点的に取り組むため、関係各課と連携して文庫活動の活性化や文庫間の交流促進を図る事業等を行う。				
内部評価 (令和元年度)					
公民館等の読書活動への支援について関係課と連携し、昨年に引き続き地域文庫交流会を生涯学習課と共同で開催するとともに、ニーズ調査など取り組みを進めたが、地域文庫交流会の参加者が13団体18名にとどまったことや、公民館等への具体的支援に至らなかったことから成果が不十分な面もあるためB評価とする。					B
外部評価 (令和元年度)					
					A : B : C : D :

令和元年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	市関連施設の図書室の相互協力		
内容	市関連施設の図書室の相互協力				
事業計画	引き続き、議会図書室、科学館及びふくふくプラザとの相互協力を実施するとともに、今後とも市関連施設との連携について検討していきます。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	相互協力の実施				
令和元年度					
計画	議会図書室、科学館及びふくふくプラザとの相互協力を実施するとともに、今後とも市関連施設との連携について検討していく。				
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ・議会図書室を通じて、市議会議員及び行政職員への図書資料の貸出による支援。 ・ふくふくプラザで図書資料の返却実施(福祉図書・情報室窓口での返却受付、施設入口に返却ポスト設置)。 ・福岡市科学館のサイエンスナビにおいて、図書資料の貸出・返却を実施。 				
令和2年度					
計画	引き続き、議会図書室、科学館及びふくふくプラザとの相互協力を継続していく。				
内部評価 (令和元年度)					
議会図書室、科学館、ふくふくプラザとの相互協力を行い、市関連施設との連携は良好に継続できたが、新たな展開はなかったためB評価とする。					B
外部評価 (令和元年度)					
					A : B : C : D :

令和元年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館	項目	子どもへの読書普及		
内容	モデル児童図書リストの配布				
事業計画	子どもたちやその保護者等が子どもの本を選ぶ目安として、各年齢層に応じた本を紹介したリストを配布し、子どもの読書推進に寄与します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	作成・配布				
令和元年度					
計画	モデル児童図書リストを作成し、関係機関(保育園, 小学校, 公民館等)へ配付するとともに、掲載図書を展示し貸出を促進する。 また、おはなし会等の催しにおいて掲載図書を紹介し、リストの活用や貸出を促す。				
取組状況	モデル児童図書リストの配付(約4,700部)、おはなし会等での掲載図書の紹介を行い、カウンターでのレファレンスのツールとしても有効に活用した。また、従来のモデル児童図書目録掲載図書及びリスト掲載図書の展示、貸出を行った。				
令和2年度					
計画	モデル児童図書リストを作成し、関係機関(保育園, 小学校, 公民館等)へ配付するとともに、掲載図書を展示し貸出を促進する。				

内部評価 (令和元年度)	
モデル児童図書リストの配付, モデル児童図書の展示, 紹介等を計画通り行い, 掲載図書の貸出を促進することができたためA評価とする。	A

外部評価 (令和元年度)	
	A : B : C : D :

令和元年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館	項目	子どもへの読書普及		
内容	子どもの貸出カード作成推進				
事業計画	図書館の貸出カードを所有していない児童を対象として、貸出カードの作成を推進することにより、読書の普及等を図ります。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	検討, 協議	実施			
令和元年度					
計画	小学生の図書館見学や「小学生読書リーダー養成講座」などの研修・イベントの際に貸出カードの作成を促す取り組みを継続する。				
取組状況	総合図書館の指定管理者が行う小学生の図書館見学の際に貸出カード作成の呼びかけを依頼した。また、主催事業である「小学生読書リーダー養成講座」においても貸出カードの作成を促した。				
令和2年度					
計画	開催可能な図書館催事や講座, 団体貸出し等の機会を捉え, 図書館の貸出しカードの作成を促す声かけに努める。				
内部評価 (令和元年度)					
機会を捉えて貸出カードの作成を促したが, 2事業にとどまり具体的成果も不明のため, C評価とする。					C
外部評価 (令和元年度)					
					A : B : C : D :

令和元年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館	項目	子どもへの読書普及	
内容	ヤングアダルト層(12歳～18歳)への働きかけの強化			
事業計画	広報やイベントを充実させるとともに、中高生に訴求する資料収集を進めます。			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
令和元年度				
計画	ヤングアダルト向けに図書の紹介を行うことに加え、ヤングアダルト層を対象とするイベントを実施する。また、市立高等学校を対象に、総合図書館の一般書架の図書資料を調べ学習用に貸出する制度を継続する。			
取組状況	<p>推薦図書の展示やリスト配布に加え、ビブリオバトルやTRPG、ボードゲーム、高校生を対象とした国連講演会・ワークショップなどヤングアダルト層の読書活動の促進に資するイベントを実施した。</p> <p>また、市立高等学校を対象に、総合図書館の一般書架の図書資料を調べ学習用に貸出する制度を実施した。(3高等学校 227冊貸出:3月末現在)</p> <p>イベント回数 4回 参加人数 75人</p>			
令和2年度				
計画	引き続きヤングアダルト向けに図書の紹介を行うことに加え、ヤングアダルト層を対象とするイベントを実施する。また、市立高等学校を対象に、総合図書館の一般書架の図書資料を調べ学習用に貸出する制度を継続する。			
内部評価 (令和元年度)				
令和2年2月になって新型コロナウイルスのため中止したイベントもあったが、ビブリオバトルなど、新しくヤングアダルト層の読書活動の促進につながるイベントを展開し、今後の拡大が期待できるものとなったためA評価とする。				A
外部評価 (令和元年度)				
				A : B : C : D :

令和元年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館	項目	子どもへの読書普及	
内容	読書活動ボランティア講座の強化			
事業計画	読書活動ボランティア講座を開催し、学校や地域等幅広いボランティアを養成して、地域の読書活動の推進に寄与します。			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	読み聞かせ講座の実施			
	ストーリーテリング講座・おさらい会の実施			
令和元年度				
計画	令和元年5月～6月に絵本の読み聞かせコースを、9月～11月にストーリーテリングコースをそれぞれ実施する。また、令和2年2月に反復練習のためのおさらい会を実施する。講座受講者には、受講後に地域文庫MAPを配布し、地域での活動参加につなげる。			
取組状況	令和元年5月～6月に絵本の読み聞かせコース(4日間、定員100名)を実施し、また、9月～11月にストーリーテリングコース(4日間、定員40名)を実施し、併せて延べ481名の参加があった。講座受講者には、福岡市内で活動している文庫団体の活動拠点を掲載した地域文庫MAPを配布し情報提供を行った。また、昨年に引き続き令和2年2月にストーリーテリングコースのおさらい会(1日間、参加予定29名)を実施する予定とされていたが、新型コロナウイルス感染防止のため中止した。			
令和2年度				
計画	令和2年5月～6月に絵本の読み聞かせコース、9月～11月にストーリーテリングコースを実施することとしていたが、新型コロナウイルス感染防止のため計画を変更し、9月～10月に絵本の読み聞かせコースのみを実施する。講座受講者には、受講後に地域文庫MAPを配布し、地域での活動参加につなげる。			
内部評価 (令和元年度)				
新型コロナウイルス感染防止のため「おさらい会(反復練習)」を中止したが、主要講座及び地域文庫MAPの配布は計画通り実施したためA評価とする。				A
外部評価 (令和元年度)				
				A : B : C : D :

令和元年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館	項目	学校図書館への支援		
内容	学校図書館支援センターの充実				
事業計画	前期での成果を踏まえ、総合図書館内に設置した学校図書館支援センターにおいて、市立小・中・特別支援学校の学校図書館への人的・物的支援を行い、学校司書の活動をサポートします。 <ul style="list-style-type: none"> ・学校図書館への運営等に関する指導、助言 ・学校図書館の図書への選書や助言 ・学習支援用図書の貸出、学校司書への支援 				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	公共図書館司書の専門性を生かした学校図書館への支援				
	学習支援図書の貸出				
	学校図書館の活用・運営に係る情報収集と提供				
令和元年度					
計画	前期までの成果を踏まえ、より学校現場の需要にマッチした支援が行えるよう努める。また「小学生読書リーダー養成講座」については、昨年度同様に3日間の開催とする。				
取組状況	令和元年度は、相談対応200件、訪問101回を実施した。学習支援用図書の貸出は、小学校用は81校から198回の利用があり、7,177冊を貸し出すとともに、学習指導要領の改定に沿って蔵書整備を行った。中学校用は9校から10回の利用があり、311冊の貸し出しを行った。 また、市内小学校5・6年生を対象に、受講した児童を「小学生読書リーダー」に認定する「小学生読書リーダー養成講座」については、6月から7月に3日間開催し、65校から222名の参加があった。 特別支援学校への支援は、高等部の卒業生を対象に図書館利用案内を作成し、配付した。				
令和2年度					
計画	学校の新型コロナウイルス感染防止策の状況も踏まえ、より学校現場の意向、要望に沿った支援に努める。また「小学生読書リーダー養成講座」については、図書館での実施は困難であるが、講座の目的を損なわない範囲での実施を検討する。中学校用の学習支援用図書について学習指導要領の改定に沿った蔵書整備を進める。 読書に困難がある児童・生徒のため、マルチメディアDAISY等の貸出資料を整備し、貸出を行う。				
内部評価 (令和元年度)					
前年度に対し、相談件数は64件の増加、学校訪問は51回の増加、学習支援用図書の貸出は、中学校用は貸出の回数及び冊数は減少したものの登録校数は3校増加、小学校用は回数が50回、冊数が1,536冊、登録校数が5校それぞれ増加し、事業の認知と活用が進んでいるためA評価とする。					A
外部評価 (令和元年度)					
					A : B : C : D :

令和元年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	総合図書館の特色を生かした図書館	項目	映像資料部門の充実		
内容	図書館外施設での映像資料上映事業				
事業計画	収集した映像資料についてさまざまな手法を用いて市民等に提供することで、効果的な図書館の映画保存事業のアピールを行います。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	手法検討	上映事業の実施			
令和元年度					
計画	事業名称:「アジア映画上映会」 開催日時: 令和2年2月29日(土)13時30分 会場: 高取公民館 1階講堂				
取組状況	予定していた高取公民館での「アジア映画上映会」は、新型コロナウイルス感染拡大防止の取組みが広がる中で、2月21日からの映像ホール・シネラでの上映中止に続いて、開催延期(再開時期未定)となった。ただし、高取公民館の講堂の視察や必要な機材の確認、運営のやり方など、令和3年度から定期的に行う事業としてのノウハウの蓄積は行なえた。				
令和2年度					
計画	市民局公民館支援課とも協議の上、効果的な公民館への告知方法等を検討。同時に新型コロナウイルス対策を検討しながら、昨年度延期となった高取公民館での開催を含めて2か所の公民館上映を予定する。				
内部評価 (令和元年度)					
従来、総合図書館外での上映は、収集しているアジア映画の有効化を図るとともに、映像文化の普及・振興・市民サービスの促進のため実施してきた。 これまでは市民センターのホールを利用してきたが、ホールが大きすぎる事、事業予算がかかりすぎる事などがあり、新たな手法を検討、公民館等における無料上映とすることで市民により身近なアジア映画上映会を開催することとした。 令和元年度は公民館における最初のアジア映画上映のテストケースとして実施するため、上映作品や機材の準備を行い、記者投げ込み等による広報活動も行なっていた。 最終的には、新型コロナウイルス感染拡大防止の中で公民館自体も利用が出来なくなり、上映の機会を逸したが、公民館上映のノウハウ等の検討は出来たので、B評価とする。					B
外部評価 (令和元年度)					
					A : B : C : D :

令和元年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	総合図書館の特色を生かした図書館	項目	映像資料部門の充実		
内容	資料展示事業				
事業計画	展示事業をシネラの広報に限定せず、アジア映画のポスター展を中心に多様な展示を計画し、映像文化の普及・振興、市民サービスの促進を行います。場所はビデオライブラリーを使った展示空間の新設を検討します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	多様な資料の展示				
	展示エリアの検討		展示エリアの整備		
令和元年度					
計画	映像ホールでの「レスター・ジェームス・ピール監督のスリランカ映画」(4月3日(火)～4月21日(日))に併せて1階ショーケースで「スリランカ映画ポスター集」(4月3日(火)～4月21日(日))を開催。しかしショーケースは安全性の問題などで問題があり以後はシネラ前で上映企画に併せてポスター1点を展示する。 他の試みとして、特別上映において、映像ホール・シネラ内での効果的な広報・展示や、ホール外での大型幕展示など、新たな手段を模索する。				
取組状況	4月に予定通り「スリランカポスター展」を実施。またシネラ受付前で上映企画に併せてポスター展示を行う。その他映像ホールで開催した「スタンスカンパニーの軌跡」(1月22日(水)～1月26日(日))において、映像ホール・シネラ内にアクリルケース等を設置して、スタンスカンパニーに関する書籍、パンフレット、ポスター、DVDの外装等を、デコレートして展示した。				
令和2年度					
計画	新型コロナウイルスのため、映像ホールでの映画上映が6月17日から開催となった。年間の上映企画の再検討が必要であるため、映像ホール前での上映企画にかかわるポスター展示を継続しながら、新たに使用されるようになるショーケースの活用及び新たな展示エリアの検討を行う。				
内部評価 (令和元年度)					
「スリランカ映画ポスター集」では日本にない貴重なオリジナルのポスターを展示。その他予定通りに展示を実施。観客の注目を浴びた。特に「スタンスカンパニーの軌跡」特集における映像ホール内の展示は、情報量も密であり、かつ芸術性も高いと極めて好評で、記念として撮影したいとの申し出が多数あった。施設のスペックに沿った従来からの展示方法ではない、新たな取り組みは今後の事業展開に好材料になったと思われる。よってA評価とする。 なお「展示エリアの検討」は図書館の大規模改修に伴い行うことになった。					A
外部評価 (令和元年度)					
					A : B : C : D :

令和元年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	総合図書館の特色を生かした図書館	項目	文書資料部門の充実		
内容	文書資料のデジタルデータ化・情報提供の充実				
事業計画	文書資料(歴史的公文書・行政資料・古文書資料・郷土資料)のデジタルデータ化・活用を進めるとともに、文学情報提供システムを拡張することにより、文書資料の情報提供システムを構築し、文書資料への理解と利用の促進を図ります。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	デジタルデータ化・活用の推進				
	デジタルデータの作成・蓄積, ホームページ掲載・展示・市民提供等				
	文書資料情報提供システムの構築(文学情報提供システムの拡張)				
	検討	システムの拡張・情報提供			
令和元年度					
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○引き続き、デジタルデータ掲載に向けたホームページの改修について館内で協議を行いながら作業を実施する。 ○歴史的公文書に係る展示をデジタルデータ化した資料を活用して定期的に行い、公文書館活動について普及啓発を図る。 				
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○デジタルデータ掲載に向けたホームページの改修について協議・検討を実施したが、提供できるコンテンツが少ないこともあり、あまり進展しなかった。 ○「懐かしの平和台野球場」をテーマに歴史的公文書の展示を行い、一部資料をデジタルデータ化して展示(PCで閲覧等)するとともに、展示概要のしおりをホームページで公開した。(入場者数計4,876人) 				
令和2年度					
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○引き続き、デジタルデータ掲載によるホームページのコンテンツ充実を図る。 ○歴史的公文書に係る展示をデジタルデータ化した資料を活用して定期的に行い、公文書館活動について普及啓発を図る。 				
内部評価 (令和元年度)					
<ul style="list-style-type: none"> ○歴史的公文書展示の入場者は増加している。デジタルデータ化した資料の展示により、内容充実及び理解促進が図られ、当館の公文書機能についてアピールできた。 ○デジタルデータ掲載に向けたホームページの改修についての協議・検討については、あまり進展しなかった。 <p>以上のことから、B評価とする。</p>					B
外部評価 (令和元年度)					
					A : B : C : D :

令和元年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	総合図書館の特色を生かした図書館	項目	文書資料部門の充実	
内容	文学館の利用拡大			
事業計画	市民に認知され、利用しやすい文学館となるよう、事業の充実及び情報提供の強化による利用拡大を図ります。また、インターネットによる福岡ゆかりの文学情報提供システムを新たに構築します。			
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	総合図書館HP等での情報提供の充実			
	企画展、常設展、文学講座等の情報提供の充実			
	企画展の開催、広報強化			
	企画展開催・報道機関等による広報強化			
福岡ゆかりの文学情報提供システムの構築				
構築				
情報提供				
令和元年度				
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○文学館事業として以下の事業を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・企画展 11月～12月 テーマ「久保猪之吉とより江」、会場：総合図書館ギャラリー ・企画展開催期間以外は、常設展示を開設 ・赤煉瓦夜話、読書講座等の文学講座、企画展関連講演会 ○引き続き「福岡ミュージアムウィーク」に参加し、文学館の認知度アップを図る。 			
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○文学館事業として以下の事業を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・企画展「草紅葉－久保猪之吉とより江」R元.11.8(金)～12.15(日) 入場者数3,269人 ・ギャラリー常設展「文芸雑誌の歩みー1950年まで」 ・ももちはま草紙(赤煉瓦夜話から改題)、企画展関連講演会、共催事業の文学講座 12回 延べ参加者数439人 ・文学館ホームページにて文学情報提供システムデータベースを構築し、4,275件の提供を開始した。 ○「福岡ミュージアムウィーク」に参加して、期間中に定例文学講座を開催し文学館の認知度アップを図った。参加者数96人 			
令和2年度				
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○文学館事業として以下の事業を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症の影響により、企画展は令和2年度は開催せず、令和3年度に「夏樹静子の書斎」をテーマに開催する事とし、そのための図録作成等準備を実施。 ・また、常設展示は企画展を開催しない分、展示替えを実施して開設 ・引き続き文学情報提供システムデータベースの拡充を図る。 ・「福岡ミュージアムウィーク」は令和2年度は中止だが、ももちはま草紙、読書講座等の文学講座など、新型コロナウイルス感染予防を徹底しながら文学館の認知度アップを図る。 			
内部評価 (令和元年度)				
<ul style="list-style-type: none"> ○「福岡ミュージアムウィーク」に参加し、認知度アップを図ることができた。 ○企画展入場者数、文学講座等参加者は昨年度より増加したが、図録販売数は昨年度より減少した。(H30:764人, 260人, 311冊→R元:3,269人, 439人, 273冊) ○企画展について、新聞社に働きかけを行い2社の紹介記事が掲載された。また、CATV放送に展示担当者が出演し、企画展の紹介を実施した。 ○文学情報提供システムデータベースを構築し4,275件の提供を開始したが、著作権上の取り扱いで公開に至らないものがあるなど、一部内容が不十分だった。 <p>以上のことからB評価とする。</p>			B	
外部評価 (令和元年度)				
			A : B : C : D :	

令和元年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項目	図書館運営の強化		
内容	運営方法の検討				
事業計画	現在指定管理制度を導入している総合図書館および東図書館の成果を検証し、図書館の運営方法を検討します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	モニタリング 実施・検証	公募 選定	総合(建物管理のみ)、東(運営)		
	運営方法 検討・決定	開館準備		早良南(仮称)	
令和元年度					
計画	現在指定管理制度を導入している総合図書館及び東図書館の成果を検証し、令和3年11月に開館予定の早良南図書館の運営方法を検討する。				
取組状況	総合図書館及び東図書館の令和元年度までのモニタリング結果等をもとに検証を行い、総合図書館(施設管理)及び東図書館の指定管理者者による管理を継続することとしたほか、早良南図書館については指定管理者制度を導入することを決定した。				
令和2年度					
計画	運営方法として決定した指定管理者による管理に向け、必要な手続きを進める。				
内部評価 (令和元年度)					
計画どおり検証を行い、運営方法を検討したため、A評価とする。					A
外部評価 (令和元年度)					
					A : B : C : D :

令和元年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項目	図書館運営の強化		
内容	図書館ボランティアとの共働の推進				
事業計画	図書館サービスの充実と市民活動の場の提供を図るため図書館ボランティアとの共働を推進します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	活動内容の追加・実施				
令和元年度					
計画	新規ボランティアの受け入れを継続して行い、図書館ボランティアとの共働を図る。				
取組状況	20人の新規受け入れを行い、合計66人のボランティアと共働で書架整理や図書資料の修繕等を行った。				
令和2年度					
計画	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、新規ボランティアの受け入れは困難であり、現在登録しているボランティアを継続して受け入れ、図書館ボランティアとの共働を図る。				
内部評価（令和元年度）					
ボランティアと共働で書架整理や図書資料の修繕等を行うとともに、図書館イベント等の情報提供を行い、ボランティアの積極的な参加を図るなど、予定どおり実施しているためA評価とする。					A
外部評価（令和元年度）					
					A : B : C : D :

令和元年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項目	図書館運営の強化		
内容	職員の育成及び技術向上				
事業計画	利用者が心地よいと感じる図書館となるよう、図書館職員の接遇研修等を強化します。また、図書館職員として専門知識や技術の向上を目指し、各種研修を実施し、研修成果の情報共有を図ることで、図書館サービスの向上と充実を図ります。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	研修等の強化(分館での研修の充実)				
令和元年度					
計画	<p>全体研修については、利用者サービスの向上を目的に、福岡市職員、図書館職員としての資質を高める研修を、年間を通して計画的に実施していく。</p> <p>専門研修については、研究集会や県立図書館の研修等へ職員を派遣するとともに、高齢者問題や子育て等の市民生活に密着したテーマに関する研修を引き続き実施する。また、レファレンスや資料保存、著作権等に関する国立国会図書館のインターネットによる遠隔研修の受講を奨励し、各分館を含めた職員の専門知識習得に努める。</p>				
取組状況	<p>全体研修については、認知症サポーター養成講座や著作権講座等の職員の資質を高める研修の実施や、避難訓練等の防災研修など6回実施した。</p> <p>専門研修については、研究集会や県立図書館の研修等へ職員を派遣(延47人)した。</p> <p>また、著作権や資料保存等に関する国立国会図書館のインターネットによる遠隔研修を取り入れ、各分館を含めた職員の専門知識習得を奨励した。</p>				
令和2年度					
計画	<p>今年度は職員が一同に集まるの全体研修を制限し、必要最小人数での福岡市職員、図書館職員としての資質を高める研修を、年間を通して計画的に実施していく。</p> <p>専門研修については、外部研修の実施は可能性が低く、派遣も見合わせる必要があるため、レファレンスや資料保存、著作権等に関する国立国会図書館のインターネットによる遠隔研修の受講を主に奨励し、各分館を含めた職員の専門知識習得に努める。</p>				
内部評価 (令和元年度)					
予定どおり実施しているためA評価とする。					A
外部評価 (令和元年度)					
					A : B : C : D :

令和元年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項目	図書館運営の強化		
内容	施設の有効活用などによる財源確保				
事業計画	駐車場収入による財源確保に努めるとともに、寄付金収入等の増額方法について検討します。 また、デジタルサイネージや施設広告、施設の目的外利用等について、新たな収入確保を検討します。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	駐車場収入による財源確保				
	新たな他財源の検討	その他財源の確保			
令和元年度					
計画	駐車場の適切な運営や寄付金制度のPRに努めていくとともに、新たな財源確保を検討する。				
取組状況	総合図書館駐車場を図書館利用者以外にも有料開放し、駐車場の誘導警備員を増員し渋滞緩和による効率的な活用を図るなど年間で約600万円の収入を確保するとともに、「ふくおか応援寄付」制度についてホームページや図書館本館、分館でのポスター掲示やパンフレットの配布等によりPRを行い、図書購入のための寄付金18万7千円をいただいた。				
令和2年度					
計画	駐車場の適切な運営や寄付金制度のPRに努めていくとともに、その他財源確保における手法等について、検討を行う。				
内部評価（令和元年度）					
財源確保につながる取り組みを進め、渋滞緩和対策など適切な運営を行った結果、前年度と比べ駐車場収入は約100万円増、寄付金は約4万円増となったが、新たな他財源の検討については、着手するも引き続き検討が必要なため、B評価とする。					B
外部評価（令和元年度）					
					A : B : C : D :

令和元年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項目	情報発信の推進		
内容	情報発信の推進				
事業計画	引き続き、インターネット等を活用した情報発信に努めるとともに、新聞やミニコミ誌などのメディアへの働きかけを進めます。				
	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
	検討	実施			
令和元年度					
計画	ホームページやSNS、新聞等の媒体を通して、効率的で効果的な情報発信を行う。				
取組状況	図書館の開館情報やイベント情報をホームページやSNSを通して周知した。また、市報道部門を通し、又は直接資料提供等を行い、新聞やフリーペーパー等に掲載依頼するなど情報発信に努めた(市報道部門を通した新聞・報道機関への資料提供数20件(これに対し報道又は掲載件数45件))。 媒体ごとの登録者増加率(前年度比)は、フェイスブック35%増(191件→258件)、ツイッター93%増(429件→828件)、メルマガ38%増(344件→476件)、LINE15%増(2,837件→3,263件)となっている。				
令和2年度					
計画	引き続き、ホームページやSNS、新聞等の媒体を通して、効率的で効果的な情報発信を行う。				
内部評価 (令和元年度)					
計画通り実施し、各媒体を通して情報発信を行い、また登録者数も増加しているため、A評価とする。					A
外部評価 (令和元年度)					
					A : B : C : D :

令和元年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(総括)

福岡市総合図書館新ビジョン基本理念	
市民がくつろぎ、本や人と楽しくふれあえる新たな学び・情報・交流の拠点となる図書館	
利用者の高度化・多様化するニーズに対応できる資料・情報を提供する生涯学習施設として、また、内部空間だけでなく外部空間も含めて、快適な空間を最大限に活用することにより、これまで図書館を利用したことのない人なども集う場を創出し、多くの市民がくつろぎ、楽しさを共有できる新たな情報・交流の拠点となる図書館を目指します。	

成果指標					
成果指標	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末
図書館利用者における 図書館サービスの満足度 【令和5年度:90%】	84.2%	85.9% (+1.7)	87.2% (+1.3)	88.9% (+1.7)	—
※図書館サービスに関する調査3項目の満足度のうち、最も低い値を成果とした					
※()は前年度からの増減					
※令和元年度は利用者アンケート調査(例年、翌年度5月実施)を実施せず。					

目標数値					
目標数値	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
①入館者数 【令和5年度:3,500千人】	—	—	—	—	2,627,641人
②個人貸出冊数 【令和5年度:4,800千冊】	4,311,916冊	4,274,103冊 [-37,813 -0.9%]	4,167,046冊 [-107,057 -2.5%]	4,108,973冊 [-58,073 -1.4%]	3,958,372冊 [-150,601 -3.7%]
③貸出利用者数 【令和5年度:1,400千人】	1,217,508人	1,233,797人 [+16,289 +1.3%]	1,211,296人 [-22,501 -1.8%]	1,214,402人 [+3,106 +0.3%]	1,178,884人 [-35,518 -2.9%]
④新規登録者数 【令和5年度:30千人】	25,337人	33,846人 [+8,509 +33.6%]	26,207人 [-7,639 -22.6%]	24,712人 [-1,495 -5.7%]	22,528人 [-2,184 -8.8%]
※入館者数については、平成30年度に装置の不具合が判明したため過去の数値も非表示。					
※[]は前年度からの増減。					

内部評価	事業別評価	
<評価> 成果指標である「図書館サービスの満足度」は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和元年度の満足度は調査できなかった。また、目標数値については、全項目前年度からマイナスとなっており、図書館利用者等の増加に至っていない状況である。 事業別評価では、25事業のうち24事業がほぼ計画通りに進捗しているとなっており、前年度より評価が伸びている。 <対応> 令和元年度は、新ビジョン後期5年間の事業計画の初年度であるため、今後とも目指す図書館像の実現に向けて必要な取り組みに努めていく。	A評価	16事業
	B評価	8事業
	C評価	1事業
	D評価	—

外 部 評 価

外部評価									

事 業 別 評 価

委員①		委員②		委員③		委員④		委員⑤	
A評価									
B評価		B評価		B評価		B評価		B評価	
C評価		C評価		C評価		C評価		C評価	
D評価		D評価		D評価		D評価		D評価	

<評価の基準>

福岡市総合図書館新ビジョン事業計画の取組状況については、下記の基準により評価を行っている。

判 定	評 価 内 容
A	計画どおり取り組み、内容も十分である。
B	ほぼ計画どおり取り組んでいるが、少し不十分な点がある。
C	計画どおりには取り組んでおらず、不十分である。
D	取り組んでいない。

福岡市総合図書館利用者アンケート調査
～報告書～

令和元年5月

福岡市

目次

I. 調査の概要	1
II. 調査結果	2
III. 時系列比較	4
①来館状況	4
②窓口サービス（あいさつ、接遇など）	5
③図書館利用サービス（貸出冊数、貸出期間など）	6
④開館時間及び休館日	7
⑤総合	8
IV. 調査票	9

I. 調査の概要

1. 委託件名：福岡市総合図書館利用者アンケート調査業務委託
2. 調査目的：福岡市内の公立図書館を利用する中学生以上に対し、利用頻度や利用満足度を確認し、今後の図書館のあり方を検討するための基礎資料とする。
3. 調査対象：中学生以上の男女個人（※但し、図書館利用後の方を対象）
4. 調査方法：対象者による「自記入式」（※但し、記入が困難な人は「面接」でも可）
5. 調査場所、実施日時、調査件数

No	図書館名	調査日時	調査件数
1	総合図書館	5/12（日） 10:00～16:00	500件
2	東図書館	5/ 8（水） 10:00～16:00	100件
3	和白図書館	5/11（土） 10:00～16:10	100件
4	博多図書館	5/11（土） 10:00～16:30	100件
5	博多南図書館	5/11（土） 10:00～15:30	100件
6	中央図書館	5/11（土） 10:00～16:00	100件
7	南図書館	5/ 9（木） 10:00～15:00	100件
8	城南図書館	5/ 9（木） 10:00～16:00	100件
9	早良図書館	5/ 9（木） 10:00～15:30	100件
10	西図書館	5/11（土） 10:00～14:30	100件
11	西部図書館	5/ 9（木） 10:00～14:00	100件
計			1,500件

6. 集計作業上の処理：
 - ・「①福岡市の図書館の利用頻度」が「初めて」と回答した方は「年に1回程度」として集計。
 - ・②～⑤の質問で選択肢と選択肢の間に○を記入された方は、マイナス評価のカテゴリーで集計。
7. 調査結果の留意事項：各数値は小数点第2位を四捨五入している関係上、合計が100.0%にならない場合がある。

II. 調査結果

1. 来館状況

	年に1回程度		年に数回程度		月に1～2回程度		週に1～2回程度		ほぼ毎日		計 (人)
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	
総合	50	10.0	97	19.4	225	45.0	114	22.8	14	2.8	500
東	1	1.0	7	7.0	51	51.0	33	33.0	8	8.0	100
和白	3	3.0	17	17.0	50	50.0	29	29.0	1	1.0	100
博多	3	3.0	14	14.0	52	52.0	27	27.0	4	4.0	100
博多南	4	4.0	14	14.0	53	53.0	22	22.0	7	7.0	100
中央	1	1.0	18	18.0	49	49.0	28	28.0	4	4.0	100
南	2	2.0	8	8.0	52	52.0	33	33.0	5	5.0	100
城南	1	1.0	7	7.0	75	75.0	13	13.0	4	4.0	100
早良	0	-	4	4.0	50	50.0	42	42.0	4	4.0	100
西	0	-	8	8.0	49	49.0	36	36.0	7	7.0	100
西部	2	2.0	12	12.0	64	64.0	19	19.0	3	3.0	100
全体	67	4.5	206	13.7	770	51.3	396	26.4	61	4.1	1,500

2. 窓口サービス(あいさつ、接客など)についての評価

	大いに満足		満足		不満		極めて不満		計 (人)	満足度 (%)
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)		
総合	139	27.8	354	70.8	6	1.2	1	0.2	500	98.6
東	28	28.0	71	71.0	1	1.0	-	-	100	99.0
和白	32	32.0	67	67.0	1	1.0	-	-	100	99.0
博多	24	24.0	75	75.0	1	1.0	-	-	100	99.0
博多南	21	21.0	78	78.0	1	1.0	-	-	100	99.0
中央	38	38.0	62	62.0	-	-	-	-	100	100.0
南	28	28.0	70	70.0	2	2.0	-	-	100	98.0
城南	21	21.0	78	78.0	1	1.0	-	-	100	99.0
早良	32	32.0	66	66.0	2	2.0	-	-	100	98.0
西	20	20.0	75	75.0	5	5.0	-	-	100	95.0
西部	22	22.0	78	78.0	-	-	-	-	100	100.0
全体	405	27.0	1,074	71.6	20	1.3	1	0.1	1,500	98.6

3. 図書館利用サービス(貸出冊数、貸出期間など)についての評価

	大いに満足		満足		不満		極めて不満		計 (人)	満足度 (%)
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)		
総合	151	30.2	324	64.8	24	4.8	1	0.2	500	95.0
東	25	25.0	70	70.0	4	4.0	1	1.0	100	95.0
和白	24	24.0	73	73.0	3	3.0	-	-	100	97.0
博多	25	25.0	68	68.0	7	7.0	-	-	100	93.0
博多南	16	16.0	82	82.0	2	2.0	-	-	100	98.0
中央	26	26.0	65	65.0	9	9.0	-	-	100	91.0
南	23	23.0	68	68.0	9	9.0	-	-	100	91.0
城南	17	17.0	77	77.0	6	6.0	-	-	100	94.0
早良	22	22.0	71	71.0	7	7.0	-	-	100	93.0
西	18	18.0	77	77.0	4	4.0	1	1.0	100	95.0
西部	20	20.0	72	72.0	8	8.0	-	-	100	92.0
全体	367	24.5	1,047	69.8	83	5.5	3	0.2	1,500	94.3

4. 開館時間および休館日についての評価

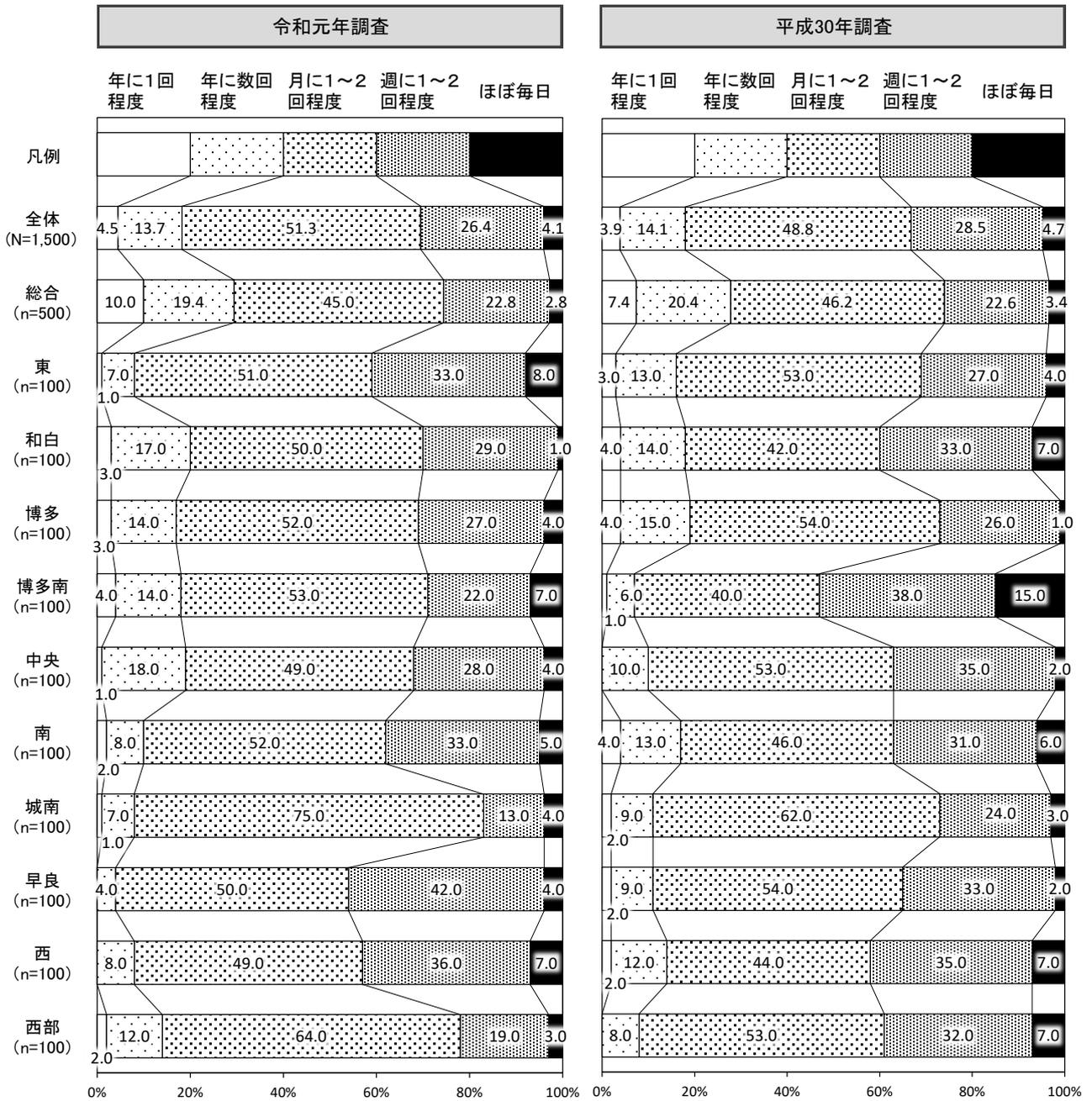
	大いに満足		満足		不満		極めて不満		計	満足度
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
総合	94	18.8	354	70.8	47	9.4	5	1.0	500	89.6
東	34	34.0	62	62.0	4	4.0	-	-	100	96.0
和白	18	18.0	77	77.0	5	5.0	-	-	100	95.0
博多	15	15.0	73	73.0	12	12.0	-	-	100	88.0
博多南	9	9.0	82	82.0	8	8.0	1	1.0	100	91.0
中央	20	20.0	60	60.0	19	19.0	1	1.0	100	80.0
南	12	12.0	81	81.0	6	6.0	1	1.0	100	93.0
城南	7	7.0	83	83.0	8	8.0	2	2.0	100	90.0
早良	17	17.0	68	68.0	14	14.0	1	1.0	100	85.0
西	8	8.0	75	75.0	13	13.0	4	4.0	100	83.0
西部	12	12.0	73	73.0	15	15.0	-	-	100	85.0
全体	246	16.4	1,088	72.5	151	10.1	15	1.0	1,500	88.9

5. 総合的な評価

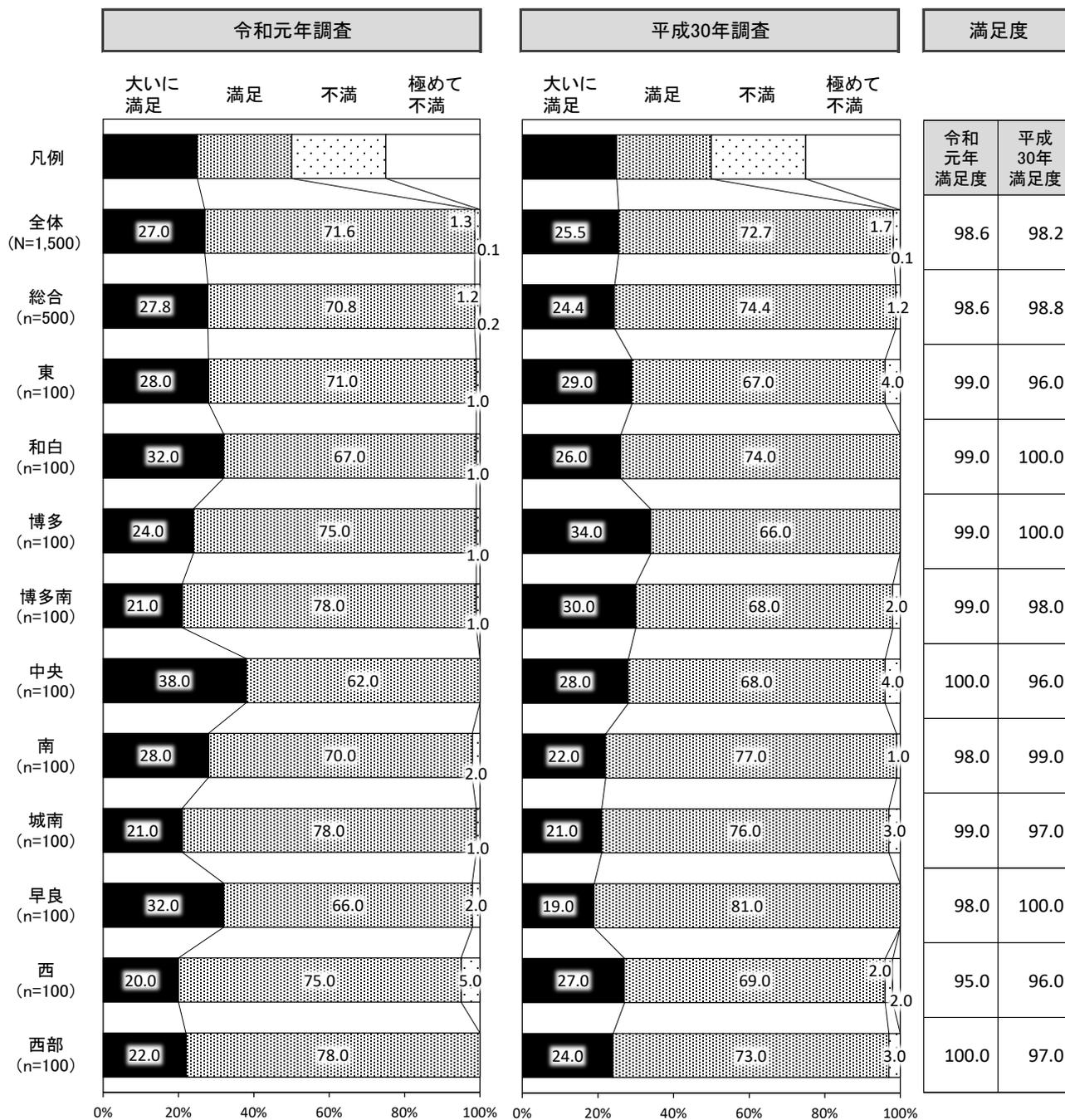
	大いに満足		満足		不満		極めて不満		計	満足度
	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)	(人)	(%)
総合	157	31.4	331	66.2	10	2.0	2	0.4	500	97.6
東	27	27.0	67	67.0	5	5.0	1	1.0	100	94.0
和白	28	28.0	71	71.0	1	1.0	-	-	100	99.0
博多	26	26.0	73	73.0	1	1.0	-	-	100	99.0
博多南	15	15.0	84	84.0	1	1.0	-	-	100	99.0
中央	24	24.0	71	71.0	5	5.0	-	-	100	95.0
南	20	20.0	78	78.0	2	2.0	-	-	100	98.0
城南	14	14.0	82	82.0	4	4.0	-	-	100	96.0
早良	23	23.0	72	72.0	5	5.0	-	-	100	95.0
西	19	19.0	75	75.0	5	5.0	1	1.0	100	94.0
西部	17	17.0	80	80.0	3	3.0	-	-	100	97.0
全体	370	24.7	1,084	72.3	42	2.8	4	0.3	1,500	96.9

Ⅲ. 時系列比較

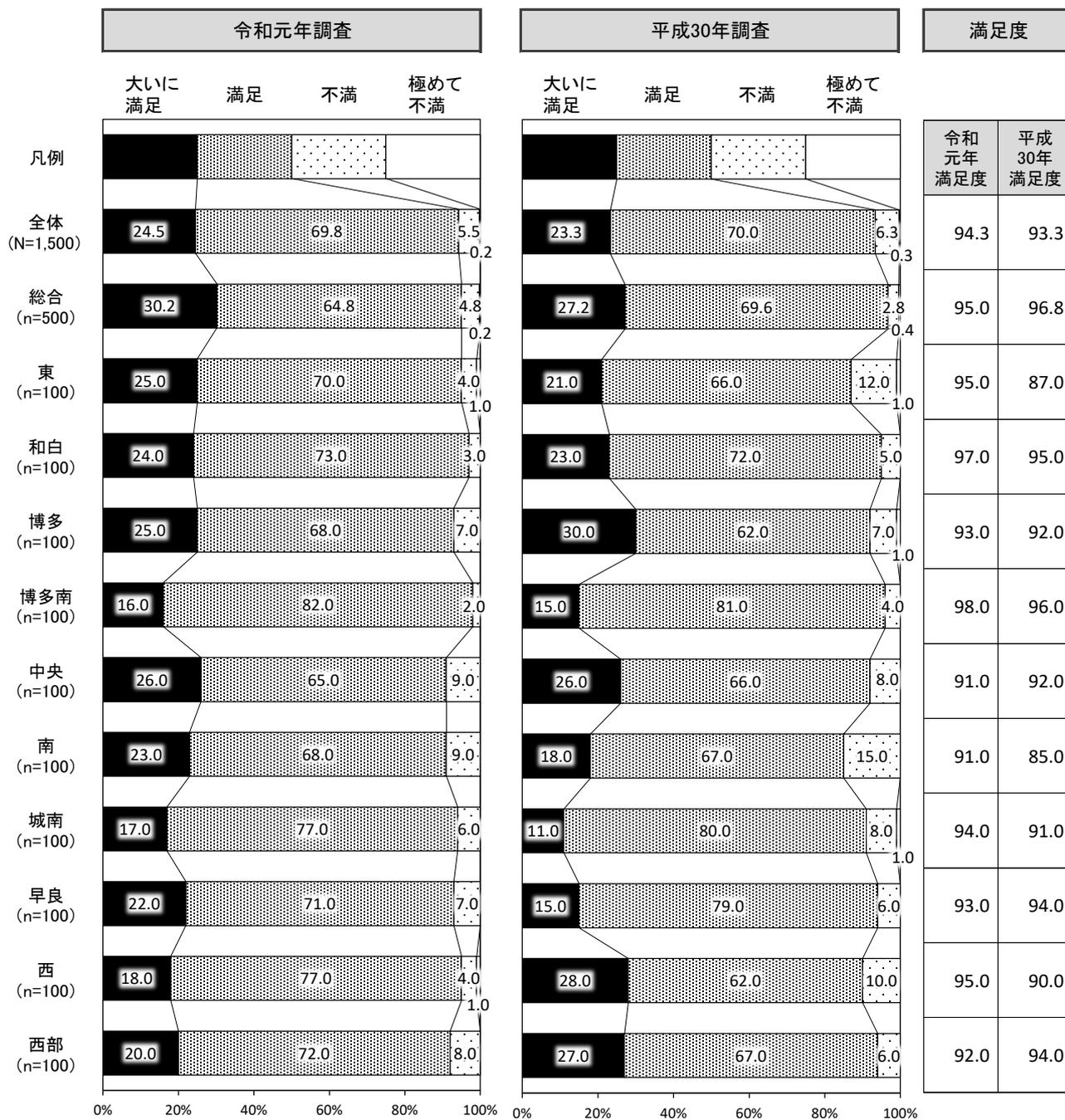
①来館状況



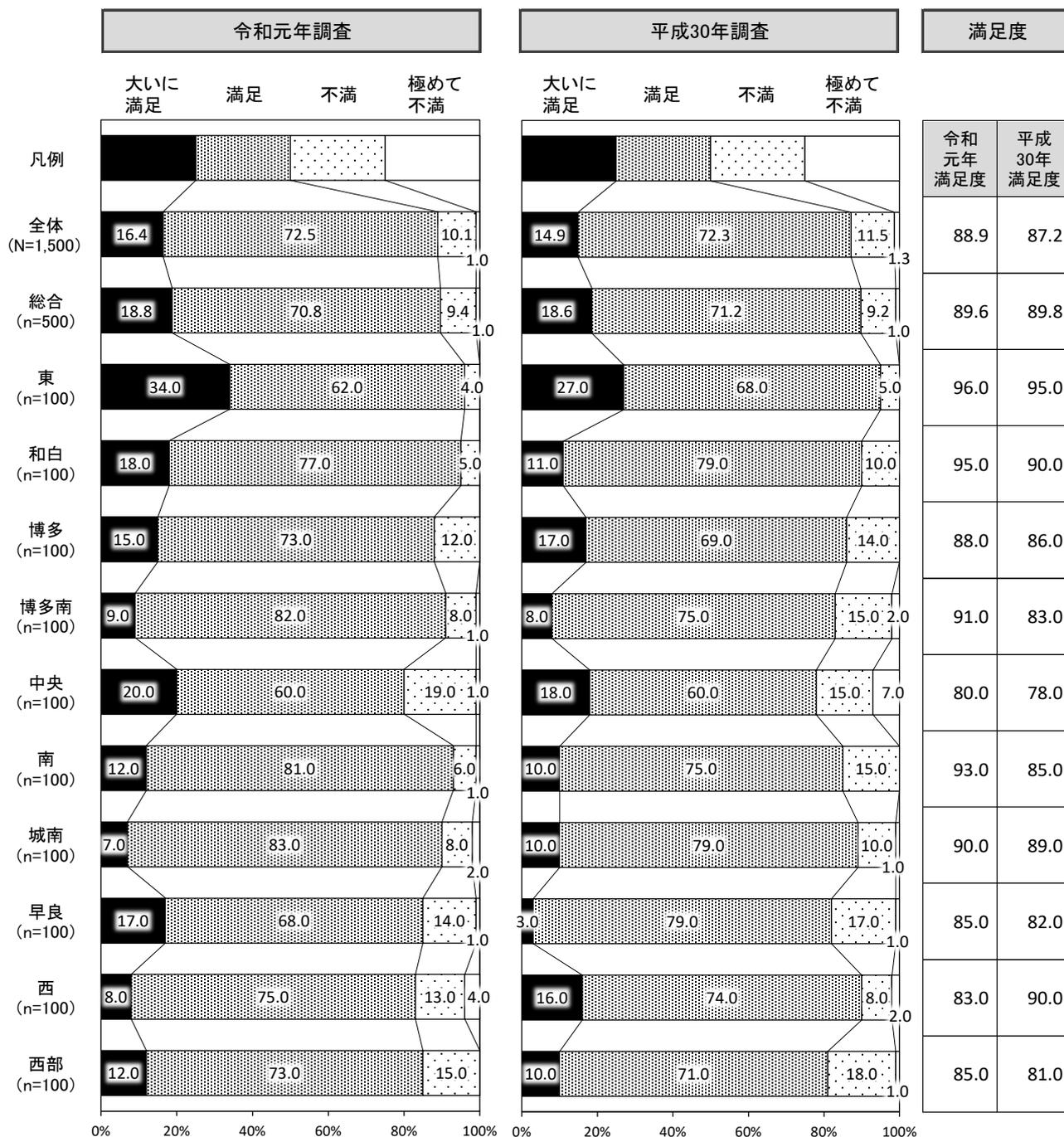
②窓口サービス(あいさつ、接遇など)



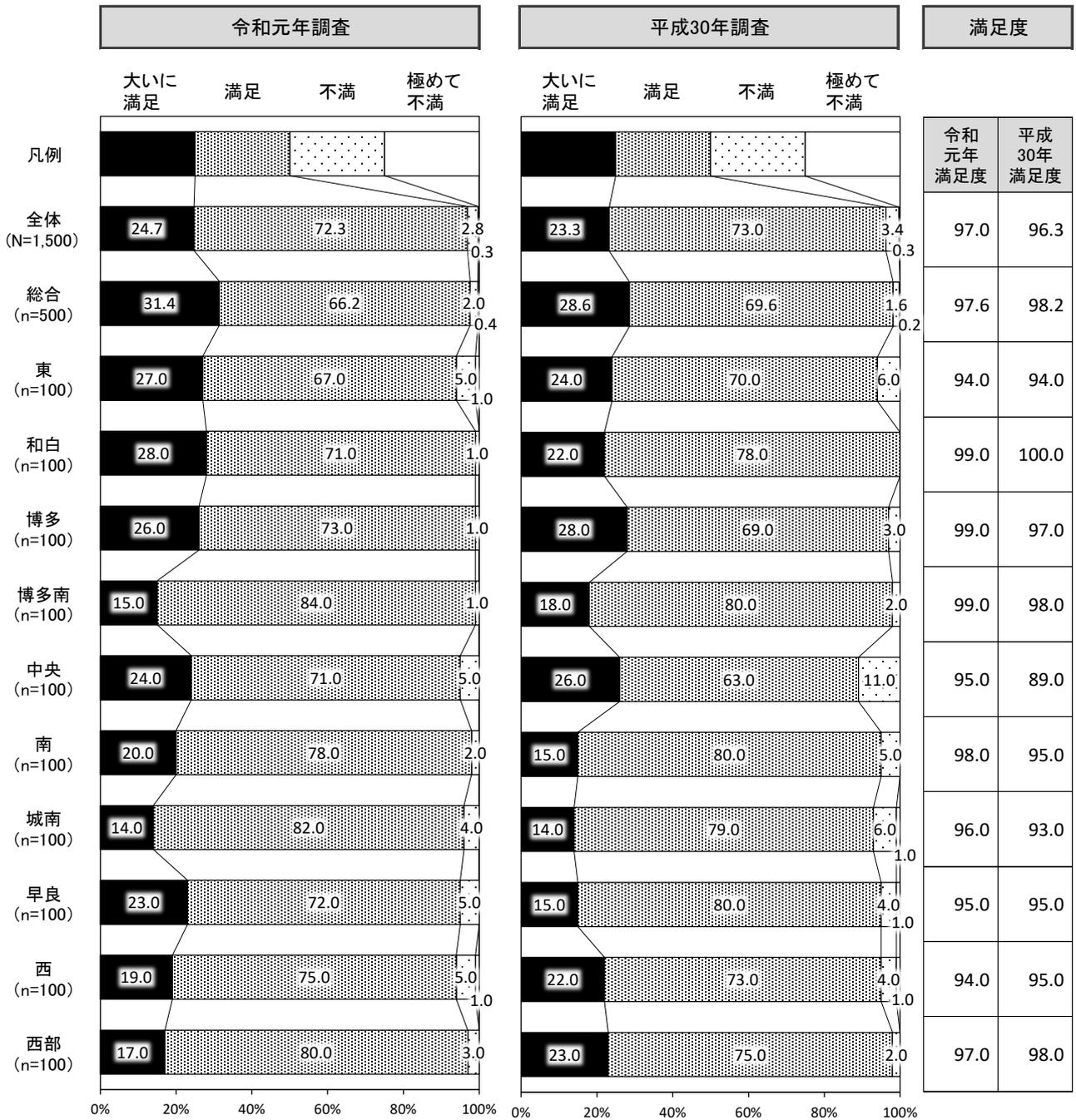
③図書館利用サービス(貸出冊数、貸出期間など)



④開館時間及び休館日



⑤総合



IV. 調査票

図書館ご利用者アンケート

日頃より、福岡市の図書館をご利用いただきありがとうございます。
図書館のご利用について、アンケートのご協力をお願いいたします。

① 福岡市の図書館はどれくらいご利用されていますか。

(1) 年に1回程度・(2) 年に数回程度・(3) 月に1～2回程度・(4) 週に1～2回程度・(5) ほぼ毎日

② 窓口サービスはいかがですか。(あいさつ、接遇など)

(1) 大いに満足 (2) 満足 (3) 不満 (4) 極めて不満

③ 図書館利用サービスはいかがですか。(貸出冊数、貸出日数など)

(1) 大いに満足 (2) 満足 (3) 不満 (4) 極めて不満

④ 開館時間及び休館日はいかがですか。

(1) 大いに満足 (2) 満足 (3) 不満 (4) 極めて不満

⑤ どの時間帯に図書館を利用したいですか。

(1) 9時～11時 (2) 11時～13時 (3) 13時～15時 (4) 15時～17時 (5) 17時～19時

⑥ 総合的にいかがですか。

(1) 大いに満足 (2) 満足 (3) 不満 (4) 極めて不満

ご協力ありがとうございました。今後の運営に活用させていただきます。

no	図書館名	①利用頻度	②窓口サービス	③図書館利用サービス	④開館時間及び休館日	⑤希望利用時間帯	⑥総合
19	東	週1~2回程度		なかなか新本にあわない。できればいつかをどこかに表記してほしい。			
25	東	月1~2回程度		蔵書数が少ない。もう少し新刊を増やして欲しい。			
32	東	週1~2回程度	いつも親切で良い本があり、ディスプレイがとてもあたたかく、美しくほっこりして嬉しく優しい気持ちになる。とても癒され、知識的にも良い本にめぐりあえ、これからも宜しく願います。感謝しています。				
36	東	週1~2回程度					空調設備を良くしてほしい。
57	東	月1~2回程度					新聞を読む人は新聞を読むコーナーで読むように指導してほしい。読書コーナーで本を読んでいると新聞をめくる音が耳障りになる。窓口の人に注意すると伝えたが、他人事のような顔をして知らんぷりをされた。
67	東	月1~2回程度		本がすくない。			
75	東	月1~2回程度		本の数が増えたら良い。			
78	東	週1~2回程度					借りる人のモラルの問題だろうが、本が汚い。他県にあるように、駅に返却口が欲しい。
79	東	年数回程度		もう少し本を増やして欲しい。新しい本が読みたい。			
101	南	週1~2回程度			火曜日を休館日にしてほしい。		
108	南	週1~2回程度		本の貸し出し冊数には満足しているが、視聴関係が貸し出ししてもらえないのは困る。			
112	南	月1~2回程度			せめて9時~9時半に開館してほしい。		
174	南	月1~2回程度		蔵書数が増えれば良い。			
179	南	月1~2回程度		もっと新刊を購入してほしい。			
196	南	月1~2回程度					時々古い雑誌を取り寄せて借りているが、ページが切り取られているものが多く残念。

no	図書館名	①利用頻度	②窓口サービス	③図書館利用サービス	④開館時間及び休館日	⑤希望利用時間帯	⑥総合
198	南	週1~2回程度		年間の休館日が多く借りられない事が多い。新しい文庫本が少なすぎるので増やして欲しい。			
211	城南	月1~2回程度		城南の蔵書は全般的に古く、子ども・中高生が利用しない理由の一つだと思う。			
231	城南	月1~2回程度		各分館により作者などの蔵書内容に偏りがあるように思う。			
238	城南	月1~2回程度	窓口の接遇は人による。				
276	城南	月1~2回程度		本が少ない。			
277	城南	月1~2回程度		冊数に不満がある。			
291	城南	ほぼ毎日		冊数が少ない。			
314	早良	月1~2回程度				19時より遅い時間帯に利用したい。	
322	早良	月1~2回程度	西・早良図書館のスタッフさんはいつもとても感じが良い。				
323	早良	週1~2回程度		もう少し冊数が増えたら良い	20時まで開館してほしい		
349	早良	月1~2回程度		人気のある本の在庫を増やして欲しい。順番待ちの期間が長すぎる。			
352	早良	週1~2回程度		人気の本の冊数が少なく、数か月待つ			
388	早良	月1~2回程度					西図書館はかなり古いので改装希望。
430	西部	年数回程度		貸出日数を1か月程にするシステムもあってほしい			
466	西部	月1~2回程度	親切にありがとうございます。				
499	西部	月1~2回程度		水墨画の本を時々借りているが、中央図書館にあるものを数年に一度、数冊ずつでも良いので入れ替えてほしい。			
505	和白	週1~2回程度			閉館時間をもう少し遅くしてほしい。		本の消毒が出来るようにしてほしい。
600	和白	月1~2回程度		もう少し新刊を多く入れてほしい。			
602	博多南	ほぼ毎日				その時の状況で利用したい	中学生のころから図書館にはお世話になっている。総合図書館は素晴らしい施設と思う。
607	博多南	週1~2回程度			年間の休日が多すぎる		
612	博多南	月1~2回程度			週1でも月1でも、20時まで開いていると嬉しい。		

no	図書館名	①利用頻度	②窓口サービス	③図書館利用サービス	④開館時間及び休館日	⑤希望利用時間帯	⑥総合
618	博多南	月1~2回程度		新しい絵本が増えると嬉しい。			
697	博多南	週1~2回程度	人によって対応に差がある。皆さん感じ良い方だが、一部の方は不快なほどである				
698	博多南	ほぼ毎日					本の消毒をする機械を置いてほしい。
728	中央	週1~2回程度					室内が暗い。
735	中央	週1~2回程度					子供用のスペースの改善を願う。
761	中央	月1~2回程度		もう少し新刊が欲しい。			
767	中央	年数回程度				季節によって利用したい時間は異なる	
774	中央	週1~2回程度		新刊を増やして欲しい。			
777	中央	月1~2回程度				19時以降に利用したい	
801	西	月1~2回程度					椅子を休憩に使用している人がおり不満
814	西	月1~2回程度		百道の図書館くらい冊数をもっと増やして欲しい。			
824	西	月1~2回程度				19時より遅く利用したい	
843	西	ほぼ毎日					返却を守らない人への対応をお願いしたい。
880	西	月1~2回程度				平日予約本の受取のみ17~19時に利用したい。	
881	西	週1~2回程度	もう少し声を出して挨拶してほしい	イベントが少ない(大人のイベントが少ない)	開館時間が遅く、閉館時間も早い		
892	西	週1~2回程度		新書を入れてほしい。			
896	西	週1~2回程度		特に新刊でもないのに、借りたい本がなかなか返ってこず、1・2・3…と続きもの場合、次が読めない。			
906	博多	週1~2回程度			大野城市は閉館日が少ないので助かっていたが、休館日が多く不満	暑い時は朝早い時間帯に来館したい	
909	博多	年数回程度			少しはやっく開館していただくと助かる		
925	博多	月1~2回程度		探している本が2・3か月返却されず貸し出しが出来ない。			
931	博多	月1~2回程度		もっと新しい本も読みたい。読んでしまった本・図書館に寄付しても良い本をもっと集めても良いのでは。			
972	博多	週1~2回程度					駐車場がいつも満杯でとめられない。公園の利用者がとめているのでは。

no	図書館名	①利用頻度	②窓口サービス	③図書館利用サービス	④開館時間及び休館日	⑤希望利用時間帯	⑥総合
995	博多	月1~2回程度					駐車場が困る。
1006	総合	週1~2回程度			もう少し長く利用したい		
1038	総合	月1~2回程度					駐車場がすぐに満車になる。
1056	総合	週1~2回程度			休館日が多すぎる。月曜ではなく水曜日や木曜日に変えてほしい。		
1078	総合	月1~2回程度				19時すぎまで利用したい	
1089	総合	週1~2回程度			年末年始等にもっと開館日を置いてほしい		
1106	総合	月1~2回程度		読みたい本(好きな作家)が少ない。			
1151	総合	週1~2回程度		もう少し多くの本を一度に借りられると良い。			
1153	総合	週1~2回程度			9時開館にしてほしい		
1167	総合	月1~2回程度		3週間貸し出して欲しい。他の地域では20冊可能などところもあるとの事	長期の休館日がないのもっと良い		
1175	総合	月1~2回程度			もう少し早く開館してほしい。地元図書館は9時からの為、10時開館の福岡は遅いと思った。		
1184	総合	月1~2回程度			もう少し早めに開館してほしい。		
1200	総合	週1~2回程度	質問事項に対し返答がなく不満。				
1227	総合	年数回程度					喫煙スペースが利用者の動線に近く、福岡タワー側からアプローチする際に大変煙たい。健康増進法上も問題があるように思う。風邪罹患と思われる咳を続けている利用者は、混雑する図書館では他の利用者に大きなリスクとなる。明らかにひどい体調不良者もあり、そのような方には声掛けをして退館を勧めることも考え検討してもらいたい。安心して利用できない。
1231	総合	週1~2回程度	対応が悪い。				
1237	総合	ほぼ毎日				20時まではいらない。	
1286	総合	週1~2回程度		貸し出し冊数を増刷してほしい			
1294	総合	週1~2回程度				19~21時に利用したい	
1300	総合	ほぼ毎日				20時は不要	

no	図書館名	①利用頻度	②窓口サービス	③図書館利用サービス	④開館時間及び休館日	⑤希望利用時間帯	⑥総合
1357	総合	年数回程度					自習室の空調を管理してほしい。いつも暑すぎて、勉強している若者たちが可哀そう。
1377	総合	週1~2回程度		予約の申し込み方法に工夫が必要。上下巻を申し込んだが、下巻が先に来て、再度申し込みをしたら上巻も再度の申し込みで大幅に遅くなってしまった。本を運ぶ車の音を小さくしてほしい。			
1381	総合	週1~2回程度			仕方ないと思うが、うっかり休館日に行ってしまう事がある。		
1431	総合	週1~2回程度					警備員が最悪である。
1436	総合	月1~2回程度					夜遅くまで対応していただけるので助かっている。
1442	総合	月1~2回程度					高齢者と子供の健康のためにも、トイレを全部洋式シャワートイレにしてほしい。
1453	総合	月1~2回程度	接遇は人による。失礼だと思う人もいた	希望しても本を用意してもらえない事も多く残念	映像コーナーも本と同じ時間帯に延長してほしい。返却できない		
1454	総合	月1~2回程度					図書館webサイトの改良を望む。具体的には、アマゾンの気になるリスト的なもの、要するにリクエスト以外でも本の情報を保護できるものを。
1481	総合	ほぼ毎日		貸出期限の厳守を徹底してほしい。			
1484	総合	週1~2回程度			20時以降まで開館してほしい。		
1491	総合	月1~2回程度		人気がある本がなかなか借りられないのが残念。			
1499	総合	月1~2回程度		他市の図書館には新しいCDがたくさんある。予算上難しいかもしれないが、出来れば新しいものを入れてもらいたい。			

図書館要覧（抜粋）

※令和元年度統計数値

2. 分館の施設概要

東図書館	〒813-0044 福岡市東区千早4丁目21番45号 なみきスクエア内 TEL(092)674-3982 FAX(092)674-3973 昭和52年7月16日開館(平成28年6月4日現在地へ移転開館) / 753㎡(1階) (鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建一部4階建, 延11,566㎡)
和白図書館	〒811-0213 福岡市東区和白丘1丁目22番27号 和白地域交流センター内 TEL(092)608-8490 FAX(092)608-8495 平成15年8月9日開館 / 644㎡(4階) (鉄筋コンクリート造6階建, 延4,924㎡)
博多図書館	〒812-0015 福岡市博多区山王1丁目13番10号 博多市民センター内 TEL(092)472-5996 FAX(092)472-5999 昭和58年8月26日開館 / 541㎡(3階) (鉄筋コンクリート造5階建 延4,123㎡)
博多南図書館	〒812-0883 福岡市博多区南本町2丁目3番1号 博多南地域交流センター内 TEL(092)502-8580 FAX(092)502-8579 平成12年1月30日開館 / 563㎡(2階) (鉄筋コンクリート造11階建, 延18,279㎡うち福岡市部分8,577㎡)
中央図書館	〒810-0042 福岡市中央区赤坂2丁目5番8号 中央市民センター内 TEL(092)751-9534 FAX(092)751-9535 昭和55年3月23日開館 / 486㎡(1階) (鉄筋コンクリート造3階建一部4階建, 延3,406㎡)
南図書館	〒815-0032 福岡市南区塩原2丁目8番2号 南市民センター内 TEL(092)561-3048 FAX(092)561-3054 昭和53年7月22日開館 / 478㎡(1階) (鉄筋コンクリート造3階建, 延5,218㎡)
城南図書館	〒814-0142 福岡市城南区片江5丁目3番25号 城南市民センター内 TEL(092)864-4823 FAX(092)864-4824 昭和59年8月1日開館 / 562㎡(1階) (鉄筋コンクリート造4階建, 延4,068㎡)
早良図書館	〒814-0006 福岡市早良区百道2丁目2番1号 早良市民センター内 TEL(092)845-8835 FAX(092)845-8841 昭和57年2月14日開館 / 520㎡(2階) (鉄筋コンクリート造4階建一部5階建, 延4,099㎡)
西図書館	〒819-0005 福岡市西区内浜1丁目4番39号 西市民センター内 TEL(092)884-3874 FAX(092)884-3895 昭和63年3月1日開館 / 453㎡及び児童図書室99㎡ 計552㎡(1階) (鉄筋コンクリート造4階建, 延5,208㎡)
西部図書館	〒819-0367 福岡市西区西都2丁目1番1号 西部地域交流センター内 TEL(092)807-8802 FAX(092)807-8884 平成22年7月20日開館 / 610㎡(2階) (鉄筋コンクリート造3階建, 延9,958㎡)

※ 市民センター内にある分館の開館年月日は、市民センターの開館年月日を表示

3. 総合図書館及び分館の入館者数

	令和元年度	平成30年度
総合図書館	780千人	850千人
東図書館	438千人	286千人
和白図書館	126千人	118千人
博多図書館	90千人	75千人
博多南図書館	105千人	87千人
中央図書館	180千人	140千人
南図書館	174千人	134千人
城南図書館	225千人	173千人
早良図書館	141千人	110千人
西図書館	191千人	147千人
西部図書館	173千人	129千人

* 平成30年度の分館入館者数は、計測機器の調整を行ったことから平成30年8月～平成31年3月の8ヶ月間の計測人数の概算を表示しています。

* 総合図書館は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和2年2月27日から同年3月20日まで臨時休館を行いました。

ア 個人登録者数

区 分		令和元年度	構成比	平成30年度	平成29年度
総合図書館	児童	12,251	6.1%	12,465	12,413
	生徒	13,385	6.6%	13,490	13,670
	一般	175,782	87.3%	167,960	159,384
	計	201,418	-	193,915	185,467
東図書館	児童	4,860	10.2%	4,770	4,572
	生徒	4,061	8.5%	3,657	3,179
	一般	38,842	81.3%	35,294	31,291
	計	47,763	-	43,721	39,042
和白図書館	児童	1,326	5.8%	1,407	1,479
	生徒	1,935	8.4%	2,033	2,077
	一般	19,702	85.8%	18,923	18,125
	計	22,963	-	22,363	21,681
博多図書館	児童	1,825	7.9%	1,821	1,833
	生徒	1,654	7.1%	1,616	1,602
	一般	19,760	85.0%	18,675	17,583
	計	23,239	-	22,112	21,018
博多南図書館	児童	2,037	8.9%	2,190	2,053
	生徒	1,984	8.6%	1,895	1,921
	一般	18,940	82.5%	18,003	17,079
	計	22,961	-	22,088	21,053
中央図書館	児童	1,783	5.4%	1,831	1,772
	生徒	1,615	4.8%	1,544	1,521
	一般	30,112	89.9%	28,498	26,966
	計	33,510	-	31,873	30,259
南図書館	児童	3,194	7.7%	3,098	3,081
	生徒	3,412	8.2%	3,449	3,490
	一般	35,024	84.1%	33,217	31,350
	計	41,630	-	39,764	37,921
城南図書館	児童	2,799	8.0%	2,867	2,887
	生徒	3,158	9.2%	3,172	3,188
	一般	28,447	82.7%	27,102	25,660
	計	34,404	-	33,141	31,735
早良図書館	児童	1,621	8.6%	1,626	1,554
	生徒	1,487	7.9%	1,470	1,458
	一般	15,709	83.5%	15,035	14,318
	計	18,817	-	18,131	17,330
西図書館	児童	2,632	7.3%	2,760	2,859
	生徒	3,187	8.8%	3,266	3,339
	一般	30,197	83.8%	28,856	27,414
	計	36,016	-	34,882	33,612
西部図書館	児童	2,442	11.0%	2,440	2,478
	生徒	2,483	11.2%	2,439	2,278
	一般	17,305	77.8%	15,959	14,683
	計	22,230	-	20,838	19,439
分館計	児童	24,519	8.1%	24,810	24,568
	生徒	24,976	8.2%	24,541	24,053
	一般	254,038	83.7%	239,562	224,469
	計	303,533	-	288,913	273,090
福岡市男女共同参画 推進センター アミカス図書室	児童	295	4.4%	293	263
	生徒	274	4.1%	244	222
	一般	6,118	91.4%	5,745	5,356
	計	6,687	-	6,282	5,841
合計	児童	37,065	7.2%	37,568	37,244
	生徒	38,635	7.6%	38,275	37,945
	一般	435,938	85.2%	413,267	389,209
	計	511,638	-	489,110	464,398

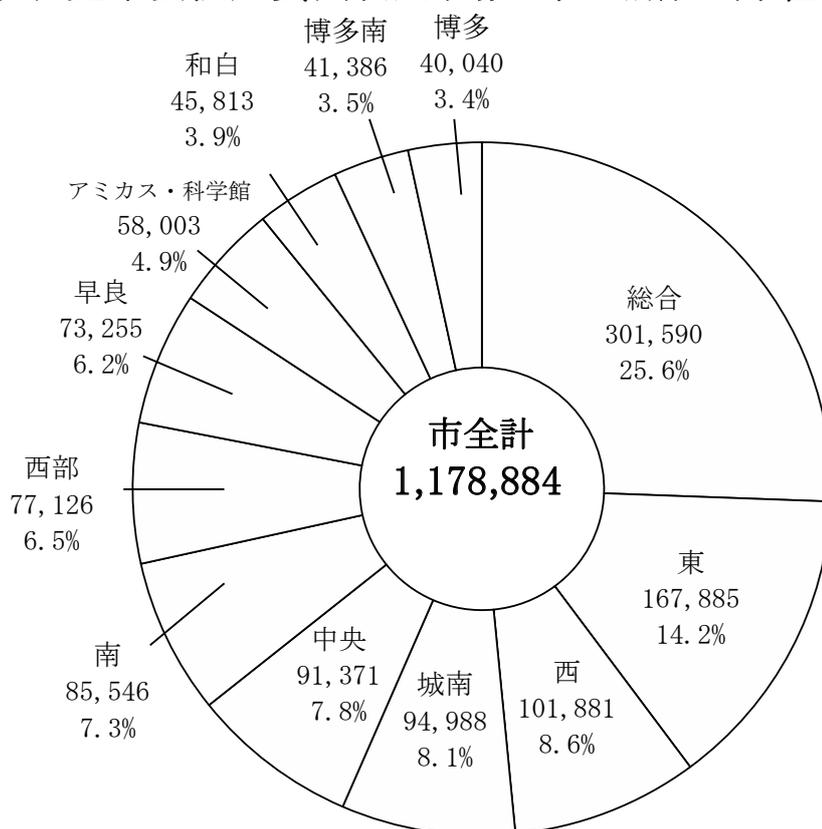
イ 個人貸出利用者数

(単位:人)

区 分	令和元年度	平成30年度	平成29年度	平成28年度	平成27年度	平成26年度	
総 合 図 書 館	301,590	330,387	343,109	361,641	376,771	395,613	
分 館 等	東 図 書 館	167,885	162,910	158,131	130,003	62,232	75,164
	和 白 図 書 館	45,813	49,571	49,958	58,082	60,743	58,946
	博 多 図 書 館	40,040	39,568	41,250	44,819	48,075	50,232
	博多南 図 書 館	41,386	43,708	44,557	48,303	51,990	51,568
	中 央 図 書 館	91,371	90,059	91,343	99,984	103,696	105,506
	南 図 書 館	85,546	86,586	83,251	81,350	87,369	88,615
	城 南 図 書 館	94,988	97,157	97,266	99,718	104,822	106,674
	早 良 図 書 館	73,255	75,366	73,800	77,502	75,733	41,680
	西 図 書 館	101,881	102,779	101,334	106,919	113,078	118,246
	西 部 図 書 館	77,126	80,166	80,496	82,835	86,960	89,100
	アミカス・科学館	58,003	56,145	46,801	42,641	46,039	46,007
	計	877,294	884,015	868,187	872,156	840,737	831,738
	合 計	1,178,884	1,214,402	1,211,296	1,233,797	1,217,508	1,227,351

*科学館が平成29年10月1日開館

令和元年度個人貸出利用者数 館別構成 (単位:人)



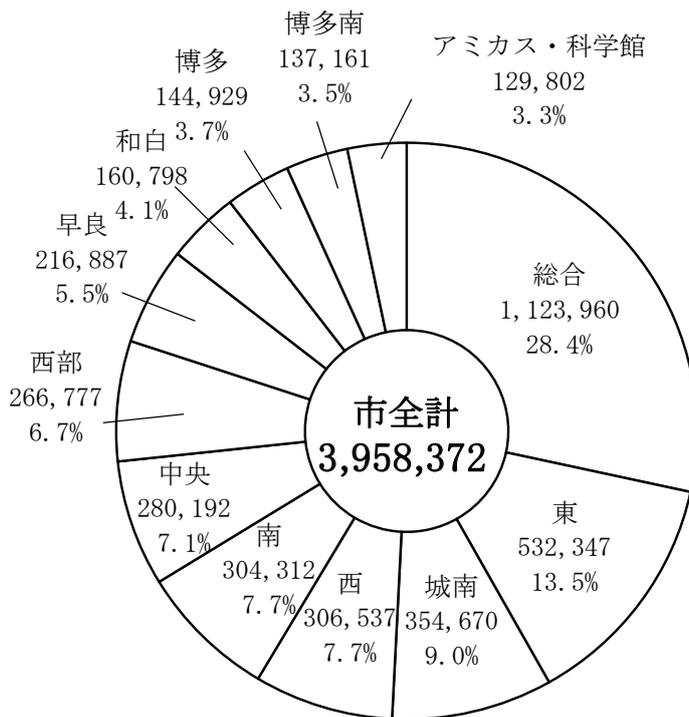
ウ 個人貸出冊数

(単位:冊, %)

区 分	令和元年度			自動貸出機 利用冊数	平成30年度	平成29年度	平成28年度	
	一般書	児童書	計					
総 合 図 書 館	781,579	342,381	1,123,960	529,381 47.1%	1,242,075	1,304,095	1,375,600	
分 館 等	東 図 書 館	342,145	190,202	532,347	263,002 49.4%	515,243	502,724	415,780
	和 白 図 書 館	109,743	51,055	160,798	103,469 64.3%	173,973	179,489	213,354
	博 多 図 書 館	90,324	54,605	144,929	75,897 52.4%	148,040	155,618	169,200
	博多南図書館	90,945	46,216	137,161	63,644 46.4%	148,221	154,437	166,828
	中 央 図 書 館	193,826	86,366	280,192	122,679 43.8%	273,094	279,618	304,773
	南 図 書 館	179,657	124,655	304,312	151,849 49.9%	304,037	298,286	288,736
	城 南 図 書 館	226,889	127,781	354,670	171,694 48.4%	368,646	370,425	377,656
	早 良 図 書 館	148,531	68,356	216,887	99,031 45.7%	221,257	220,887	234,800
	西 図 書 館	202,681	103,856	306,537	144,816 47.2%	308,639	310,436	330,842
	西 部 図 書 館	158,419	108,358	266,777	166,484 62.4%	278,217	284,394	299,020
	アミカス・科学館	102,205	27,597	129,802	0 0.0%	127,531	106,637	97,514
	計	1,845,365	989,047	2,834,412	1,362,565 48.1%	2,866,898	2,862,951	2,898,503
合 計	2,626,944	1,331,428	3,958,372	1,891,946 47.8%	4,108,973	4,167,046	4,274,103	

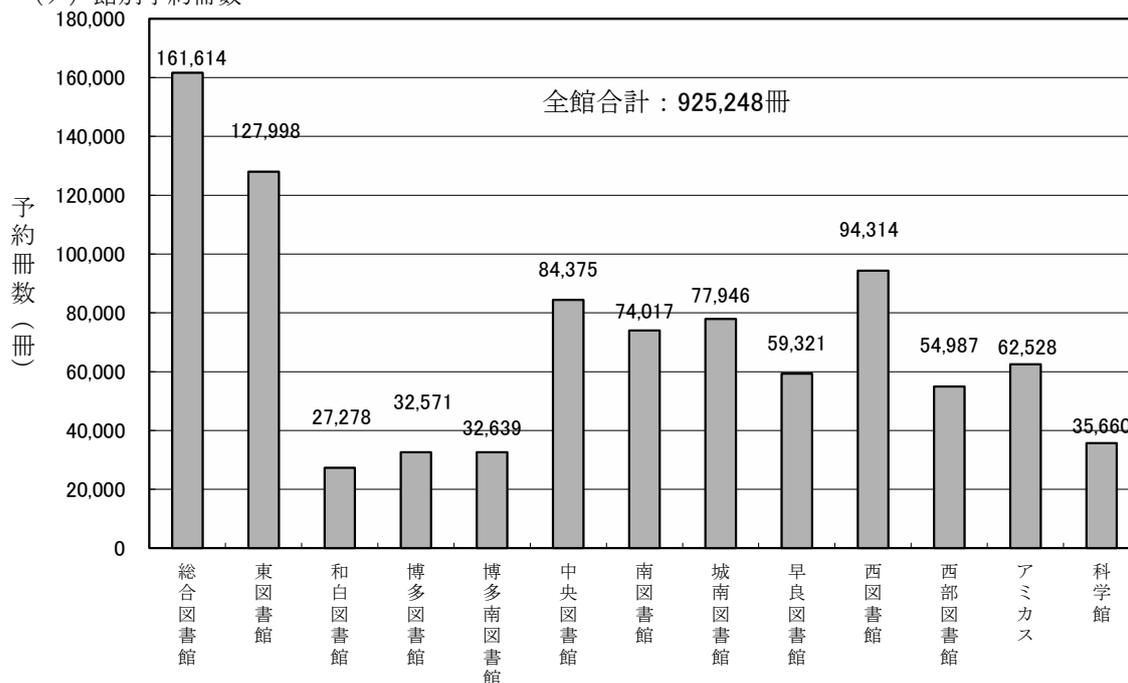
※「自動貸出機利用冊数」は、貸出冊数計の内、自動貸出機を利用して貸出された冊数及び貸出冊数計に占める割合

令和元年度個人貸出冊数 館別構成 (単位:冊)

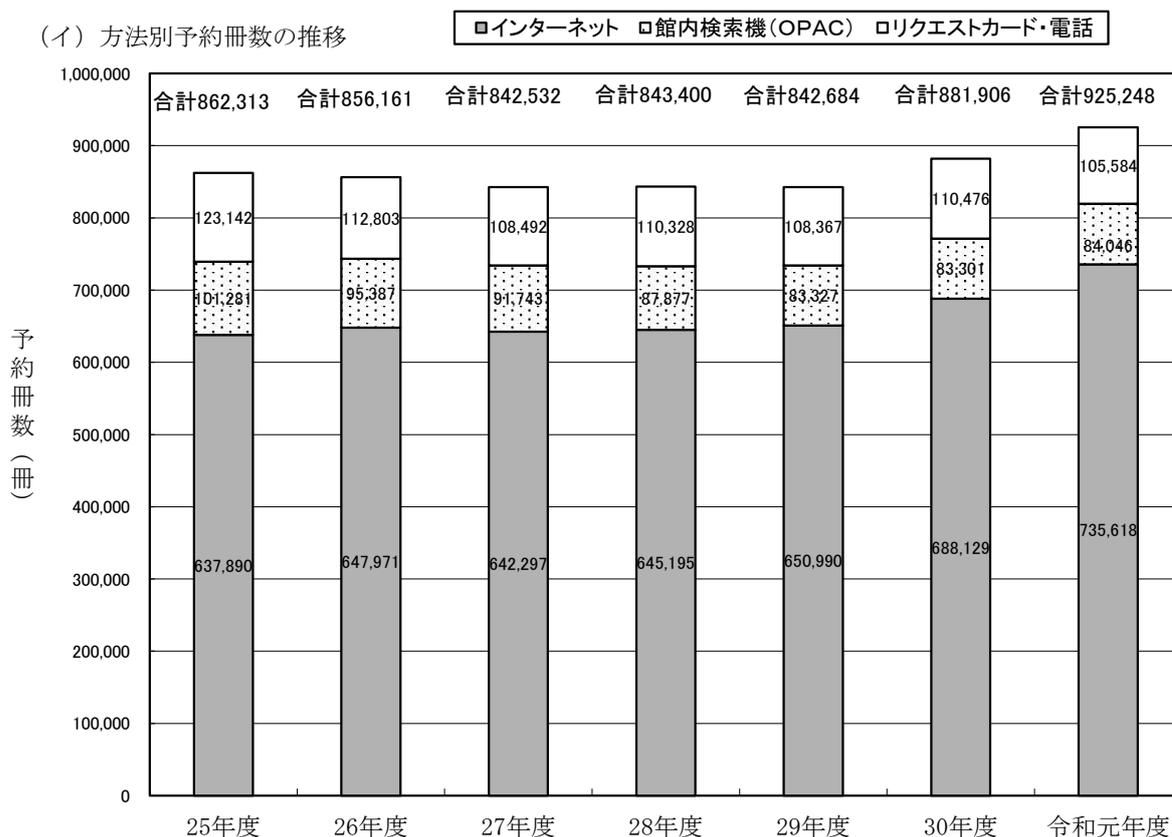


カ 予約（リクエスト）サービス（令和元年度）

(ア) 館別予約冊数



(イ) 方法別予約冊数の推移



(ウ) WebOPAC検索件数

区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成元年度
アクセス件数	1,300,701	1,285,267	1,361,398	860,606

※ インターネットからの蔵書検索回数

(2) 資料の収集状況
ア 図書

区 分		令和元年度収集			除籍等	令和元年度末 蔵書冊数	
		購入	寄贈等	計			
総合 図書 館	一般	一般図書	6,340	1,286	7,626	3,679	737,293
		参考図書	530	92	622	36	67,768
		国際資料	814	216	1,030	6	77,396
		郷土資料	561	367	928	4	103,062
		小 計	8,245	1,961	10,206	3,725	985,519
	子ども	児童研究資料	553	39	592	53	30,042
		児童資料	2,229	190	2,419	862	110,805
		小 計	2,782	229	3,011	915	140,847
	団体貸出	一般図書	652	69	721	261	52,318
		児童図書	4,856	3	4,859	3,147	137,209
		小 計	5,508	72	5,580	3,408	189,527
	計		16,535	2,262	18,797	8,048	1,315,893
	東	一般図書	1,526	1,404	2,930	166	49,135
児童図書		726	132	858	487	22,183	
小 計		2,252	1,536	3,788	653	71,318	
和 白	一般図書	1,212	1,029	2,241	434	56,974	
	児童図書	612	39	651	964	23,847	
	小 計	1,824	1,068	2,892	1,398	80,821	
博 多	一般図書	1,265	104	1,369	96	45,663	
	児童図書	699	35	734	900	21,227	
	小 計	1,964	139	2,103	996	66,890	
博 多 南	一般図書	1,258	1,122	2,380	921	48,562	
	児童図書	500	24	524	1,537	27,191	
	小 計	1,758	1,146	2,904	2,458	75,753	
中 央	一般図書	1,408	126	1,534	1,214	45,652	
	児童図書	495	33	528	1,724	19,487	
	小 計	1,903	159	2,062	2,938	65,139	
南	一般図書	1,365	208	1,573	734	44,928	
	児童図書	615	73	688	1,257	17,941	
	小 計	1,980	281	2,261	1,991	62,869	
城 南	一般図書	1,104	204	1,308	387	45,946	
	児童図書	687	62	749	1,274	18,777	
	小 計	1,791	266	2,057	1,661	64,723	
早 良	一般図書	1,149	151	1,300	310	43,665	
	児童図書	584	59	643	725	20,518	
	小 計	1,733	210	1,943	1,035	64,183	
西	一般図書	1,426	189	1,615	123	41,896	
	児童図書	518	45	563	1,392	17,210	
	小 計	1,944	234	2,178	1,515	59,106	
西 部	一般図書	1,097	969	2,066	798	53,515	
	児童図書	627	37	664	1,429	17,143	
	小 計	1,724	1,006	2,730	2,227	70,658	
分館計		18,873	6,045	24,918	16,872	681,460	
合 計		35,408	8,307	43,715	24,920	1,997,353	

(単位：冊)

平成30年度末 蔵書冊数	平成29年度末 蔵書冊数	平成28年度末 蔵書冊数	平成27年度末 蔵書冊数	平成26年度末 蔵書冊数	平成25年度末 蔵書冊数
733,346	729,738	726,265	722,174	717,602	714,145
67,182	66,640	66,033	65,330	64,648	63,991
76,372	75,581	74,468	73,315	72,161	70,984
102,138	101,433	100,531	99,739	98,598	97,603
979,038	973,392	967,297	960,558	953,009	946,723
29,503	29,085	28,857	28,541	28,687	28,400
109,248	107,859	108,746	107,689	106,156	105,494
138,751	136,944	137,603	136,230	134,843	133,894
51,858	51,678	51,421	54,458	55,710	57,207
135,497	134,629	133,832	138,542	143,008	144,921
187,355	186,307	185,253	193,000	198,718	202,128
1,305,144	1,296,643	1,290,153	1,289,788	1,286,570	1,282,745
46,371	43,788	41,853	37,809	43,729	43,441
21,812	20,824	19,468	17,260	18,720	18,667
68,183	64,612	61,321	55,069	62,449	62,108
55,167	54,326	54,282	53,976	53,737	54,312
24,160	23,161	22,795	22,789	22,428	22,161
79,327	77,487	77,077	76,765	76,165	76,473
44,390	43,545	44,347	44,927	44,804	45,145
21,393	20,993	20,959	20,671	20,294	20,634
65,783	64,538	65,306	65,598	65,098	65,779
47,103	46,515	46,991	47,258	47,687	47,568
28,204	27,680	27,723	27,498	27,621	27,737
75,307	74,195	74,714	74,756	75,308	75,305
45,332	44,805	45,385	45,328	46,439	45,829
20,683	20,133	20,035	20,004	20,138	20,035
66,015	64,938	65,420	65,332	66,577	65,864
44,089	43,118	45,531	46,193	45,965	46,647
18,510	17,549	18,071	17,894	17,630	17,485
62,599	60,667	63,602	64,087	63,595	64,132
45,025	44,863	44,893	45,073	45,267	44,968
19,302	19,015	18,936	18,847	18,557	18,465
64,327	63,878	63,829	63,920	63,824	63,433
42,675	41,742	41,134	40,422	40,058	41,568
20,600	19,798	19,477	19,329	19,066	19,231
63,275	61,540	60,611	59,751	59,124	60,799
40,404	40,661	41,194	43,181	42,873	42,735
18,039	17,762	18,058	18,584	18,175	18,403
58,443	58,423	59,252	61,765	61,048	61,138
52,247	51,967	52,082	51,701	50,993	49,837
17,908	17,175	16,907	16,595	16,286	15,932
70,155	69,142	68,989	68,296	67,279	65,769
673,414	659,420	660,121	655,339	660,467	660,800
1,978,558	1,956,063	1,950,274	1,945,127	1,947,037	1,943,545

イ 逐次刊行物収集一覧(令和2年4月1日現在)

区 分	購 入				その他の寄贈			
	雑 誌		新 聞		法令集 追 録	国会議 事録他	雑誌	新聞
	日本	外国	日本	外国				
総 合	458種	45種	47種	17種	6種	2種	548種	14種
東	68種	—	7種	—	—	—	5種	8種
和 白	102種	—	8種	—	—	—	6種	8種
博 多	63種	—	6種	—	—	—	3種	6種
博 多 南	76種	—	6種	—	—	—	1種	7種
中 央	63種	—	6種	—	—	—	4種	7種
南	68種	—	6種	—	—	—	8種	5種
城 南	66種	—	6種	—	—	—	7種	7種
早 良	68種	—	6種	—	—	—	2種	8種
西	60種	—	6種	—	—	—	1種	7種
西 部	63種	—	7種	—	—	—	3種	9種

ウ マイクロフィルム (令和2年4月1日現在) (単位: 巻)

新 聞	雑 誌	明治期刊行図書	官 報	一般資料	計
6,087	53	16,358	1,079	722	24,299

エ オンラインデータベース (令和2年4月1日現在) タイトル数 7種類

(3) その他の利用状況

ア 個人貸出部門

(ア) 相談事務 (令和元年度)

① 主題別部門

(単位: 件)

区 分	窓口相談	電話相談	文書相談	電子メール	計
レファレンス	25,217	11,001	18	58	36,294
利 用 案 内	7,737	2,698	0	35	10,470
計	32,954	13,699	18	93	46,764

レファレンスの部門別内訳

(単位: 件)

区 分		所蔵調査	書誌調査	文献調査	事実調査	計
一般参考 部 門	口 頭	414	12	115	25	566
	電 話	41	3	24	17	85
	文書・FAX	0	0	0	0	0
	電子メール	0	0	1	1	2
	計	455	15	140	43	653
人文科学 部 門	口 頭	7,845	136	4,053	199	12,233
	電 話	5,835	140	618	63	6,656
	文書・FAX	1	1	7	1	10
	電子メール	12	2	13	0	27
	計	13,693	279	4,691	263	18,926
社会科学 部 門	口 頭	3,312	49	1,056	160	4,577
	電 話	1,779	53	268	27	2,127
	文書・FAX	0	0	1	2	3
	電子メール	9	2	4	2	17
	計	5,100	104	1,329	191	6,724
自然科学 部 門	口 頭	2,470	48	792	89	3,399
	電 話	1,015	20	191	9	1,235
	文書・FAX	0	0	1	0	1
	電子メール	1	0	8	3	12
	計	3,486	68	992	101	4,647
国際資料 部 門	口 頭	2,859	8	847	200	3,914
	電 話	657	1	204	12	874
	文書・FAX	1	0	1	2	4
	電子メール	0	0	0	0	0
	計	3,517	9	1,052	214	4,792
国連資料 部 門	口 頭	264	0	166	98	528
	電 話	15	0	3	6	24
	文書・FAX	0	0	0	0	0
	電子メール	0	0	0	0	0
	計	279	0	169	104	552
計	口 頭	17,164	253	7,029	771	25,217
	電 話	9,342	217	1,308	134	11,001
	文書・FAX	2	1	10	5	18
	電子メール	22	4	26	6	58
	計	26,530	475	8,373	916	36,294

②ポピュラー部門（令和元年度）（単位：件）

区 分	窓口相談	電話相談	計
レファレンス	9,587	1	9,588
利用案内	14,275	4,392	18,667
計	23,862	4,393	28,255

③子ども図書館（令和元年度）（単位：件）

区 分	窓口相談	電話相談	電子メール	計
レファレンス	7,251	17	3	7,271
利用案内	3,923	24	0	3,947
計	11,174	41	3	11,218

④各分館（令和元年度）

（単位：件）

区 分	東		和白		博多		博多南		中央		南		城南		早良		西		西部		計	
	窓口	電話	窓口	電話	窓口	電話	窓口	電話	窓口	電話	窓口	電話	窓口	電話	窓口	電話	窓口	電話	窓口	電話	窓口	電話
レファレンス	4,133	1,377	2,021	457	1,187	337	1,056	511	5,908	2,312	2,519	808	4,418	1,450	2,859	583	3,443	696	4,706	1,570	32,250	10,101
利用案内	4,733	3,650	2,826	1,204	635	782	870	780	5,075	4,047	2,308	2,003	10,296	3,368	3,205	1,575	2,401	1,649	4,598	1,908	36,947	20,966
計	8,866	5,027	4,847	1,661	1,822	1,119	1,926	1,291	10,983	6,359	4,827	2,811	14,714	4,818	6,064	2,158	5,844	2,345	9,304	3,478	69,197	31,067

⑤国立国会図書館のレファレンス協同データベース登録状況

（単位：件）

区 分	令和元年度	平成30年度	平成29年度
事例登録数	110	113	100
事例被参照数	212,402	129,949	133,102

※全国の図書館等がレファレンス事例を登録し、図書館員や一般利用者に提供するシステム

(イ) 複写サービス

（単位：枚）

区 分	令和元年度	平成30年度	平成29年度
電子（モノクロ） （CD-ROM含む）	249,613	261,799	278,522
電子（カラー）	3,875	2,915	3,737
マイクロフィルム	9,483	13,299	14,634
計	262,971	278,013	296,893

(ウ) マイクロフィルム等閲覧件数

（単位：件）

区 分	令和元年度	平成30年度	平成29年度
マイクロフィルム	1,815	1,814	2,000
オンラインデータベース	1,127	1,233	1,307
インターネット	5,756	7,095	7,528

※郷土資料は除く。

(エ) 国立国会図書館 デジタル化資料送信サービス利用状況

区 分	令和元年度	平成30年度	平成29年度
利用者数（人）	202	160	140
複写タイトル数（件）	287	515	278
【再計】複写枚数（枚）	2,668	2,632	3,280

※国立国会図書館がデジタル化した資料のうち、絶版等の理由で入手困難な資料が対象
（平成26年1月21日～ サービス開始）

**平成 30 年度
福岡市総合図書館の運営に関する評価**

**令和元年 9 月
福岡市総合図書館**

福岡市総合図書館新ビジョン推進に関する点検評価会議委員名簿

(五十音順)

	所属等
青沼 美撫子	福岡市総合図書館運営審議会委員 (本市の住民)
上村 篤子	福岡市総合図書館運営審議会委員 (社会教育関係)
岡野 秀之	公益財団法人九州経済調査協会 事業開発部長兼 BIZCOLI 館長
高橋 昇 (委員長)	福岡市総合図書館運営審議会委員 (学識経験者)
西村 早苗	福岡市総合図書館運営審議会委員 (家庭教育関係)

平成30年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(総括)

福岡市総合図書館新ビジョン基本理念	
市民がくつろぎ、本や人と楽しくふれあえる新たな学び・情報・交流の拠点となる図書館	
利用者の高度化・多様化するニーズに対応できる資料・情報を提供する生涯学習施設として、また、内部空間だけでなく外部空間も含めて、快適な空間を最大限に活用することにより、これまで図書館を利用したことのない人なども集う場を創出し、多くの市民がくつろぎ、楽しさを共有できる新たな情報・交流の拠点となる図書館を目指します。	

成果指標					
成果指標	平成26年度末	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末
図書館利用者における 図書館サービスの満足度 【平成30年度:85%】	80.1%	84.2% (+4.1)	85.9% (+1.7)	87.2% (+1.3)	88.9% (+1.7)

※図書館サービスに関する調査3項目の満足度のうち、最も低い値を成果とした
※()は前年度からの増減

目標数値					
目標数値	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
①入館者数 【平成30年度:5,500千人】	—	—	—	—	—
②個人貸出冊数 【平成30年度:5,200千冊】	4,378,475冊	4,311,916冊 [-66,559] [-1.5%]	4,274,103冊 [-37,813] [-0.9%]	4,167,046冊 [-107,057] [-2.5%]	4,108,973冊 [-58,073] [-1.4%]
③貸出利用者数 【平成30年度:1,400千人】	1,227,351人	1,217,508人 [-9,843] [-0.8%]	1,233,797人 [+16,289] [+1.3%]	1,211,296人 [-22,501] [-1.8%]	1,214,402人 [+3,106] [+0.3%]
④新規登録者数 【平成30年度:45千人】	25,971人	25,337人 [-634] [-2.4%]	33,846人 [+8,509] [+33.6%]	26,207人 [-7,639] [-22.6%]	24,712人 [-1,495] [-5.7%]

※入館者数については、平成30年度に装置の不具合が判明したため過去の数値も非表示。
※[]は前年度からの増減。

内部評価	事業別評価	
<評価> 成果指標は、利用者満足度調査3項目のうち最も低い「開館時間および休館日」についての88.9%を、これまでと同様に「図書館利用者における図書館サービスの満足度」としたが、前年度から1.7ポイント上がっている。 目標数値のうち、貸出利用者数については増加しているが、個人貸出冊数及び新規登録者数については減少している。	A評価	17事業
	B評価	11事業
<対応> 平成30年度に令和元年度から令和5年度までを後期として事業計画を策定した。前期事業計画で取り組みが十分でなかった項目を中心に見直しを行っており、目指す図書館像の実現に向けて計画的に事業を実施していく。	C評価	2事業
	D評価	—

外部評価

・限られた予算・人員で努力されて結果を出していることは評価できる。『①課題解決型図書館への更なる進化②「レファレンスだより」を活用して「調べたい事柄・テーマがある」を使い易く改編する。③分館の規模が小さく蔵書数が少ない。』ことを留意して運営することを望む。

・30項目のうち20項目がA評価であり総合的に高い評価ができる。その結果が満足度調査の高さ、88.9%にも表れていると感じる。弱い部分は、電子書籍やWi-Fi、デジタルデータ化などのIT環境であり、重点的に取り組む必要がある。

・数値目標としている「個人貸出冊数」と「新規登録者数」の減少が続いているが「貸出利用者数」は目標に届かないものの平成30年度で持ち直している。アンケート調査での満足度が4年連続上昇しており9割近くに達していることとあわせて考えると図書館の利用形態が「貸出」のみで評価できなくなっている可能性もある。

・入館者数の継続的なデータが出せない状況にあるが利用形態の把握には、入退館情報は重要である。リピート率、利用時間帯、滞在時間、イベント利用者のカウントなど企画やイベントも含めた効果検証ができる形で新しいカウントをスタートして、新たに積み重ねてほしい。

・分館のWi-Fi環境の整備が遅れているため早急な対応を求める。

・休館日の見直しと利用時間の延長は分館ごとに実現に向けて進めていくことを望む。

・公的な図書館としての責務を果たしながら、身近でくつろげる本との楽しい出会いの場となることを期待する。継続して財源の確保、資料の充実、図書館に携わる人材の資質向上や研修などに取り組んでほしい。また、その利用拡大のための広報や魅力的なイベントの企画、施設のリニューアル、レイアウトの見直しなど課題は多いが、取組みの継続を望む。その為に幅広く市民の意見を吸い上げる努力をし検討願う。人口増が続いている福岡市、その図書館の利用が減少傾向にあるのは残念である。図書館をほとんど利用したことのない市民へのPRが更に求められる。未来を見据えれば子どもたちの利用促進が重要と考える。地域の小中学校、留守家庭子ども会、地域の子ども会などとの連携を深め支援を充実させることが望まれる。

事業別評価

委員①		委員②		委員③		委員④		委員⑤	
A評価	18	A評価	10	A評価	20	A評価	12	A評価	14
B評価	10	B評価	16	B評価	8	B評価	15	B評価	11
C評価	2	C評価	4	C評価	2	C評価	3	C評価	5
D評価	0								

<評価の基準>

福岡市総合図書館新ビジョン事業計画の取組状況については、下記の基準により評価を行っている。

判定	評価内容
A	計画どおり取り組み、内容も十分である。
B	ほぼ計画どおり取り組んでいるが、少し不十分な点がある。
C	計画どおりには取り組んでおらず、不十分である。
D	取り組んでいない。

○福岡市総合図書館新ビジョン事業計画一覧表

	図書館像	項目	内容
1	誰もが楽しめる 魅力ある図書館	図書資料の貸出・ 返却拠点の新設	分館の新設
2			貸出・返却拠点等の新設
3		利用時間の拡大	開館時間, 休館日の見直し
4		図書館イベントの充実	図書館イベントの充実
5		快適な空間づくり	やすらぎと交流の場づくり
6			館内レイアウトの変更
7	さまざまな情報を求める 市民に応える図書館	図書館サービスの充実	資料収集の充実
8			レファレンス(相談)サービスの充実
9			情報提供の充実
10			ホームページの複写サービス
11			無線LAN環境の整備
12		地域読書活動への支援	団体貸出先の拡大
13			公民館等の読書活動への支援
14		市関連施設の図書室 の相互協力	議会図書室との連携
15			市施設の図書室との相互協力
16	子どもと本をつないで 豊かな心を育む図書館	子どもへの読書普及	モデル児童図書目録の配布
17			新一年生への貸出カードの付与
18			ヤングアダルト層(12歳~18歳)への広報活動の強化
19			読書活動ボランティア講座の強化
20	学校図書館への支援	学校図書館支援センターの設置	
21	総合図書館の特色を 生かした図書館	映像資料部門の強化	図書館外施設でのアジア映画上映事業
22			広報活動の強化
23		文書資料部門の強化	歴史的公文書のデジタルデータ化及びシステム化
24			古文書資料・郷土資料のデジタルデータ化
25			福岡市文学館の利用拡大
26	効率的で効果的な 図書館運営	図書館運営の強化	運営方法(民間活力の導入)の検討
27			図書館ボランティアとの共働きの推進
28			職員の育成及び技術向上
29			施設の有効活用などによる財源確保
30		情報発信の推進	情報発信の推進

平成30年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館		項目	図書資料の貸出・返却拠点の新設	
内容	分館の新設				
事業計画	地域交流センター等の整備検討に併せて、新たな分館の新設を検討します。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
平成30年度					
計画	平成33年度の施設供用開始に向けて、図書館分館の開館準備業務及び運営業務に関する民間事業者の活用について引き続き検討していく。				
取組状況	2021年(令和3年)11月の早良南地域交流センターの供用開始に向けて、早良南図書館(仮称)の内部仕上りや施設配置等の協議を行うとともに運営方法について検討を進めた。				

内部評価 (平成30年度)	
早良南図書館(仮称)の令和3年度の供用開始に向けて、読書相談員の意見や東図書館の課題を踏まえながら具体的に準備を進めたためA評価とする。	A

外部評価 (平成30年度)	
<ul style="list-style-type: none"> ・図書館サービスを十分に受けられていない地域に新設される早良南図書館(仮称)の開館に向けて、努力検討している。 ・図書館利用の困難な地域に分館ができることは良いことであるがその地域の特性を考えると移動図書館の配備が求められる。しかし、そのことは計画に入っていない。又、司書が建築計画の作成時点で参加していないことも不安材料である。 ・スケジュールにあわせて着実に取り組んでほしい。 ・幅広く地域の利用者、おはなし会などを行う読書ボランティア、利用者と接する図書館職員から意見を聞く機会が必要。利用しやすく魅力ある図書館内のレイアウトにするためには、建物の設計段階から検証を行うことが不可欠である。 ・早良南図書館(仮称)の供用開始に向けて読書相談員の意見と地域の意見も反映させ東図書館の課題を踏まえながら準備を進めてほしい。 	A : 3 B : 2 C : 0 D : 0

前期事業計画(平成26年度～平成30年度)の総括
地域交流センターの整備に併せた図書館分館の新設に時期を逸さず、取り組むことが出来た。協議を進める中で図書館の面積や場所等の確保に最大限努力してきた。今後は、東図書館の課題等を踏まえ検討する。

平成30年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館		項目	図書資料の貸出・返却拠点の新設	
内容	貸出・返却拠点等の新設				
事業計画	図書館サービスが行き届かない地域に対して、交通の便の良い公共施設などに図書の貸出・返却拠点の新設を推進し、図書館利用者の利便性の向上を図ります。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	検討, 協議				
	◇設置		◇設置	◇設置	
平成30年度					
計画	引き続き、新たな貸出・返却拠点等の新設について、随時検討していく。				
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度に貸出・返却拠点として設置した福岡市科学館での実績等を検証した。また、新たな拠点の候補施設を抽出し、関連部署との協議や、新設を見込んだ物流経費等の確保に努めたが、十分な予算が確保できなかった。 拠点設置が効果的な候補施設の検討及び関連調査等を進めた。 				

内部評価 (平成30年度)	
平成29年度に貸出・返却拠点として設置した福岡市科学館での実績等を検証した。また拠点の新設を見込んで物流経費等の確保に努めたが、平成30年度においては予算が見込めず、他の施設における具体的な設置検討に至らなかった。しかし、引き続き拠点設置が効果的な候補施設の検討及び関連調査等を進めてきたためB評価とする。	B

外部評価 (平成30年度)	
<ul style="list-style-type: none"> 貸出・返却拠点の新設が望まれるなか、取組みが停滞している。 新ビジョン事業計画及び成果指標(平成26年度～平成30年度)で目標とした貸出拠点15地点、返却拠点25地点を下回るのは残念である。 図書館のサービスをより身近なものと感じられるよう交通の便の良い場所での貸出・返却サービスの充実を引続き検討していく必要がある。 福岡市科学館での取組みは評価できる。それを踏まえて新たな拠点を選び協議していくことを望む。 貸出・返却拠点設置について効果的な候補施設の検討及び関連調査等を進めてきたが具体的な設置検討まで至っていない。 	A : 0 B : 3 C : 2 D : 0

前期事業計画(平成26年度～平成30年度)の総括	
<p>平成25年度から、返却拠点3地点(木の葉モール橋本, ふくふくプラザ, 九州がんセンター)を新設した。また、少年科学文化会館の貸出・返却拠点を同館の閉館に伴い平成27年に廃止したが、平成29年開館の福岡市科学館に新たに拠点を設置した。今後も利用者の利便性の向上を考慮し貸出・返却拠点の設置を推進する。</p>	

平成30年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館		項目	利用時間の拡大	
内容	開館時間, 休館日の見直し				
事業計画	休館日及び開館時間の見直しを行い, 図書館を利用できる時間を拡大することにより, 図書館利用者の利便性の向上を図ります。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	【休館日】 検討(段階的に実施) →				
	◇全館		◇東		
	【開館時間】 検討(段階的に実施) →				
			◇総合, 東		
平成30年度					
計画	総合図書館及び分館の開館時間, 休館日の見直しについて, これまでの検討結果及び東図書館での実施状況, 成果を検証し, 継続的に検討をすすめていく。				
取組状況	図書館の満足度調査を実施するとともに, 各分館の立地や地域性, 現在の分館の利用状況を踏まえ, 見直しを検討してきた。東図書館の立地や開館時間の延長や休館日の変更に伴う利用者の増要素も加味して検討を行った。				

内部評価 (平成30年度)	
アンケート調査を平成30年度も実施し, 利用者の意見を調査した。具体的な見直しのために分館の立地や地域性などを考慮して検討に着手したためB評価とする。	B

外部評価 (平成30年度)	
<ul style="list-style-type: none"> ・市政アンケート調査の結果, 開館時間の延長を望む割合が2割に満たないが開館日や開館時間の延長に向けた検討材料の収集や着手に時間がかかりすぎている。 ・曜日の問題も含めて, 開館に関しては検討不足である。 ・利用時間の拡大は, 人件費や光熱費などのコストアップに直結する取り組みであり, やみくもにすべきではない。立地や利用特性を把握し効果測定をしつつ慎重に取り組んでほしい。 ・一律ではなく分館ごとに検討し実行に移すことを望む。長年の利用者の要望に応えてほしい。 	<p>A : 1</p> <p>B : 3</p> <p>C : 1</p> <p>D : 0</p>

前期事業計画(平成26年度～平成30年度)の総括	
<p>総合図書館と東図書館において, 開館時間の延長や東図書館の休館日の変更も行った。東図書館は, 利用時間延長等で利用者の利便性は向上したと思われるが, 立地が良いため利用時間延長のためだけとは分析できない。今後は, 各分館ごとに立地や地域性も考慮して検討する。</p>	

平成30年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館	項目	図書館イベントの充実		
内容	図書館イベントの充実				
事業計画	成人を対象とした読書会等を実施し、読書の普及や図書館の活用促進を図ります。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		計画	大人向けイベントの実施		
平成30年度					
計画	総合図書館及び分館において、共通テーマで選んだ各館の蔵書を10月に一斉展示する「図書館マンス」をはじめ、「こどもの読書週間」や「読書週間」などを中心に読書普及につながるイベントを企画・実施する。また、大人を対象とした読書イベントを今後も継続して企画・実施する。				
取組状況	10月の「図書館マンス」において、総合図書館及び分館で「図書館の歩き方」を共通テーマとし、さらに各部門毎にサブテーマを設定して、展示や様々なイベントを実施した。 「こどもの読書週間」においては、ぬいぐるみおはなし会やこどもの日特別おはなし会を開催した。 また、総合図書館や分館で大人向けの読書会を、福岡おはなし会による「大人向けのストーリーテリング」、ポップ製作、落語会、講演会など、大人向けのイベントを実施した。さらに、ヤングアダルト層を対象として、ビブリオバトルやTRPGなどを実施した。 読書行事等イベント(総合図書館・分館1,067回 24,482人 展示(総合図書館)72回				

内部評価

総合図書館及び分館において、「図書館マンス」を始め数多くの様々なイベントを実施することができたのでA評価とする。	A
--	---

外部評価

<ul style="list-style-type: none"> ・10月に行われる図書館マンスを評価する。3, 4館見たが各館、努力し特色を出していた。分館は狭くて目立たないため周知を願う。 ・世代を超えたイベントの開催は評価できる。 ・蔵書と連動させつつイベントを充実してほしい。 ・あらゆる年齢層の人達に興味を持って図書館に足を運んでもらえるように工夫をこらしたイベントが行われ定着してきているので更なる企画を期待する。 ・「図書館マンス」等多くのイベントをいかに広めるかもこれからの課題である。 	A : 5 B : 0 C : 0 D : 0
--	----------------------------------

前期事業計画(平成26年度～平成30年度)の総括

総合図書館で、子ども向けのおはなし会や体験講座、大人向けの講座など、様々な幅広い層に向けイベントを実施した。また、分館においては、地域の特色を生かしたテーマや独自の視点による多様なイベントを実施した。今後も、幅広い層に向けたイベントを推進する。
--

平成30年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館		項目	快適な空間づくり	
内容	やすらぎと交流の場づくり				
事業計画	誰もが気軽に立ち寄り、思い思いの時間を過ごし、くつろぎ楽しむ、潤いややすらぎの場となるよう、エントランスホールや正面玄関前広場等を活用し、快適な空間づくりを行います。 また、広場等を活用したイベントを実施していきます。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
平成30年度					
計画	指定管理者と連携して、快適な空間づくりや来館者のニーズに合ったイベントを企画実施していくとともに、イベントと連動した企画展示などの図書利用促進に向けた取り組みを継続していく。				
取組状況	エントランスホールや会議室にて年間約30件のイベントを開催し、参加者へのアンケートでは、おおむね90%超の満足を得ている。1階飲食コーナーには、コンビニ自動販売機を設置し利用者への利便性向上を図っている。				

内部評価 (平成30年度)	
平成30年12月に指定管理者が総合図書館の来館者300名を対象に実施した利用者アンケートでは、イベントの開催について94.4%が満足していると答えておりA評価とする。	A

外部評価 (平成30年度)	
<ul style="list-style-type: none"> ・総合図書館は、来館者が寛いでいるように見えるので快適な空間づくりはできている。 ・神奈川県大和市の文化拠点施設シリウスにある図書館など参考にしつつ更なる改善を期待する。 ・満足度90%超は極めて優秀だと感じる。 ・「図書館へ行くといつも楽しくくつろげる」と思えるような空間づくりやイベントの企画、広報を今後も進めてほしい。 	<p>A : 5</p> <p>B : 0</p> <p>C : 0</p> <p>D : 0</p>

前期事業計画(平成26年度～平成30年度)の総括
<p>図書館への来館、利用を促すため様々なイベントを開催するとともに軽い談話ができるコーナーづくりなど、場の創出を行ってきた。今後も積極的に図書館利用の促進に向けた取り組みを推進していく。</p>

平成30年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	誰もが楽しめる魅力ある図書館		項目	快適な空間づくり	
内容	館内レイアウトの変更				
事業計画	文学資料エリアのリニューアル、ビデオライブラリーの見直し及びカフェスペースの設置などを行い、図書館の魅力の拡大を図ります。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		検討		◇文学資料エリア、ビデオライブラリー、カフェスペース	
平成30年度					
計画	館内レイアウトの見直しについては、福岡市総合図書館新ビジョンの後期5年間(2019年度～2023年度)の事業計画策定の中で再度検討を進めていく。				
取組状況	従来、赤煉瓦文化館に設置していた文学館を総合図書館内に移設し、図書資料との連携をより充実する。				

内部評価 (平成30年度)

館内レイアウトの見直しについては、文学館の移設に合わせ一部レイアウトの変更を行ったためB評価とする。	B
--	---

外部評価 (平成30年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・館内レイアウトの検討は、「やすらぎと交流の場」としてのコンセプトを基本に人が集まれる場を考えてほしい。 ・後期ビジョンの中で、是非、これまで以上に魅力ある図書館となるよう計画を進めてほしい。 ・展示スペースなど魅力的に見えない。更なる整備を望む。 ・一部レイアウトの変更を行い改善に努められている。 	A : 1 B : 3 C : 1 D : 0
---	----------------------------------

前期事業計画(平成26年度～平成30年度)の総括

文学資料エリアやビデオライブラリーの大規模な見直しには至らなかったが、談話ができるカフェスペースの新設など一定の魅力向上を図ることが出来た。今後は、平成29年度に策定した長期保全計画に基づきレイアウトの変更等を検討する。
--

平成30年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館		項目	図書館サービスの充実	
内容	資料収集の充実				
事業計画	公共図書館としての役割を発揮するため、図書資料の収集方針の見直しを行い、計画的な資料収集に努めるとともに、電子書籍の取り扱いについて検討します。 分館においては、地域の実情にあわせて特色を持たせた資料収集を行っていきます。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	総合収集方針改定		分館収集方針作成		分館収集方針改定・更新
平成30年度					
計画	電子書籍の導入に関しては、業界の動向を踏まえて、検討を継続していく。前期に、総合の収集方針を見直したので、それに基づいて、選書を行う。 分館における資料収集方針については、年度毎に更新することとしており、平成30年度については5月末までに見直しを行う。				
取組状況	令和元年度のシステム更新に向けて、電子書籍システムに対応できるように検討した。導入については、継続して検討を行った。 【総合】収集方針に基づいて、より市民ニーズに応えるように選書を行った。 【分館】分館においては、一般的な資料収集に併せて、地域の実情にあわせた特色を持たせた資料収集も継続。				

内部評価 (平成30年度)	
電子書籍については、継続して検討しており、資料収集について総合図書館では、より市民ニーズを踏まえた収集を行い、分館では地域の実情に合わせた特色を持たせた選書を行っているためA評価とする。	A

外部評価 (平成30年度)	
<ul style="list-style-type: none"> ・分館それぞれに地域の実情にあわせた特色を持たせた選書を行うための予算は確保できるのか。 ・市民一人あたりの蔵書数が1冊強であり利用者アンケートにも新しい本が欲しいとの声もある。更なる充実が求められる。 ・市民ニーズは多様と考えるがあくまでも図書館側で収集方針を定めて、市民の欲求や気づきを引き出せるような蔵書構成にしてほしい。また、蔵書の見せ方・活用も同時並行で進めてほしい。 ・予算の確保に取り組み市民ニーズにあった資料収集の継続を望む。ことに次につながる子どもの本の充実を期待する。電子書籍の導入に関しては、慎重に検討しながら進めてほしい。 	<p>A : 3</p> <p>B : 2</p> <p>C : 0</p> <p>D : 0</p>

前期事業計画(平成26年度～平成30年度)の総括
総合図書館および分館の収集方針を見直し、より市民ニーズの高い本を選書するようにした。また、分館においては、地域の実情に合わせた特色のある資料収集を行なった。今後も収集方針に沿って進めていく。また、電子書籍の導入については、提供可能な資料の量と経費を勘案しながら継続して検討する。

平成30年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	図書館サービスの充実		
内容	レファレンス(相談)サービスの充実				
事業計画	電子メールによるレファレンスサービスを実施し、利用者への図書館サービスの充実と利便性の向上を図ります。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	検討				
	システム対応	電子メールによるレファレンスサービス			
平成30年度					
計画	引き続き、レファレンス(相談)サービスの充実を図っていく。				
取組状況	平成28年8月より、電子メールによるレファレンスサービスを開始。図書館HPのトップページにある「調査・相談(レファレンス)」の「電子メールでのご相談」コーナーから問い合わせができる。利用実績は、図書資料関連では、46件(29年度)→50件(30年度)に、文書資料・郷土資料関連では、20件(29年度)→38件(30年度)に増加した。				

内部評価

メールレファレンスについての広報活動により利用が広がっており、A評価とする。	A
--	---

外部評価

<ul style="list-style-type: none"> ・総合図書館のレファレンスサービスは良いと感じている。充実したレファレンスサービスを受けられるよう広報活動を続けてほしい。 ・電子メールでのレファレンスは、当初の目標1,500件に対し、利用案内も含め83件と大きな乖離がある。 ・レファレンスの基本は、対面・対話であるが問合せ窓口の多様化という点でメールレファレンスに対応している点は、評価できる。 ・レファレンス利用の啓発・広報に更なる工夫を望む。 ・メールレファレンスについての広報活動により活用が広がっている。 	A : 4 B : 1 C : 0 D : 0
---	----------------------------------

前期事業計画(平成26年度～平成30年度)の総括

<p>平成28年度途中からのメールレファレンスを開始し、当初は伸び悩んだが着実に利用件数が増えており、レファレンスの新たな在り方として定着してきた。今後もメールレファレンスを継続するとともに、レファレンスサービスのさらなる充実を図っていく。</p>
--

平成30年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	図書館サービスの充実	
内容	情報提供の充実			
事業計画	ビジネス支援や子育て支援などの課題解決に対して、本市関係部局及び国・県等関係機関と連携を図りながら、図書館資料を活用した展示等の情報提供などを行っていきます。			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	計画	ビジネス支援等の情報提供		
平成30年度				
計画	ビジネス支援などの課題解決に対して、本市関係部局及び国・県等関係機関と連携を図り、引き続き図書館資料を活用した情報提供の充実を図る。 ビジネス支援及び医療情報支援について継続実施するとともに、さらに暮らしに密着した情報等について支援を検討していく。			
取組状況	<p>○ビジネス支援として、毎月第2・第4日曜日に中小企業診断士による起業・経営相談会を開催した。 年間開催数 72回(3回/日×24日) 13件申込、起業相談が約9割 相談会開催については11月15日号の市政だよりで広報し、図書館ホームページでは毎月周知を図った。</p> <p>○医療情報の提供として、総合図書館、分館で九州がんセンター及び済生会福岡総合病院から医師等を講師として 招き講演会を開催した。</p> <p>①総合図書館:H30. 4.22(日):笑いのがんと肝臓病について 54人参加 H30.10.20(土):緩和ケアとACPについて 32人参加</p> <p>②和白図書館:H30.9.19(水)肺がん H30.11.14(水)乳がん 計44人参加</p> <p>③博多南図書館:H30.7.12(木)胃がん 27人参加</p> <p>④中央図書館:H30.10.19(金)大腸がん H31.1.16肺がん 計84人参加</p> <p>⑤西部図書館:H30.11.11(日)健康講座「がんの予防」 12人参加</p> <p>○関係部局と連携して展示を行い、パンフレットの配布などにより、市の事業、新たな制度、相談窓口等の情報提供を行った。 情報提供を行った展示件数 51件</p>			
内部評価 (平成30年度)				
計画どおり実施していることから、A評価とする。				A
外部評価 (平成30年度)				
<p>・多方面の支援が広がれば良いと思うが現段階でもいろいろ取り組まれ努力している。</p> <p>・文部科学省は、①ビジネス支援②行政情報提供③医療情報提供④法務関連情報提供⑤学校教育支援(子育て支援含む)⑥地域情報・地域文化発信の情報提供を目標としている。②④も含めて更なる努力を期待する。</p> <p>・課題解決や自己実現に対する貢献が図書館の重要な役割なので他部局の施策と効果的に連動させながら更なる充実を図ってほしい。</p> <p>・子育て支援など市民の暮らしに寄り添うような情報提供や支援も充実させてほしい。</p>				<p>A : 5</p> <p>B : 0</p> <p>C : 0</p> <p>D : 0</p>
前期事業計画(平成26年度～平成30年度)の総括				
<p>起業・経営相談、がんの講演会、関係部局との連携展示などを着実に実施できた。今後も、課題解決型支援の充実に取り組んでいく。</p>				

平成30年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	図書館サービスの充実			
内容	ホームページの複写サービス					
事業計画	福岡市及び国等のホームページに掲載されたインターネット情報を利用者の調査研究に役立てるため、同資料を収集し、複写サービスを提供します。					
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	試行	ホームページ等の複写サービス				
平成30年度						
計画	福岡市及び国等のホームページに掲載されたインターネット情報を利用者の調査研究に役立てるため、引き続き複写サービスを提供する。					
取組状況	福岡市及び国等のホームページに掲載されたインターネット情報を利用者の調査研究に役立てるため、複写サービスの提供を行った。 平成30年度受付件数27件					

内部評価 (平成30年度)

計画どおり実施していることから、A評価とする。	A
-------------------------	---

外部評価 (平成30年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度より5件増えその継続を評価する。 ・利用者に周知されていると言い難い。広報の手段は充分だったのか。 ・複写サービスの提供の継続を評価する。広報が必要だと感じている。 	A : 5 B : 0 C : 0 D : 0
---	----------------------------------

前期事業計画(平成26年度～平成30年度)の総括

レファレンスにおいて、参考資料の一つとして複写を行ない、利用者に手渡す仕組みを確立したため、後期の目標とはしない。

平成30年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	図書館サービスの充実		
内容	無線LAN環境の整備				
事業計画	<p>利用者の調査・研究の補助として、個人持ち込みの端末機器(ノートパソコン、タブレット、スマートフォン等)が利用できるよう、公衆無線LAN「Fukuoka City Wi-Fi」によるインターネット環境を整備し、利用者の利便性の向上を図ります。</p> <p>なお、分館については、施設管理者と検討を進めます。</p>				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	検討, 協議				
	◇総合		◇分館 (1館)	◇分館 (3館)	◇分館 (3館)
平成30年度					
計画	各分館が入居する市民センターなどの施設を所管している市民局と、引き続き無線LANの設置について協議を行っていく。				
取組状況	市民センター・地域交流センターへの「Fukuoka City Wi-Fi」の導入が進んでおらず、平成30年度で新規に開設したものはなかった。				

内部評価 (平成30年度)

事業計画のどおりに事業実施ができなかったためC評価とする。

C

外部評価 (平成30年度)

- ・導入に時間がかかっている。
- ・計画通りに進める努力を希望する。
- ・インターネット利用環境は、図書館サービスとして必須であり早急な対応を強く働きかけていくべきである。
- ・すべての館でWi-Fiの導入は急務であり早急に取り組み実現することを望む。
- ・事業計画通りに事業が実施できていない。

A : 0

B : 0

C : 5

D : 0

前期事業計画(平成26年度～平成30年度)の総括

総合図書館においては、「Fukuoka City Wi-Fi」を設置し利用に供しているが分館については、市民センターや地域交流センターへの整備がなされていないことから未導入である。今後は、各分館での利用者ニーズと対費用効果を勘案し、導入について検討は行うが後期の目標設定はしない。

平成30年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	地域読書活動への支援			
内容	団体貸出先の拡大					
事業計画	図書館利用が困難である施設入所者等への団体貸出を実施し、団体貸出サービスの充実を図ります。団体貸出先については、高齢者施設や病院などに広報活動を行い、貸出先を拡充。					
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	検討	団体貸出先の拡大				
平成30年度						
計画	平成30年度目標登録団体数の390団体に向けて拡大への取り組みを進める。					
取組状況	団体貸出の登録団体は平成30年度末時点で396団体となり、平成29年度に比較して10団体増加した。また、地域文庫交流会で未登録の公民館関係者に対する広報活動を実施した。					

内部評価 (平成30年度)

平成30年度目標登録団体数の390団体を超える396団体を登録することができたためA評価とする。	A
--	---

外部評価 (平成30年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・団体貸出の登録が年々増えているのは喜ばしい。高齢者施設へ行き話を聞いたが入所者に喜ばれていた。一層の広報と資料の充実は欠かせないと思う。 ・高齢者施設数、病院等の貸出先の内訳の公開を望む。 ・団体貸出は図書へのアクセシビリティ向上にとって大切なので、効果的に進めてほしい。 ・登録団体の増加を評価するとともに図書資料の充実と確保を望む。また、歩いて行ける公民館や留守家庭子ども会への広報を強化してほしい。 ・目標を超えることができた。 	A : 5 B : 0 C : 0 D : 0
--	----------------------------------

前期事業計画(平成26年度～平成30年度)の総括

登録団体数は継続して増加している。今後も安定して事業を継続していくため、制度周知に努めるとともに蔵書の充実を図るなど、重点的に取り組んでいく。

平成30年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	地域読書活動への支援		
内容	公民館等の読書活動への支援				
事業計画	地域において読書活動を行っている公民館や留守家庭子ども会等を訪問して、図書コーナー(室)の運営や環境整備への助言や支援等を行います。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		協議	公民館等への支援		
平成30年度					
計画	<p>地域における読書活動の支援は、第3次福岡市子ども読書活動推進計画において重点的に取り組むべき施策と位置付けられ、関係各課と連携して取り組みを進める。</p> <p>また、留守家庭子ども会など選本に来館することが困難な団体に対する支援として、セット本以外の蔵書も利用できるように、登録団体に団体部門の蔵書検索を可能にできないか引き続き検討を行う。</p>				
取組状況	<p>公民館への読書活動支援について生涯学習課と連携して、昨年度に引き続き地域文庫交流会を、日程や会場を参加しやすいよう工夫したうえで、生涯学習課主催の「公民館文庫活動実践報告・交流会」と併せて共同開催し、支援の拡大を図った。団体貸出における公民館の登録数は61団体であり、平成29年度と同数であった。</p> <p>団体貸出部門の蔵書検索をホームページ上でできるようにするには、多大な開発経費を要することが判明した。</p> <p>地域の読書活動団体への訪問や講座開催などの新たな支援について検討に着手した。</p>				

内部評価(平成30年度)

公民館等の読書活動への支援について関係課と連携し、昨年に引き続き地域文庫交流会を生涯学習課と共同で開催するとともに、新たな支援について検討に着手するなど取り組みを進めたが、成果が不十分な面もあるためB評価とする。	B
--	---

外部評価(平成30年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・訪問支援やニーズの高い講座の開催の取り組みが進むことを願う。 ・公民館との連携を密にする努力を継続してほしい。 ・公民館や留守家庭子ども会は、図書との出会いの場として重要なので引き続き関係性を深め、各所のニーズや希望に応じた対応ができるように検討を進めてほしい。 ・利用しやすい工夫を進め引き続き取り組んでほしい。団体部門の蔵書検索に関しては代案はないだろうか。経験ある読書ボランティアを地域団体へ派遣することは読書活動支援に効果があると思う。 ・成果に不十分な面がある。 	A : 0 B : 5 C : 0 D : 0
---	----------------------------------

前期事業計画(平成26年度～平成30年度)の総括

<p>公民館への支援を強化するため、公民館と地域文庫をつなぐ事業に取り組んできたが、今後は地域の読書活動団体への訪問支援やニーズの高い講座開催など、新たな支援にも段階的に取り組んでいく。</p>

平成30年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	市関連施設の図書室の相互協力			
内容	議会図書室との連携					
事業計画	議会図書室と連携し、議会における政策、立案等の調査・研究を支援します。					
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	協議	議会図書室との連携				
平成30年度						
計画	引き続き議会図書室への図書資料の貸出による支援を実施する。					
取組状況	平成26年度から、議会図書室を通じて市議会議員及び市職員への図書資料の貸出による支援を実施している。 市役所各所属への周知については、議会図書室と協力し、毎月、制度についての広報を実施している。					

内部評価

議会図書室への図書資料の貸出による支援は継続したが、貸出冊数が前年を下回ったため、B評価とする。 29年度 24件 38冊 30年度 12件 16冊	B
--	---

外部評価

<ul style="list-style-type: none"> ・利用者が限定的とあまり熱心さが無い。 ・図書館の行政支援、立法支援はサービス内容から欠かすことが出来ない。後期の目標から外すことは誤りである。 ・議会図書室(議員)が求めるニーズを拾い上げプッシュ型での働きかけを検討してほしい。また、行政情報の分野での包括的な連携の可能性についても模索してほしい。 ・議会への情報提供と支援は市政の向上に寄与する。さらなるPRとアプローチを望む。 ・貸出冊数が前年度を下回っている。 	A : 0 B : 4 C : 1 D : 0
---	----------------------------------

前期事業計画(平成26年度～平成30年度)の総括

平成26年度から開始したが利用者は限定的である。後期は、引き続き広報に努めるが目標の設定はしない。

平成30年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	さまざまな情報を求める市民に応える図書館	項目	市関連施設の図書室の相互協力		
内容	市施設の図書室との相互協力				
事業計画	少年科学文化会館及びふくふくプラザなどとの連携, 相互協力化を検討します。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		検討, 協議			連携
平成30年度					
計画	現在連携を行っていない市施設との相互協力化を検討する。				
取組状況	平成29年10月に連携を開始した福岡市科学館・サイエンスナビ(図書室)において, 分館を含めた総合図書館の図書資料の貸出・返却を引き続き実施するとともに, 夏休み期間にサイエンスナビにおいて総合図書館の科学関連児童図書の展示を行った。科学館の実施状況を踏まえ, 新たな市関連施設図書室との連携の可能性について検討を行った。				

内部評価 (平成30年度)

福岡市科学館(図書室)での利用の増加を図ることができたため, A評価とする。 平成30年度 利用者数 12,669人 貸出冊数 28,556冊 返却冊数 35,712冊 (平成27年度 利用者数 2,587人 貸出冊数 5,305冊 返却冊数 6,777冊)	A
---	---

外部評価 (平成30年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・市施設の図書館との相互協力が進んでいるが今後も進めてほしい。「あすみん」にも図書を置いてほしい。 ・今後の更なる充実を期待する。 ・福岡市科学館との連携は効果的であり, 高く評価できる。例えば福岡市の他部局のスタートアップカフェやエンジニアカフェなどでの連携も検討すべきである。 ・福岡市科学館との連携の実績を足がかりに他の施設での取組みに着手し拡げてほしい。 ・福岡市科学館(図書室)での利用の増加を図ることができた。 	A : 5 B : 0 C : 0 D : 0
---	----------------------------------

前期事業計画(平成26年度～平成30年度)の総括

平成27年度から, ふくふくプラザで図書資料の返却を開始。また, 少年科学文化会館の閉館に伴い廃止予定であった貸出・返却拠点としての機能を, 福岡市科学館に引き継いで実施した。また, 連携を行っていない市施設の図書室との相互協力化については検討を継続した。今後も, 市関連施設との連携について検討する。

平成30年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館	項目	子どもへの読書普及	
内容	モデル児童図書目録の配布			
事業計画	子どもたちやその保護者等が子どもの本を選ぶ目安として、各年齢層に応じた本を紹介したリストを配布し、子どもの読書推進に寄与します。			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	幼児用 作成	◇配布 【モデル児童図書リスト】 検討, 協議	H28版 作成	◇配布
				H29版 作成
				◇配布 H30版 作成
平成30年度				
計画	モデル児童図書リストの内容を順次充実を図り、関係機関(保育園, 小学校, 公民館等)に配付し、掲載図書を展示, 貸出を行う。 また、おはなし会等の催しにおいて掲載図書を紹介し、リストの活用や貸出を促す。			
取組状況	見直しを行ったモデル児童図書リストの配付(約2,800部)を行うとともに、カウンターでのレファレンスのツールとして有効に活用した。また、従来のモデル児童図書目録掲載図書に加え、リスト掲載図書の展示, 貸出を行った。			
内部評価 (平成30年度)				
モデル児童図書を展示し、貸出を継続して行うとともに、見直しを行ったモデル児童図書リストの配付を行って、掲載図書の貸出の増加を図ることができたためA評価とする。				A
外部評価 (平成30年度)				
<ul style="list-style-type: none"> ・モデル児童図書目録は、優れているので継続してほしい。 ・以前、発行していた「モデル児童図書目録」もホームページからダウンロード出来るようにしてほしい。 ・掲載図書の貸出が増加したということでリストの効果が出ていると考えられ評価できる。 ・モデル児童図書目録の選書やリストの配布は、評価できる。継続するとともにリスト掲載の本の充実を望む。 ・掲載図書の貸出の増加を図ることができた。 				A : 4 B : 1 C : 0 D : 0
前期事業計画(平成26年度～平成30年度)の総括				
モデル児童図書目録については、長年にわたり大きな役割を果たしてきたが、子どもが興味を抱く様々な分野の比較的新しい本をタイムリーに届ける為に、制約のある冊子形態を毎年発行するリーフレット形態に改め、従来の目録と合わせて紹介していくよう見直しを実施した。今後も各年齢層に応じた本を紹介したリストを配布する。				

平成30年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館	項目	子どもへの読書普及		
内容	新一年生への貸出カードの付与				
事業計画	新一年生のうち図書館の貸出カードを所有していない児童を対象として、貸出カードを付与することにより、読書の普及等を図ります。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
		検討, 協議	貸出カードの付与		
平成30年度					
計画	平成29年度の状況を踏まえ、継続して行うか検討し判断する。 また、小学校2, 3年生を対象とした図書館見学, 読書リーダー養成講座や図書館の達人講座など児童を対象としたイベントの際に貸出カードの作成を促す手法等について検討・実施する。				
取組状況	平成29年度に試験的に小・中学校各1校の全児童・生徒を対象に、貸出カードの作成に関する案内等を実施したが、貸出カードは個人情報元にした申請が必要で、図書館並びに学校側で手間暇を要する割にはほとんど申請に繋がらなかったことから、同様の手法による取り組みは継続しないこととした。従来の小学生の図書館見学の際に指定管理者が実施している貸出カード作成の呼びかけに加えて、「小学生読書リーダー養成講座」などの研修・イベントの際に貸出カードの作成を促す取り組みに着手した。				
内部評価 (平成30年度)					
様々な機会をとらえて貸出カードの作成を促したが、具体的成果が不明のため、C評価とする。				C	
外部評価 (平成30年度)					
<ul style="list-style-type: none"> ・取り組んだ成果がなく残念である。貸出カードの作成が進み図書館に来て本に出会う機会をつくるよう方策を試してほしい。 ・新一年生に貸出カードを発行する取組みはシンボリックであるが、難しい取組みであることも見えてきたため「図書を借りたい」「図書館に行きたい」と思ったタイミングを捉えて学年を問わず発行につながる取組みへシフトすべきである。 ・子どもが図書館へ行って本を借りたいと思うような又、大人(保護者)が子どもを本好きに思うようなイベントや研修と貸出カード作成を促すなど図書館利用を増やしていく取組みと合わせて行うなど工夫が必要と考える。 ・具体的な成果が不明。 				A : 0 B : 1 C : 4 D : 0	
前期事業計画(平成26年度～平成30年度)の総括					
<p>新一年生への貸出カードの付与については、平成27年度に検討を行い、個人情報上の観点から一律に作成配布することはできないと判断され、平成28年度に各小学校長に対し登録の手続きの案内を送付し保護者への配布を依頼したが、登録は137名に留まった。そのため、平成29年度は更にモデル校2校(小中各1校)について新1年制だけでなく全生徒への配布を試行したが、新1年生が全体で90名、モデル校の登録は僅か4名に留まった。学校を通じて保護者に案内を配布する手法では業務量と経費のわりにわずかな登録に留まり、様々な機会に呼びかける手法に転換した。今後は、1年生に限定せず貸出カードの作成を推進する。</p>					

平成30年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館	項目	子どもへの読書普及	
内容	ヤングアダルト層(12歳~18歳)への広報活動の強化			
事業計画	総合図書館内にヤングアダルトコーナーを設置し、推薦図書の見出し等を実施するとともに、ヤングアダルト向けの推薦図書に関するリストを作成・配布することで、読書普及のための広報を実施します。			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	継続的に広報の強化			
平成30年度				
計画	従来の対応を継続することに加え、他の政令指定都市立図書館の取り組み等を参考に、ヤングアダルト層に対する広報活動を充実する企画を立案し、実施に向けて作業を進める。 また、市立高等学校を対象に、総合図書館の一般書架の図書資料を調べ学習用に貸出する制度を継続する。			
取組状況	推薦図書の見出しやリスト配布に加え、新たに、ビブリオバトルやTRPG、読書会などヤングアダルト層の読書活動の促進に資するイベントを実施した。また、市立高等学校を対象に、総合図書館の一般書架の図書資料を調べ学習用に貸出する制度を実施した。(3高等学校 191冊貸出:3月末現在) 12月1日には、よかたい図書館共同事業体と共催して初めて全国高等学校ビブリオバトル福岡県大会を開催し、15校が参加した。			

内部評価 (平成30年度)	
従来の対応に留まらず、ビブリオバトルなど、新しくヤングアダルト層の読書活動の促進につながるイベントを開始し、今後の拡大が期待できるものとなったためA評価とする。	A

外部評価 (平成30年度)	
<ul style="list-style-type: none"> ・分館のヤングアダルト書架を見て良いコーナーだと感じている。これからも継続して広報活動の促進に努めてほしい。 ・中学校、高校と連携し、図書館見学を増やすようにしてほしい。 ・高校受験や大学受験などと連動させた企画で歴史や地理、文学、古典、理科など教科書に出てくる内容の原典や参考書籍に出会える機会をつくり、理解や知識を深める取組みをしてはどうか。また、関心が高まっているプログラミングなどの理解を助けるようなコーナーも検討してほしい。 ・ヤングアダルト層の読書活動促進のためのイベントの開催など取組みは評価できる。それをどう拡げていくかが次の課題である。更なる取組みを望む。 	<p>A : 3</p> <p>B : 2</p> <p>C : 0</p> <p>D : 0</p>

前期事業計画(平成26年度~平成30年度)の総括	
ヤングアダルト向けのイベントとして、TRPG、ボードゲーム、ビブリオバトルなどを実施し、中高生向けの読書活動推進を図った。今後も広報やイベントを充実させ、中高生に訴求する資料収集を進める。	

平成30年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館	項目	子どもへの読書普及	
内容	読書活動ボランティア講座の強化			
事業計画	読書活動ボランティア講座を開催し、学校や地域等幅広いボランティアを養成して、地域の読書活動の推進に寄与します。			
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	準備	初心者向け講座(→絵本の読み聞かせコース)の実施		
	準備	経験者向け講座(→ストーリーテリングコース)の実施		
平成30年度				
計画	平成30年5月～6月に絵本の読み聞かせコースを、平成30年9月～11月にストーリーテリングコースをそれぞれ実施する。また、平成31年2月に反復練習のためのおさらい会を実施する。講座受講者には、受講後に地域文庫MAPを配布し、地域での活動参加につなげる。			
取組状況	平成30年5月～6月に絵本の読み聞かせコース(4日間、100名)を実施し、平成30年9月～11月にストーリーテリングコース(4日間、60名)を実施し、併せて延べ540名の参加があった。講座受講者には、福岡市内で活動している文庫団体の活動拠点を掲載した地域文庫MAPを配布し情報提供を行った。また、昨年に引き続き平成31年2月にストーリーテリングコースのおさらい会(1日間、参加18名)を実施した。			

内部評価 (平成30年度)	
計画通りに進捗しているためA評価とする。	A

外部評価 (平成30年度)	
<ul style="list-style-type: none"> ・読書活動ボランティア講座の開催は、成果を上げている。 ・順調に計画が進んでいる。 ・高評価なので読書活動ボランティアの方々のニーズや希望に則してコースメニューに工夫をこらしつつ継続的に推進してほしい。 ・総合図書館での読書ボランティア講座は充実してきていると評価できる。身近なところで学ぶ機会があると更に良いと考える。 	A : 5 B : 0 C : 0 D : 0

前期事業計画(平成26年度～平成30年度)の総括
本講座は毎年募集人員いっぱいの熱心な参加者があり、さまざまな読書活動団体から、読書活動を支える人材の育成に役立っているとの評価を得ている。今後も、学校や地域等幅広いボランティアを養成し、地域の読書活動の推進に寄与する。

平成30年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	子どもと本をつないで豊かな心を育む図書館		項目	学校図書館への支援	
内容	学校図書館支援センターの設置				
事業計画	総合図書館内に学校図書館支援センターを設置し、学校図書館への人的・物的支援を行います。 ・学校図書館への運営等に関する指導、助言 ・学校図書館の図書への選書や助言 学校図書館支援センターについては、学校指導課と連携して、学校図書館を支援していきます。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	準備	学校図書館への支援			
		図書の配送			
ホームページ運用					
平成30年度					
計画	平成29年度までの3か年に実施した学校訪問や相談対応、貸出実績等を基に、今後の取り組みの方向性について検討し、より学校現場の需要にマッチした支援が行えるよう努める。また「小学生読書リーダー養成講座」については、昨年度に引き続き3日間の開催とする。				
取組状況	平成29年度に市内全小中校への学校訪問が実施できたため、平成30年度は要請訪問を中心に47回の訪問を実施した。小学生用の学習支援用図書貸出については、55校から148回の利用があり、5,641冊貸出した。中学生用の学習支援図書貸出については本年度は11回、497冊の貸し出しを行った。 また、市内小学校5・6年生を対象に、受講した児童を「小学生読書リーダー」に認定する「小学生読書リーダー養成講座」については、6月に3日間開催し、71校から231名の参加があった。				

内部評価 (平成30年度)	
中学校向けの支援について登録及び貸出とも伸び悩んでおり、更なる周知が必要であるが、概ね計画通りに進捗し、小学校向け支援用図書の貸出についても貸出用資料冊数の制限がある中で安定して貸し出しを行っており、事業の認知と活用が進んでいるためA評価とする。	A

外部評価 (平成30年度)	
<ul style="list-style-type: none"> ・小学生用の学習支援用図書の貸出が平成29年度より減少しているのは何故か。中学校は増えているが、活動に工夫の余地があるのではないか。 ・中学校向けの支援を更に進めてほしい。 ・市内の小中学校の図書館とのつながりの深さは高く評価できる。引続き学校司書、司書教諭、小学生読書リーダーに役立つ取組みを進めてほしい。 ・取組みは評価できるが中学校向けの更なる支援がますます必要となっている。又、絵本から児童書へという大切な8歳～9歳の小学生への支援の強化も望まれる。 ・今後の課題、改善に期待したい。 	A : 1 B : 4 C : 0 D : 0

前期事業計画(平成26年度～平成30年度)の総括	
平成27年度より順次支援を開始し、制度の広報を機会あるごとに継続的に実施することで事業の認知と利用の拡大を図ってきたところである。今後とも、多忙な学校司書並びに司書教諭にとって使いやすく、必要とされる支援を推進する。	

平成30年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	総合図書館の特色を生かした図書館	項目	映像資料部門の強化		
内容	図書館外施設でのアジア映画上映事業				
事業計画	総合図書館が収蔵するアジア映画の作品を、図書館以外の市の施設で上映し、フィルムの有効化を図るとともに、映像文化の普及・振興・市民サービスの促進を行います。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
平成30年度					
計画	事業名称:「こんにちは！ シネラです」 開催日時:平成30年12月9日(日) 会場:あじびホール(博多区下川端町)				
取組状況	事業名称:「こんにちは！ シネラです」 ・場 所……………あじびホール(博多区下川端町) ・日 時……………平成30年12月9日(日) ・入場者数……………55人/日 ・上映回数……………2回 ・上映作品……………「浄土アニヤン」(韓国映画),「クルドサック」(インドネシア映画)				

内部評価 (平成30年度)	
総合図書館外での上映は、収蔵しているアジア映画の有効化を図るとともに、映像文化の普及・振興・市民サービスの促進のため実施してきた。 シネラ(アジア映画)を遠く感じている市民の方にも、より身近な市の施設を利用してアジア映画を上映して、新たなシネラ観客を開拓するという、ある程度の広報成果をあげてきた。 平成30年度は各区市民センターでの上映ではなく、都心部にあるアジア美術館の企画展の一環として、企画内容に沿った作品の上映を同美術館内ホールで実施した。 前年度よりも観賞客数は減少したものの、アジア美術に興味を持っている新たな観客層に対して、アジア映画観賞の機会を提供することが出来たためB評価とする。	B

外部評価 (平成30年度)	
・あじびホールでのアジア映画の上映は、最適な場所である。年に何回かの上映を固定して特色を出してほしい。また、広報にも努めてほしい。 ・目標とした2回/年、100人/年に届かないのは何故か。原因を明らかにし次に進んでほしい。 ・アジア映画のアジア美術館での上映は良いコラボである。定着まで時間がかかるが継続的に忍耐強く取り組み、将来的に福岡市ならではの目玉プロジェクトにしてほしい。 ・図書館外で上映する機会を増やし通常の図書館上映の周知をするなど広報を工夫されることを望む。	A : 1 B : 4 C : 0 D : 0

前期事業計画(平成26年度～平成30年度)の総括	
総合図書館が収蔵するアジア映画の作品を館外で上映して、フィルムの有効化とアジアの映像文化の普及・振興を図ってきたが、これまでアジア映画を観たことが無かった人や、総合図書館が映画保存施設であることを知らなかった人、距離が離れていてシネラに来たことが無かった人が鑑賞したことにより、アジア映画文化の普及・振興の一助となった。 今後は、アジア映画の館外上映についての新たな手法等を模索すると共に、福岡市フィルム・アーカイヴが収蔵する地域映像等を積極的に市民に公開していく。	

平成30年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	総合図書館の特色を生かした図書館	項目	映像資料部門の強化		
内容	広報活動の強化				
事業計画	総合図書館が収蔵するアジア映画等のポスターを、1階ショーケース等において展示し、映像文化の普及・振興・市民サービスの促進を行います。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	ポスターの展示				
平成30年度					
計画	平成30年12月1日～24日まで開催する「インド映画特集」に併せて、当館に収蔵するインド映画の貴重な映画のポスター等を、1階ショーケースに展示する。				
取組状況	展示期間……平成30年11月30日(金)～12月26日(水) 展示内容……12月1日(土)～12月24日(月・休)まで開催した「インド映画特集」に併せて、当館に収蔵するインド映画の貴重な映画のポスター等を、1階ショーケースに展示した。				

内部評価 (平成30年度)	
既に製作国にさえ現存していないような貴重な紙資料を中心に、来館者の興味を掻き立て、インド映画特集の観覧者には、インド映画に対する理解と関心をさらに深めるような展示を行った。立ち止まって、鑑賞された来館者の姿を多く見ることが出来た。	B

外部評価 (平成30年度)	
<ul style="list-style-type: none"> ・タイ、マレーシア、シンガポール、インド映画と続きこれからどの国の映画が上映されるか楽しみである。また、シネラホールの前ショーケースに展示されたポスターは、興味深く見ている。 ・計画通りに実行できた。 ・取組みは非常に面白いと思う。福岡市らしさもあるがコアなファン層にいかにか情報を届けるかは、検討を続ける必要がある。 ・更なる広報の工夫と強化を望む。 	A : 3 B : 2 C : 0 D : 0

前期事業計画(平成26年度～平成30年度)の総括	
毎年、映像ホール・シネラの特集企画に併せて、総合図書館が収蔵するアジア映画のポスター等の貴重な紙資料を展示してきたことにより、映画を観た人だけでなく図書館を借りに来た人にも、アジア映画のポスターを見て興味を持っていただくことが出来た。 今後も、福岡市フィルム・アーカイヴが収蔵する映像資料、紙資料及び他の貴重な資料等について、より積極的に公開のしていく。	

平成30年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	総合図書館の特色を生かした図書館	項目	文書資料部門の強化		
内容	歴史的公文書のデジタルデータ化及びシステム化				
事業計画	総合図書館ホームページを活用し、インターネットによる情報提供の充実を図ります。 また、保存期間満了の福岡市作成の公文書のうち、歴史的公文書として残す資料の選出や関係課との移管協議文書作成など、収集に係る事務手続き及び検索について、システム化を図ります。 ・歴史的公文書目録検索 ・現在マイクロフィルム撮影にて複製保存している歴史的公文書の一部デジタルデータ化 ・公開できる歴史的公文書をデジタルデータにて公開 ・歴史的公文書管理システムの構築 ・公文書検索のシステム化				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	データ化 目録掲載	デジタルデータ化検討		デジタルデータ化	
	システム化 業務分析	協議	システム検討		公開 運用
平成 30 年 度					
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○引き続き、デジタルデータ掲載に向けたホームページの改修について館内で検討を行う。 ○歴史的公文書に係る展示をデジタルデータ化した資料を活用して定期的に行い、公文書館活動について普及啓発を図る。 ○引き続き歴史的公文書管理システム等について関係部局と協議検討を行う。 				
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○広報写真等の選定を行い、デジタルデータ掲載に向けたホームページの改修について検討を行った。 ○「昭和の福岡市再開発事業」をテーマに歴史的公文書の展示を行い、一部資料をデジタルデータ化して展示(PCで閲覧等)するとともに、展示概要のしおりをホームページで公開した。(入場者数計715人) 				

内部評価 (平成30年度)	
<ul style="list-style-type: none"> ○デジタルデータ化及びその提供のあり方については、今後も調査・検討が必要。 ○歴史的公文書展示の入場者も増加している。デジタルデータ化した資料の展示により、内容充実及び理解促進が図られ、当館の公文書機能についてアピールできた。 ○歴史的公文書の移管等については、関係部局からの移管が進んでおらず、引き続き協議を行う必要がある。以上のことから、B評価とする。 	B

外部評価 (平成30年度)	
<ul style="list-style-type: none"> ・着実に引き続き関係部局と協議を進めてほしい。 ・公文書の移管を円滑に行うためには、条例で公文書について総合図書館に移管することを進めないと抜本的解決には至らない。 ・写真や地図などデジタルデータ化で利活用が広がるようなものを優先的に取り組んでほしい。 ・公文書館としての役割を果たす取組みを継続していることを評価する。歴史的公文書への取り組みも協議しながら進めてほしい。 	A : 0 B : 4 C : 1 D : 0

前期事業計画(平成26年度～平成30年度)の総括	
総合図書館ホームページに公文書目録をPDFファイルで掲載し、公文書の検索機能を強化した。また、デジタルデータ化した歴史的公文書等を活用した展示により、公文書館機能の理解促進を図ることができた。しかし、歴史的公文書管理システムの構築については総務企画局における文書管理システムの更新に併せて検討することとしていたが、システムの更新の予定がないため検討には至らなかった。今後も、デジタルデータ化及びその提供のあり方について、調査・検討していく。	

平成30年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	総合図書館の特色を生かした図書館	項目	文書資料部門の強化		
内容	古文書資料・郷土資料のデジタルデータ化				
事業計画	福岡の歴史に係わる古文書資料や郷土資料等のデジタルデータを作成し、情報提供の充実を図ります。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	検討, 準備		試験撮影		
平成30年度					
計画	<p>○平成30年度に収集する古文書資料約2,000点を、1点ごとに整理・マイクロ撮影し、『古文書資料目録24』に掲載する事業と並行して、一部をデジタル撮影する。</p> <p>○目録およびデジタル化した資料画像を館内に設置した端末で公開する方法を検討するとともに、HP上で公開するためのHPの改修について、さらに検討する。</p>				
取組状況	<p>○平成30年度に収集した古文書資料2,406点を、1点ごとに整理・マイクロ撮影し、『古文書資料目録24』に掲載した。</p> <p>○古文書資料・郷土資料のデジタル画像1,428コマを作成し、一部を館内の端末およびHP上で公開したが、HPの改修については進展していない。</p>				

内部評価 (平成30年度)

<p>マイクロ撮影は計画通りに作成することができた。デジタル画像は予定を大幅に超える数量を作成することができたが、公開はごく一部にとどまっているため、B評価とする。</p>	B
--	---

外部評価 (平成30年度)

<ul style="list-style-type: none"> ・デジタル画像の公開に向けて協議等着実に進めてほしい。 ・デジタル画像を公開するのに、総合図書館のサーバーの容量は足りるのか。 ・デジタルデータ化はコスト面で取組みを進めていくことが難しいと考えるがデジタルデータ化した後の利活用シーンを考え、優先度を定めつつ利用しやすい形で取組みを進めてほしい。 ・情報提供の実現のため経費の確保を望む。 ・コストの問題はあるが、データ化して公開に期待したい。 	<p>A : 0</p> <p>B : 4</p> <p>C : 1</p> <p>D : 0</p>
---	---

前期事業計画(平成26年度～平成30年度)の総括

<p>平成26・27年度に先進館視察や研修会受講等により準備を整え、平成28年度より3か年で実際にデジタル画像を作成し、その一部を館内端末およびHP上で公開した。予定以上の数量の画像を作成することができ、公開も利用者からは好意的な評価を得た。しかし、HP改修を検討することで全画像の公開を目指したが、今後はクラウドシステムの活用をふくむ多様な公開方法を検討する。</p>

平成30年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	総合図書館の特色を生かした図書館	項目	文書資料部門の強化			
内容	福岡市文学館の利用拡大					
事業計画	市民に認知され、利用しやすい文学館となるよう、福岡市文学館サテライトである赤煉瓦文化館との連携を図りながら、事業充実及び広報強化により、文学館全体の利用拡大を図ります。					
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
	企画展の開催					
	広報強化					
平成30年度						
計画	<ul style="list-style-type: none"> ○文学館事業として以下の事業を実施する。 <ul style="list-style-type: none"> ・企画展 11月～12月 テーマ「矢山 哲治」、第一会場:総合図書館ギャラリー、第二会場:赤煉瓦文化館 ・企画展開催期間以外は、常設展示を開設 ・赤煉瓦夜話、読書講座等の文学講座、企画展関連講演会 ○引き続き「福岡 ミュージアムウィーク」に参加し、文学館の認知度アップを図る。 					
取組状況	<ul style="list-style-type: none"> ○文学館事業として以下の事業を実施した。 <ul style="list-style-type: none"> ・企画展「青春の光芒―矢山哲治と文芸雑誌「こころ」」H30.11.9(金)～12.16(日) 入場者数764人 (平成30年度は、第一会場のみで実施) ・ギャラリー常設展「児童文学と福岡」、赤煉瓦文化館常設展示「福岡ゆかりの文学者―久保猪之吉・中島哀浪、柳原白蓮」 ・赤煉瓦夜話、企画展関連講演会、共催事業の文学講座 9回 参加者数260人 ○「福岡ミュージアムウィーク」に参加して、ギャラリー及び赤煉瓦文化館でギャラリートークを開催し文学館の認知度アップを図った。参加者数8人 					
内部評価 (平成30年度)						
<ul style="list-style-type: none"> ○「福岡ミュージアムウィーク」に参加し、認知度アップを図ることができた。 ○企画展入場者数、文学講座参加者、図録販売数は昨年度より減少した。(H29:4,329人, 733人, 669冊→H30:764人, 260人, 278冊) ○企画展について、新聞社に働きかけを行い、1社で紹介記事が掲載された。以上のことからB評価とする。 					B	
外部評価 (平成30年度)						
<ul style="list-style-type: none"> ・展示が変わり映えせず興味のないテーマは一巡するだけである。広報も足りていない。 ・企画展のプレスリリースで1社とは厳しい。新聞社以外のテレビ局、ラジオ局にもプレスリリースは、行わなかったのか。 ・福岡市並びに福岡県といった郷土ゆかりの文学者や作家の紹介を引き続き進めてシビックプライドが高まるような取組みに昇華してほしい。 ・利用拡大のため赤煉瓦夜話のような魅力あるイベントの企画を望む。 					A : 0 B : 5 C : 0 D : 0	
前期事業計画(平成26年度～平成30年度)の総括						
<p>新聞・テレビなどを活用した広報により、文学館の認知度向上に努めた。福岡ゆかりの文学者等について紹介する企画展等を開催したが、テーマにより参加者に増減が生じた。今後は、利用しやすい文学館となるよう事業の充実及び情報提供を強化する。</p>						

平成30年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営		項目	図書館運営の強化	
内容	運営方法(民間活力の導入)の検討				
事業計画	図書館サービスの向上を図るため、指定管理者制度などの民間活力の導入を含めた運営方法について検討します。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	検討・準備	公募・選定	総合(建物管理のみ)		
			東(運営)		
平成30年度					
計画	総合図書館、東図書館それぞれの平成30年度指定管理業務についてモニタリングを実施するとともに、平成29年度の業務実施について、選定・評価委員会の意見も聞き、評価を行う。				
取組状況	総合図書館、東図書館それぞれの平成30年度指定管理業務について年4回のモニタリングを実施するとともに、平成29年度の業務実施について、選定・評価委員会の意見を踏まえ、評価を行った。				

内部評価 (平成30年度)	
総合図書館、東図書館ともに指定管理業務において、良好に実施されたためA評価とする。	A

外部評価 (平成30年度)	
<ul style="list-style-type: none"> ・東図書館は、他の分館と雰囲気の違い若い男女の利用が目立つ。指定管理者制度が成功しているのだと思う。固定観念にとらわれず発想の転換、アイデアを他の分館も求めてほしい。 ・利用者アンケートで「警備員が最悪である」と意見があるので指定管理業務の指導も行ってほしい。 ・指定管理者制度でうまくいっている取組みを他の分館などへも波及させる取組みを継続してほしい。 ・指定管理者制度の導入は評価が分かれているところである。慎重に進めてほしい。 	A : 4 B : 1 C : 0 D : 0

前期事業計画(平成26年度～平成30年度)の総括
計画どおり平成28年度から総合図書館においては、建物の維持管理を東図書館においては、図書館運営を指定管理者制度による運営を実施している。この2館の運営については、毎年4回のモニタリングを実施し、内部評価を行うとともに年1回の選定・評価委員会の外部評価を受けている。今後は、両館の成果を検証し、図書館の運営方法を検討する。

平成30年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営		項目	図書館運営の強化		
内容	図書館ボランティアとの共働の推進					
事業計画	図書館サービスの充実と市民活動の場の提供を図るため、図書館ボランティアとの共働を推進します。 ・図書館ボランティアの養成 ・学生のインターンシップの導入					
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
平成30年度						
計画	新規ボランティアの受け入れ及び福岡市インターンシップ研修生の受け入れも継続して行う。					
取組状況	書架整理や図書資料の修繕等を行うボランティア23人の新規受け入れを行った。 また、福岡市インターンシップ研修生1名の受け入れを行った。					

内部評価 (平成30年度)	
予定どおり実施しているためA評価とする。	A

外部評価 (平成30年度)	
・福岡市インターンシップ研修生を増やすための広報をしてほしい。ボランティアによる本の修理は、とても役に立っていた。 ・単なるボランティア募集ではなく、業務を明示しながら募集する方法が必要である。その為には、総合図書館でボランティアに担当してもらう業務の明確性が求められる。 ・ボランティアの方々の協力を仰ぎ共働を進めていくことは大切であるが経費削減のためのものという捉え方はすべきでない。あくまでも図書館や図書が好きで共感して個々の方々の得意な領域、興味のある活動などで共働していくという考え方や姿勢で取り組んでいくべきである。 ・イベント協力、書架整理、ガーデニングなど職種を選べるボランティア募集を行うことを望む。研修を兼ねると更に登録者も増えるのではないかと考える。	A : 4 B : 1 C : 0 D : 0

前期事業計画(平成26年度～平成30年度)の総括
平成28年～30年度で新規のボランティアを80名受け入れた。年々登録者が減少しており受入方法を検討する必要がある。また、福岡市インターンシップ研修生の受け入れは、今後も積極的に行っていく。

平成30年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項目	図書館運営の強化		
内容	職員の育成及び技術向上				
事業計画	利用者が心地よいと感じる図書館となるよう、図書館職員の接遇研修等を強化します。 併せて、図書館職員として専門知識や技術の向上を目指し、各種研修を実施していくことで、図書館サービスの向上と充実を図ります。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	検討	研修等の強化			
平成30年度					
計画	全体研修については、利用者サービスの向上を目的に、福岡市職員、図書館職員としての資質を高める研修を、年間を通して計画的に実施していく。 専門研修については、研究集会や県立図書館の研修等へ職員を派遣するとともに、高齢者問題や子育て等の市民生活に密着したテーマに関する研修を引き続き実施する。また、レファレンスや資料保存、著作権等に関する国立国会図書館のインターネットによる遠隔研修の受講を奨励し、各分館を含めた職員の専門知識習得に努める。				
取組状況	全体研修については、接遇・クレームや業務改善等の職員の資質を高める研修の実施や、避難訓練等の防災研修など5回実施した。 専門研修については、研究集会や県立図書館の研修等へ職員を派遣(延46人)するとともに、総合図書館で開催した図書館地区別研修に多くの読書相談員が参加(延56人)した。 また、著作権や資料保存等に関する国立国会図書館のインターネットによる遠隔研修を取り入れ、各分館を含めた職員の専門知識習得を奨励した。				

内部評価 (平成30年度)	
予定どおり実施しているためA評価とする。	A

外部評価 (平成30年度)	
<ul style="list-style-type: none"> ・取組み状況からみて教育の機会が与えられている。スキルアップは、市民ニーズに答えるためには欠かせないので研修の継続を望む。 ・課題解決の為に専門的な研修に関する内容が欠けているように見受けられる。 ・職員のレベル向上への取組みは重要であるが、同時に待遇面でのレベルアップも並行して取り組んでいく必要がある。 ・専門的な研修の強化を望む。 	A : 3 B : 2 C : 0 D : 0

前期事業計画(平成26年度～平成30年度)の総括
全体研修については、職員の資質向上に努めてきた。今後も利用者サービスの向上を目指し取り組む。専門研修については、研究集会や県立図書館の研修等へ職員を派遣するとともに、現代的課題である高齢者問題や子育て等の市民生活に密着したテーマに関する研修を実施した。また、国立国会図書館のインターネットによる遠隔研修の受講を奨励し、各分館を含めた職員の専門知識習得に努めた。今後も、利用者サービスの向上を目指し推進する。

平成30年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項目	図書館運営の強化		
内容	施設の有効活用などによる財源確保				
事業計画	駐車場の有料化など、既存施設の有効活用を図ることで、財源確保につながる取り組みを進めます。 また、広告収入やスポンサー制度、寄付などによる財源の確保に努めます。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
平成30年度					
計画	ホームページや広報紙の広告を継続して獲得するとともに、駐車場の適切な運営や寄付金制度のPRに努めていく。 また、その他財源確保における手法等について、引き続き検討を進める。				
取組状況	図書館ホームページのバナー広告や、広報紙製作に必要な広告を計画どおり獲得した他、総合図書館駐車場を図書館利用者以外にも有料開放することで年間で約500万円の収入を確保するとともに、「ふくおか応援寄付」制度についてホームページや図書館本館、分館でのポスター掲示やパンフレットの配布等によりPRを行い、図書購入のための寄付金15万円をいただいた。				

内部評価 (平成30年度)	
計画どおり、財源確保につながる取り組みを進めたが、その他財源確保の手法について検討途中のためB評価とする。	B

外部評価 (平成30年度)	
<ul style="list-style-type: none"> ・財源確保に努力されている。寄付金が増えるよう図書館の意義など周知していけば良いのではないか。 ・新刊雑誌カバー広告も粘り強く開拓してほしい。足ふきマットなどの他市の広告例がある。 ・財源確保は困難な課題であるが、地道に継続的に進める必要がある。他部局の活動と連携することで予算が拡大したことと同じ効果を得られるような取組みなど工夫して見出していくこともあわせて検討してほしい。 ・更なる財源確保に取り組んでほしい。 	A : 1 B : 4 C : 0 D : 0

前期事業計画(平成26年度～平成30年度)の総括
ホームページのバナー広告等をはじめ、総合図書館駐車場を図書館利用者以外にも有料開放して収入を確保した。雑誌スポンサー制度は継続性観点から実施を中止した。今後も新たな収入確保を検討する。

平成30年度 福岡市総合図書館 運営に関する評価調書(事業別)

図書館像	効率的で効果的な図書館運営	項目	図書館運営の強化		
内容	情報発信の推進				
事業計画	子どもから高齢者まで分かりやすく、使いやすいホームページを目指し、充実を図ります。また、積極的な情報発信としてRSS機能の追加やメールマガジンの配信等を実施し、図書館から積極的な情報発信を行い、図書館利用が少ない層への利用促進を図ります。				
	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
	<p style="text-align: center;">ホームページの改修</p> <p style="text-align: center;">準備 → メールマガジンの配信</p>				
平成30年度					
計画	メールマガジンの配信及びSNSでの情報発信を継続して行う。				
取組状況	月に1回メールマガジンを配信している。 媒体ごとの登録者増加率(前年度比)は、メールマガジン:21%増(285件→344件)、フェイスブック:29%増(148件→191件)、ツイッター:72%増(249件→429件)、LINE:38%増(2061件→2837件)となっている。				
内部評価(平成30年度)					
計画どおり実施し、各媒体の登録者数も増加しているためA評価とする。					A
外部評価(平成30年度)					
<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ以外は見えていないが、登録者の伸びから情報発信はできていると感じた。 ・インスタグラムの発信に取り組んでほしい。 ・SNSは情報発信の重要なツールなので、これまで以上に活用を進めてほしい。 ・取組みの継続を望む。 					A : 3 B : 2 C : 0 D : 0
前期事業計画(平成26年度～平成30年度)の総括					
平成29年にホームページをリニューアルし、見やすさや使いやすさを改善した。フェイスブック・ツイッター・LINEを開設した。今後は、更なるSNSの活用を検討する。					

福岡市総合図書館新ビジョン推進に関する点検評価会議委員名簿

(五十音順)

	所属等
上村 篤子	福岡市総合図書館運営審議会委員 (社会教育関係)
岡野 秀之	公益財団法人九州経済調査協会 事業開発部長兼 BIZCOLI 館長
高橋 昇 (委員長)	福岡市総合図書館運営審議会委員 (学識経験者)
松原 明子	福岡市総合図書館運営審議会委員 (家庭教育関係)
宮本 直嗣	福岡市総合図書館運営審議会委員 (本市の住民)